

古事記傳

八

和書門類			
二九二	五〇	七八	一三五
號	函	架	冊

內閣文庫		
二九二	五〇	和書類
一三五	七八	函架冊

內閣文庫		
番號	和	29250
冊數	15	(8)
函號	137	4



吉事



故坐日向時娶阿多之小荷君

妹名阿比良比賣自阿比良比賣

子多美志美美命次波須美美

命二柱坐也



古事記傳二十

古事記傳二十

古事記傳二十

神

古事記傳二十

教部

生

日向

時娶

阿多之小

妹名阿比良比賣其自商以音生

圖書

多藝志美美命次岐須美美

命二柱坐也

古事記傳二十

一

命 輪 書 教 姑

阿多ハ地名めて薩摩國小阿の委之ハ上卷車人阿多君也

又君ハ如加婆林ハ姓の附ハ剛為姓名の

古事記傳二十

二

吾足不得歩成當藝斯形也何多此物小因多御名
當藝斯物ハ物ハ被如小釋字シ書紀小書
耳ハ尊稱少忍穂耳命也の耳ヤ同ト其事彼處小
傳七の五委トワリ。○岐須美ト命書紀少故此御子
無し故思以此御名志ヤ須ヤハ通音ヤれハ御兄の御
名也ハ多の畧トシハ其みの差少トワリト似
是舊事紀ハ研耳ヤ書又下ホ至テ多藝志美ト命の
御事のみ出テ此御子の御事見也
其御事も出テ
あり之れを以思以御兄の御名ヲ傳守の
此ハ異ありト云フハ二柱也
書紀

の方や正事也ハ是より由飛不古の御代也
の王等皇子皇女皇孫皇孫女等由御名小種坐
今茲小其大概也皇孫皇子皇孫女等由御名小種坐
諸物各委也ハ皇孫皇子皇孫女等由御名小種坐
不三由小美孫也付奉也ハ皇子皇孫女等由御名小種坐
其名者も由天方也皇孫皇子皇孫女等由御名小種坐
其不也ハ皇孫皇子皇孫女等由御名小種坐
智和氣御子將着也景行天皇の御子雙由坐也
其皇孫坐也確田諾也給守也故ハ大確命也確命也
申也應神天皇ハ生坐也時也御腕也鞞也

御肉乃坐ける故よ大鞠和氣命也申也仁徳天皇也建
内宿祢の子也同日小生坐て木兔也鷓鴣也の祥あり
し小因也其祥を相易て御子を大鷓鴣建内宿祢の子
を不兔也名け坐し清寧天皇ハ生坐あはる御白髪坐
げ故よ白髪命也申し反正天皇也御齒の寄び坐
しお因て水齒別命也申しか如きハ由縁の物名を
取て著奉ぬりし證例あり又聖徳太子也鹿の戸あり
て生まはる故よ鹿戸也申し天武天皇の御子大伯皇
女也申しは備前國の犬伯海也坐て生坐也故の
御名あり是等も處名あり猶由縁ふ就ゆ傳あり次

御孫天孫の御孫沙本混古王の御孫坐し此玉皇
を弑せ奉らむ謀ゆる時よ天皇の女御豊御坐し
沙本の方あり暴雨降來や見坐し見ゆ應神天
皇の御子宇遲能和紀郎子の山代の宇遲坐し仁賢
天皇の御子春山田郎女の春白坐し書紀繼躰卷
子の此皇女を妻向坐し御哥は春日初禰雄譽天皇の
甲の國ふくむ御坐し御哥は春日初禰雄譽天皇の
夫后若目下主の河内御日下坐し夫皇也若御許
引事見又此天皇長谷坐し故也夫長谷若建命
也申し安楽天皇ハ石金穴總官坐申故よ穴總命也
坤也類ハ皆居地名也申也證例あり又舒明天
皇の御子蚊屋皇子ハ吉備國の蚊屋采女也腹天智天

皇の御子伊賀皇子ハ、伊賀采女が腹より生坐す。此等
 は御母の本郷の名を取らる御名や聞えり。次は神
 武天皇初ハ豊御毛沼命又狹野命や申せり。後ハ天
 下所知着て神倭伊波礼毘古命又神倭伊波礼思古穗
 穗手見命や申し。此大御名の事書紀神代下卷小見ゆ。倭男具那王ハ武
 御功ありて倭建命や申せり。類ハ美称て著奉り
 證例やあり。元天御代々々々天皇と云ふの長さ大御名を
 此大方何れも此例あり。元人よし其類多し。元人
 書紀無任卷小ハ細田功を著せり。倭日向武日向考
 心細田元小名を賜ひり。類あり。又天皇崩坐して後
 崩坐て葬奉り。元氣長足姫尊や著奉り。元命

見外ハ上代ハ其例二記見ゆ。河官段ハ論持
 此外ハ天皇崩坐して後ハ大倭根子天皇の廣野日女尊や
 奉り。此何れも御代ハ大輪真上田君子の御事見ゆ。
 申すの功を著し。好皇天皇の御事見ゆ。云諡を
 賜ひり。元見ゆ。然皇天皇の御事見ゆ。先より
 天金豊聰慧尊や申し。後ハ仁明天皇の御論日本根子
 絶多し。元ハ平城嵯峨陽成又宇多より。此漢様
 の御諡やあり。其後ハ漢様あり。後ハ崇徳安徳順
 徳崇光稱光明照靈元。其の御事見ゆ。皆院や申
 して天皇や申し。安徳の御事見ゆ。後醍醐ハ吉野
 は天皇や申し。此ハ京の御事見ゆ。申せり。元ハ院
 正しくハ某院天皇若ハ某院帝や申し。元ハ院
 光嚴光明や申し。漢様あり。佛寺の名あり。又桓

制も有き文德實録云先朝之制每皇子生以乳母姓為
之名為故以神野為天皇諱也見えし此ハ嵯峨天皇
御名神野也申せしは御乳母の姓なりしとや又就て
云了なり抑此制ハ何れの御世より始まりしとあ
らむ上代より希くは此例も有る詳たるは
欽明天皇の御子とらなるゆへに姓也思はし御
名の多く見ゆは此例の桓武平城なる御子も
の御名ハ男女みな此を案として彼嵯峨天皇の御名の
外ハ乳母の姓を取れし證の物又見えしは天
武天皇初大海人皇子也申せし其の崩記ありし時

米 熱 容 恩 丹

小大海宿禰菟浦也の第一小誅奉也
の見えしは御乳母乃氏族也聞え孝謙天皇御名阿
倍也申せし阿倍朝臣石井也の御乳母見え平城
天皇初御名小殿也申せし阿倍小殿朝臣坂也云御
乳母見え桓武の皇女朝原内親王の御乳母小朝原忌
寸大の自也云見え是れ然る小嵯峨天皇の
悉く古の例を廢て御乳母の姓を依りし御名ハ
御名也皇男ハ後世の名の如く小朝原也其
朝臣也姓を賜ふハ皇女皇子ハ皇字皇女ハ
某姫也云次は淳和天皇の御子ハ皇字皇女ハ
乃ハ下常字を恒字を恒字を恒字を恒字を恒字を
清和のハ上小真字陽成ハ元字元字元字元字元字

○古事記傳二十

八

是字醍醐乃心下小明字村上乃心下小平字安乃又皇
女のハ嵯峨天皇より以來今小至子るを其子也
申凡心又清和天皇を惟仁心申せしより始なりて
醍醐天皇を敦仁一條天皇を懷仁後冷泉天皇を親仁
後三條天皇を尊仁心申凡是より後ハ皇子より凡そ
其仁心著るは後鳥羽天皇を尊成順徳天皇を大御名小
仁字の著るは後鳥羽天皇を尊成順徳天皇を大御名小
後二條天皇を郁治後醍醐天皇を尊治心申せし是の
みありそもく時代小從ひく萬の事乃漸く小移るか
つるもく人の御名を古今を世々小如のり案
めれは心を知し事いづみり如く申せしなり
御事心も事の初いづみり如く申せしなり

然更求為大后之美人時大父

米命曰此間有媛女是謂神御

子其所以謂神御子者三嶋湟

咋之女王名勢夜隱多良比賣其

容姿麗美故美和之燿物哉神

其感而其人為大便之時化

丹塗矢自其為燿便之溝流下

突其美人之富登此二字以爾

其美人驚而立走伊須須岐伎音下效此

此五字乃將來其矢置於床邊以音

忽成麗壯夫即娶其美人生子

名謂富登多多良伊須須岐比

賣命亦名謂比賣多多良伊須

氣余理比賣是者惡其富登云

故是以謂神御子也

大后八字の任小意富岐佐伎訓後世の皇后亦
皇古八天皇の大御妻等后申て其中の最上なる
一柱を殊小尊みて大后申せし也上卷八千
神段傳十一の云ふが如し大大臣大連の大

紀事本末

一人を尊み... 妃夫人あやしく申次班... 橘比賣命を其後や... 夫人敏達卷... 小か好守... 訓あり字鏡... 妃也支佐支... 書

紀事本末... 妃夫人あやしく申次班... 橘比賣命を其後や... 夫人敏達卷... 小か好守... 訓あり字鏡... 妃也支佐支... 書

小天皇御病甚重くあはせ給ふ時小天武天皇の儲
君お坐けるが後事を辞申給ふ御言ふ請奉洪業付
属太后云々ツリオホキセキニある太后も皇后倭姫王を申あはるる旨
ありツリ凡て書紀の例ハ上代の事を記されたるも後世
の如く漢國乃定先小隨ひて當代の太后と號皇
后ツリ書き御母后をツリ皇太后やハ書きツリるも此ハ
其例も違ひてツリ多く當時の實乃稱のまゝツリハ當代乃
を太后やハ書きツリるも此ハ餘りツリ古の稱乃ツリハ書
てハ凡ての漢様乃例も違ひてツリ古の稱乃ツリハ書
あるもツリ例も違ひてツリ古の稱乃ツリハ書
又万葉ニハ近江大津宮御宇天皇聖躬不豫之時太后
奉御歌ありツリ天皇大殯之時太后御歌ありツリ明日香清御
原宮御宇天皇崩之時太后御作歌ありツリ見衣又伊豫國

風土記ツリ天皇等於湯幸行降坐五度也以大帶日子天
皇與太后ハ坂入姫命ニ軀為一度也以帶仲日子天皇
與太后息長帶姫命ニ軀為一度也ツリハ當御代の第
一也上件の如く古ハ太后や申せしハ當御代の第
一也御妻あり然るを萬の御制漢國のハありハ賜
ふ御代やありてハ正しハ文書ありハ當代のハ
皇后先代乃を皇太后や書録ハ御言ハ外ありされ
口小言語又うらやまツリハ文やハ奈良の丁路ま
てもお古の隨ふ當代のハ太后先御代のハ大御
祖や申せしツリハ書紀ありハ皇太后皇大妃皇大
夫人ありハ皆意富美意夜

訓読し古の称ハ然有リ夫レ又ハ大御母ハ坐を佐
伎美賣を申は申以ま成理有リ然有書紀清事
卷小皇大夫を意富伊伎佐伎訓ふハ古ハ叶ハ文
皇極卷小天皇の御母吉備姫王を吉備嶋皇祖母命
何此古の称又續紀九小藤原夫人を正文則
皇大夫夫人語則大御祖母乃詔の御母の思多
小乃定多夫用は皇國の古ハ事ハ皇の漢
文ハ漢様を用ひ漢籍を取用ひハ古の御
代大御母ハ妃夫人云品乃差別ハ御母あり
凡て大御祖母申せし孝徳紀ハ皇極天皇坐
尊御號奉存後見えハ大御祖母申候ハ差
猶如此申せる後以て後夫人も大御祖母申候ハ大
別御母坐御母申候は御母坐候ハ大御祖母申候
五御母又ハ御母申候は御母申候ハ大御祖母申候
申候ハ何疑ハ御母申候ハ大御祖母申候ハ大御祖母
申候ハ古書ハ御祖母書ハ其例多美意夜ハ

を書ハ皇祖母尊を書ハ皇祖母尊を書ハ皇祖母尊
御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
頭坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
知御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
添御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
后御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
あ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
古書ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
兼考御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
坐御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
書改御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
中御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
誤御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
左御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
多御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候
承神の御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候ハ御母坐候

此間ハ許之實訓法七倭國を指して云あり
間字一本小
不問也 ○媛女もみふ表登賣實訓法
表登賣を爲
記中小美人
實も媛女也媛女也媛子
此媛女ハ伊須氣余理比
と書玉みふ同ト作也あり
實と申はあり ○神御子也ハ大か之神社の御靈の顯
壯夫小化て女小娶て生坐ふ御子を云那の水垣宮段
小意富多之泥古也神子也云る類あり彼段也考合次
法一 ○三嶋ハ津國小在て書紀雄略卷小三嶋郡也見
ゆ後ハ二郡小分て嶋上嶋下也ハ是あり
凡て諸國郡郷
の名字ハ初書多ク二字小書也者あり元の名も云法ハ
例ありハ是も三嶋郡也
三嶋之藍御陵也
畧てハ三嶋郡也

諸陵式也嶋上郡小あり實身參棟發帳小嶋下郡小三
嶋嶋神社あり伊豫國風井記也及津國御嶋書也
兼七 三 嶋江之玉活也 三 嶋江之入江
有嶺也 後世の哥也 嶋上郡小三嶋江
村 定川小傍 ○瀧岫神名帳小嶋下郡溝岫神
社あり今此郡小溝抗莊 其内 馬場村
也云小此社坐あり 此地嶋上郡の地
岫神社小此人坐齋可也餘神也 か 又瀧
岫云は本此以の名なり 後 地名也云なり
將地名を取て此人名也 是 詳なり

高御産靈命の賜する御名あるは、神代紀より一段ハ事の趣
 まるくはしき故に古来となく解誤する可あり。今その
 大昔をいさく云む。長隠者矣。云々。此神
 の現身の事大物主神及事代主神云々。御
 靈の事あり。凡て神代乃故事現身。御
 諸事傳り。凡て物ある故に。多し。此段毛
 此差別を。辨多。故に。長隠。ハ現身ハ
 十洞手。小隱。多。御靈を留。皇孫命ハ
 御護神。命の詔を蒙。其時小高天原小
 御産巢。日命の詔を蒙。其時小高天原小
 賜り。多。故に。此。大物主。御名を
 奉。又。彼。上文。故。更。條。ハ。兩。勅。之。夫。汝。云。論。賜。云。此
 ち。汝。應。侍。天。月。隅。宮。去。も。御。靈。の。鎮。坐。侍。云。宮。也。云
 あり。抑。如。此。現。身。定。御。靈。を。見。坐。侍。云。宮。也。云
 あり。一段の内。小。川。前。後。御。靈。の。鎮。坐。侍。云。宮。也。云
 あり。以。て。も。此。差。別。あり。後。御。靈。の。鎮。坐。侍。云。宮。也。云

十萬神の首領。皇孫命を護奉り。此ハ神之
 人。云。云。如。此。物。云。云。稱。萬。物。也。此。中
 小。人。を。指。て。云。云。者。彼。者。也。此。人。を。指。て。云。云。者。此。也。
 然。れ。ゆ。え。神。代。の。事。故。に。彼。和。木。万。神。を。指
 て。物。云。云。云。又。神。代。紀。原。原。中。國。之。邪。鬼。也。邪
 を。毛。乃。万。佐。訓。中。昔。毛。乃。安。之。岐。毛。乃。訓。也。邪。者
 の。例。に。依。り。皇。孫。命。を。守。奉。る。神。靈。の。方。に。就。て。云。云。何
 ぞ。云。云。也。彼。ハ。十。万。神。を。注。之。大。人。の。約。也。云。云。邪。也。
 大。ハ。例。の。美。稱。也。御。名。ハ。此。神。現。御。見。也。ハ
 十。洞。手。の。隱。坐。御。靈。の。此。國。に。留。り。御。護。神。也。
 有り給。方。の。御。名。を。云。云。故。に。現。御。身。の。一。名。も。非

あて大美和と拜祭る御名はなほあり。彼高御産
賜りて以て即美和と鎮坐御名やせり。然るを
書紀に大己貴神の一名やと云ふ。又亦名大物
主神や。古意は違ふ。撰者のさか。ら。加
給りて。かくて世の識者。廣く大己貴命の一
名やのみ心得居ふ。古書を見は。○見感而ハ美米傳
るやの精。か。故の誤り。傳十七の
互に訓は。此詞上卷海神宮段より出り。二十六葉 ○
其美入ハ勢夜陀多良比賣を云。○為大便ハ加波夜尔
伊礼流ハ訓は。田代宮段より朝入廁之時云。嘗云例
を。ほ。麻理書紀神代卷より送糞此云。俱蘇
摩。を。主。云。然。此。同。事。を。糞。の。事。を
云。須。非。然。訓。皇。詔。又。志。須。或。林。氣。賀
志。須。非。然。訓。皇。詔。又。志。須。或。林。氣。賀

言ハ古言ハ訓ハ中昔の
訓ハ波詐ハ訓ハ類ハ丹塗矢ハ祭奴理夜
考得波若ハ唯筋ハ城風ハ記ハ
依田賣於石川瀬見川遊為時丹塗矢自川上流下
取挿置床邊遂孕生男奇云。号可茂別雷命所謂丹塗
矢者ハ訓柱坐火雷命在。似ハ事ハ。○化ハ
大物主神の化坐。○為大便之溝流。此七字ハ
訶波夜能斯多。訓は。古。厠。ハ。溝。流。の。止。の。造。成。す。り
あり。屎。ハ。や。其。水。ハ。流。矢。如。是。構。ハ。糞。ハ。世
如。此。構。ハ。河。屋。ハ。云。ハ。省。ハ。河。ハ。み。云。ハ。万
色。ハ。河。ハ。云。ハ。葉。ハ。六。ハ。川。ハ。隅。ハ。云。ハ。み。ハ。

川は廁をもちもせしる哥あり。来今世よ見。○富登の上
 の尿尿を受る器を御河のりしは是なり。○立走万葉五小難波津尔美船泊農等吉許延
 許婆紐解佐氣且多知婆志利勢武等あり。○伊須之岐
 伎即驚て立走はさるり。大殿祭詞よ夜女能伊須
 須伎云に事無久也あるを夜睡まらる物よ壓ハ
 れるやし心さるぎ驚之と云て同意なり。夜女ハ夜
 睡まらる云止小朝目やも類なり。然るを師の
 祝詞讀ぶ童女の夜を御味奴仕奉るや云はは又童女
 がよるや一の夜を童女の与夜や二ハ兼用ひひは
 驚はるは又源氏物語朝顔卷亦西なる御門を云驚
 へあはせ給御門侍讓はる長曾及ひ宗須堅伎い

ても来て速もえ聞や夜眠る宗須之伎も同意なり
 驚はるは伊持は立走來は通音なり。此は御持は
 當らるるて又榮花物語藤壺卷に贈伎立て云
 狭衣よ若宮お月よ曾時伎あり給るなりあるは
 驚はるは非事あり。事はさるり同也。須曾は通音
 許曾の許志伎は古語云岐無父の蘇伎置能は
 許魯草乃噪伎古語云岐無父の蘇伎置能は
 十六丁小古部狭小寸為我哉少年此は
 きさるる云云。猶上卷海神宮段須入鉤の平の傳十七

○古事記傳二十

○十九

兼二考合以流し、さて右の例や、誠以思ふ。伊ハ畧て
 也云言やも流し。師ハ此伊をも発語なり、いははき
 異、聞切、是ハ出坐な、伊ハ同、凡て言の頭を濁
 ふ例ハな、ぬ、出坐傳や、いは伊を畧あ、よ、て、伊
 ハ発語、は、め、此、伎ハ諸辞なり。○置於床邊、倭
 是、准子、て、流し。建命の御哥、小表登賣能登許能辨、尔和賀、淤伎斯都流
 岐能多知、聖あり。○富登多、良伊須、岐比賣命、富登
 此ハ父神丹塗矢、化て御母の陰を突坐し、あり。
 多、良ハ御母の御名、書紀ハ踏鞠、書紀ハ伊
 須、岐、此、文、が、流し、立、走、伊須、岐、の事、小依、流し、御名
 あり。○比賣多、良伊須、氣余理、比賣、富登、を、比賣、改、

流し、伊須、氣ハ、伊須、岐、通音、子約、流し、流し、流し
 余理、父王、依、思、賣、の、依、流し、七、子、意、空、彼、處、ふ、息、ゆ、
 七の七、十四葉、○是者云、対の十三字、亦名の註なり、抑此、比
 賣命の御事、書紀、以、は、庚申年秋、八月癸丑朔、戊辰、天皇
 當立、正妃、改、廣、求、華、曾、時、有、人、奏、之、曰、事、代、主、神、共、三、嶋、
 溝、楸、耳、神、之、女、玉、擲、媛、所、生、児、号、曰、媛、踏、鞠、五、十、鈴、媛、命、
 是、國、色、之、秀、者、天、皇、悅、之、見、え、綏、靖、卷、み、媛、踏、鞠、五、
 十、鈴、媛、命、事、代、主、神、之、大、女、也、見、右、此、記、傳、
 此、異、なり、り、但、入、神、代、卷、み、は、太、三、輪、之、神、之、子、姫、踏、
 鞠、五、十、鈴、姫、命、踏、鞠、以、云、又、曰、事、代、主、神、化、為、八、尋、熊、罴、

通三嶋溝織姫而生兒。姫踏鞆五十鈴姫命。是為神日本。警余彦火々出見。天皇之后也。見あり。抑か。神代。御卷。大三輪神の御女也。云々。方々。主。記。事代主神の御子也。其傳をば。一曰。やも。奉。て。ふ。古の傳。了。は。何。を。も。彼。卷。也。此。卷。違。可。し。似。之。傳。了。は。何。を。も。彼。卷。也。此。卷。違。可。し。の御靈を云々。神名帳。大和國葛上郡鴨部波八重事代主命神社。高市郡高市御縣坐。鴨事代主神社。此二社の内。御靈。飛鳥神社。同神。社。事代主。申。し。○上件大物主神の故事。水垣宮段。社号の方。同神の活主依毘賣の許。通ひ坐。る。也。相似。し。り。姓氏録の大神朝臣條。初大國主神娶三嶋溝杭耳之女王擲姫云々。あるは。此。彼。混。ひ。る。

の事あり。舊事紀。事代主神化。為八尋熊鰐。通三島溝。十鈴姫命。云々。依姫。生天日方奇日方命。姫踏鞆五。事。一。混。り。又書紀。崇神卷。倭迹之姫命。の事。仙。覺。が。万葉抄。引。ふ。土佐國。風土。記。此。倭迹之姫命の故事。由縁。乃。故事。同神。み。て。か。く。似。る。事。此。彼。亦見。之。ある。ハ。本。一。那。里。が。傳。の。混。て。此。事。彼。事。小。轉。行。る。將。神。の。御。所。為。あ。れ。バ。此。時。も。彼。時。も。似。る。事。乃。あ。る。し。何。れ。測。難。と。あ。む。○謂。神。御。子。也。是。れ。ま。が。大。久。米。命。の。天。皇。小。申。し。給。了。詞。あり。

於。是。七。媛。女。遊。行。於。高。佐。士。野。

佐士ニ伊須氣余理比賣在其

中爾大父米命見其伊須氣余

理比賣而以歌白於天皇曰夜

麻登能多加佐士怒袁那那由

久袁登賣杼母多禮袁志摩加

牟爾伊須氣余理比賣者立其

媛女等之前乃天皇見其媛女

等而御心知伊須氣余理比賣

立於最前以歌答曰加都賀都

母伊夜佐岐陀亞流延袁斯麻

加牟爾大父米命。以天皇之命
 詔其伊須氣余理比賣之時。見
 其大父米命黥利目而思奇歌
 曰。阿米都都。知杼理麻斯登登。
 那杼佐祁流斗米爾大父米命

答歌曰。袁登賣爾多陀爾阿波
 牟登和加佐祁流斗米。故其孃
 乎自之仕奉也。於是其伊須氣
 余理比賣命之家在狹井河之
 上。天皇幸行其伊須氣余理比

賣之許一宿御寢坐也

其河謂

由者於其河邊山由理

故取其山由理草之名號佐章

本名云佐章也

七媛女ハ那々袁登賣ヤ訓法し上卷小八種女也見

夜又日代宮段尔二嬢子也本所ハ高佐士野ハ歌小

郡南浦村ふりりヤ云ふハ何の據所ハ例ハ夜

答

夜麻登能ヤハありヤ也阿都ありむ詳あり以太和志

麻登能後郷見て姓氏録の未定難姓の中ハ河

内國小佐自勢公ヤ云あり右京皇別あり此姓所リ又

志能神の遊行ハ阿曾辨流ヤ訓法也下ヤ語絶あり以辨

流ヤトみ次ハ語意也○大久米命云ハ此段ハ天

皇幸行の時高佐士野あり七人の媛女乃遊法也

行遇奉れ其時尔大久米命ハ御從ハ侍ハ賜予ハ此

置然る尔幸行のあやをも御從ハ侍子ハ等ヤ以者言

其然聞ゆるハ古文なりとて此人ハ本より伊須

氣余理比賣を専ら知居心を法ハ故今七人の中

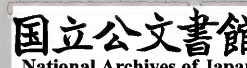
小在に見付ゆる所の由も云は容色のこよある勝色

て美麗として諸の媛女等小混ふはくもあらずはバ
彼ぞや指すは申すは申す者必りらとく見取賜りむ
物ぞや推量奉れり故ふ歌以て試み奉れりあり。○夜
麻登能ハ倭之あり大和國を云。餘國ありむふ了を國
を云はくも色ありはは是ハ城下郡あり倭郷を云は
起すは疑ひありぬはをれは凡て哥ハ五言の句あり
言句を置むる先ハ七言あり國名を出せりはあり故は首ハ五
句を四言ありは三言あり多加佐士怒ハ高佐士野あり。○
那由父ハ七行あり七人行と云。○袁登賣村母ハ媛
女等あり。○多礼表志摩加牟ハ誰を將見よて志ハ助
辞あり麻必の妻問ひは云。契神志摩加牟ハ枕を讀

手經ハ引ハ根ハ卷ハ神御哥
小夜斯麻久都麻不岐如泥且是あり。○一首の意ハ
余此處也七女連獲ハ遊び行媛女等の中ハ何階ハカ
太御心ハ着坐る也問申ハ其ハ此中ハ彼伊須氣
余理ハ賣難ハ先申ハ置さハ修をハ
即何也其ハ見坐る也修申ハ修意ハ凡ハ如此ハ申セ
多沙ハ立其媛女等之前ハ大美和夫神ハ御座り
故祖端ハ薄ハ吟ハ洗ハ泣ハ立ハ立ハ立ハ
良家ハ故ハ故ハ何ハ以時ハ先立ハ
何ハ有ハ御心知ハ夫ハ米命ハ推量

新也斯ハ助辞あり延ハ伊邪那岐伊邪那美大神の愛
 表登古愛表登賣也詔す愛也此愛ハ假字なり書紀亦以可
 美也も可愛やも善也も書也この意也即可愛媛女
 可也哉可愛そのみ云ふなり其例ハ下卷輕太子の御
 哥ハ宇流波斯登佐涅斯佐涅巫婆等あり宇流波斯ハ
 多良ハ一妹也云ふなり又万葉十四九小曾能可
 奈之伎字ハ亦多氏米也母也斗九可奈之伎我古麻波
 多具茅毛又云下加奈思家卒於吉氏家ハ伎を東詔ハ
 云ふも悲愛夫也云云加那志伎也のみ云を
 此等の姑輩ハ以天皇之命ハ娶む也所思者其也中を

詔多勅命あり○黥利目曼歌爾儀ハ佐都流米米能訓
 法也黥ハ只借字あり佐都流ハ裂有なりハ自然ハ
 裂有有る也白也他○此也裂有ハ非也ハ罪ハ
 を刻ヒ墨を入る也裂有ハ然云米左ハ訓也字あり
 目のありを裂有ハ然云米左ハ訓也字あり
 此字をハ書る也此訓ハ備也ハ裂有ハ打見
 なる故ハ米佐都流ハ此訓ハ備也ハ裂有ハ打見
 ふガ彼黥者ハ此訓ハ備也ハ裂有ハ打見
 面黥ハ只借字あり佐都流ハ裂有なりハ自然ハ
 條ハ此文を引也此訓ハ備也ハ裂有ハ打見
 加那許志也訓也ハ黥ハ只借字あり佐都流ハ裂有なりハ自然ハ
 其同言の借字あり佐都流ハ裂有なりハ自然ハ
 若黥字ハ只借字あり佐都流ハ裂有なりハ自然ハ
 毛ハ只借字あり佐都流ハ裂有なりハ自然ハ



伎^シ奇^キ云^ク者^シ佐^サ登^ト 伎^シ奇^キ云^ク者^シ佐^サ登^ト 伎^シ奇^キ云^ク者^シ佐^サ登^ト
て裂^レる^ル如^クあ^リと云^フあり利^リ目^メハ視^シる^ル後^ノの明^クら
げき目^メあり 俗^ク小^ノ目^メの^ノ速^クなり云^フハ速^クなり物^ヲを速^ク視^ス取^ル
らりふよく見^ル辨^スる^ル利^リハ云^フなり耳^ヲ口^ヲを^シの利^リも抑^ス此^レ
命^ノの目^メハ滿^クく久^ク米^ノ名^ヲ小^ノ眞^ニて 此^ノ事^ヲ傳^ヘ十九^ノ人^ノは異^ニ
なる目^メハ多^ク有^リける故^ニ伊^ハ須^ノ氣^ヲ余^ノ理^ヲ比^シ賣^ス命^ヲ也見^テ
奇^クし^ク思^ハせ^りなり○阿^ハ米^ノ都^ノハ四^ノ音^ノ一^ノ知^リ杼^ノ理^ヲ麻^ノ
斯^ハ登^ル此^ノ二^ノ句^ヲ甚^ク解^ス難^ク也 此^ノレ^ヲ例^ニの試^ム強^クて云^フ
鳥^ノの名^ヲ四^ノ牧^ノは阿^ハ米^ノハ詳^クなり移^スる^ル若^クハ和^ノ名^ヲ抄^ス
胡^ハ管^ノ子^ノ阿^ハ方^ノ止^リ里^ノ是^レ阿^ハ米^ノ也 此^ノレ^ヲ去^ルる^ル也

都^ハ心^ノ小^ノ鷓^ノ鴒^ノの一名^ニあり 阿^ハ米^ノ都^ノハ鳥^ノの秘^シ詞^ニ小^ノ
得^ル知^リ杼^ノ理^ヲハ古^ノ奇^ノ多^ク見^ル論^ヲハ麻^ノ斯^ノ登^ル不^レ書^ス
紀^ハ天^ノ武^ノ港^ノハ巫^ノ鳥^ノ云^フ芝^ノ塔^ノハ和^ノ名^ヲ抄^スハ鷓^ノ鴒^ノ之^レ止^リ也
此^ノ鳥^ノハ名^ヲを挙^ゲる^ル九^ノて鳥^ノの目^メハ圓^クて利^クけ
る^ル物^ヲなり故^ニ此^ノ大^ノ久^ノ米^ノ命^ノの目^メを譬^スる^ル也 此^ノレ^ヲ異^ニ
小^ノ鷓^ノ鴒^ノハ名^ヲの阿^ハ米^ノハ其^ノ形^ヲ似^スる^ル也 此^ノレ^ヲ異^ニ
を以^テて此^ノ鳥^ノハ其^ノ目^メの譬^スる^ル也 此^ノレ^ヲ異^ニ
名^ヲハ天^ノ津^ノ國^ノハ利^リ佛^ノ也 此^ノレ^ヲ異^ニ
如^クも此^ノ鳥^ノハ利^リ佛^ノ也 此^ノレ^ヲ異^ニ
名^ヲハ此^ノ鳥^ノハ利^リ佛^ノ也 此^ノレ^ヲ異^ニ
物^ノの譬^スる^ル例^多し 神^ハ代^ノ尔^ノ沼^ノ河^ノ日^ノ女^ノの奇^ク小^ノ吾^ノ心^ノ浦^ノ

洲の鳥ぞ八千矛神の御哥小奥於鳥胸見時又群鳥の
 吾群往ハ率鳥の吾所率往ハ多見見朝倉官段多
 鶉鳥領巾取掛テ鶉尾行令合庭雀々々々々居テ
 多々並法々々々々有々々々右の考も猶思ハ
 定々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 事々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 四々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 十々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 有々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
 有利目々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

千鳥真鳴聲の目の如多更何如此裂也

添利目を何ぞ云々々々々々々々々々々々々々々々々々

建命覺坐化八尋白知鳥胸見時又群鳥の

ひのこやややややややややややややややややや

命の千鳥も化て天の翔鳥も例の天の千鳥も

間々都々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

言七言八言九言十言十一言十二言十三言十四言

神印了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

然るに若地の本語都々々々々々々々々々々々々々々々

神名式對馬小都々智神社何々々々々々々々々々々々

理麻斯登也。那字きては、諸國の信を登と那が
 如何なる詞のせむ。そのふも持の心も濁音よ用ふ
 字も清音よ用ひし。例の如く、此の如く、
 二共、清音をよむ。此の如く、心よりの、
 思われをむ。誤字なきむ。か疑ひあり。此、
 記中、麻書ふ。多き、は、此を、清音の
 下、彼、云、清書、麻、抄、の、假字、よ、用、ふ、
 字、な、れ、ト、云、用、麻、抄、の、假字、よ、用、ふ、
 書、は、ハ、云、抄、の、假字、よ、用、ふ、
 誤、し、る、由、の、有、り。○表、登、賣、ル、媛、女、
 び、の、如、し。○多、陀、阿、波、牟、登、直、將、逢、
 び、の、哥、も、ま、の、何、り、逢、見、る、直、逢、多、
 云、命、古、の、言、有、り。○和、加、佐、祁、流、斗、目、
 子、彼、由、り、何、る、を、命、哥、し、ま、の、
 て、此、裂、も、利、目、の、天皇、の、御、為、よ、汝、行、
 遇、て、見

彼も、命、の、言、有、り。○和、加、佐、祁、流、斗、目、
 上、の、娶、所、思、者、を、詔、原、大、命、詔、奉、
 答、有、り。○伊、須、氣、余、理、比、賣、命、の、
 乙、十、子、度、出、事、中、初、乙、出、事、處、
 女、命、の、あ、め、で、其、餘、命、の、言、の、
 次、の、天、皇、の、大、御、母、に、坐、
 き、よ、然、ら、ざ、は、所、以、あ、り。○若、所、
 所、以、あ、り。○狭、井、河、の、神、名、帳、
 和、國、城、上、郡、狹、井、坐、大、神、荒、魂、神、社、
 其、處、に、河、が、流、れ、木、和、志、城、上、郡、部、
 狹、井、漢、源、自、三、

輪山遠狹井寺跡至著中村入纏向溪上邊
 云日輝子丸辨究訓法也師之許師の賀理也訓法也
 又從之修也又從母登也訓法葉於申三寸伊可奈
 流勢奈可和我理許武等伊布吾之許又已許呂能未伊
 母我理夜里且又三寸和我理可欲波年於也以外も
 多し一宿が比登與也訓法也御寢坐也玉垣宮
 段も為御寢坐也也見え丹後風土記も神御寢坐
 間云々見え若櫻宮段也御寢坐也也
 一佐韋河建佳云節本依佐阿別本依韋河奈參考補正
 一已見佐井河也韋河也
 一見佐井河也韋河也

山由理草也百合の一種也此より外
 他古書不見也和名抄百合和名由里也二種の
 みやり万葉書よ佐由理又姫由理云あり山由
 百合紅花者名山丹曼也新井氏ハ云云也
 う万葉よ山由理佐由理也新井氏ハ云云也
 久添て云辭をれバり由理ハ別も一種也夏の
 野の志也今世は咲く由理云物也山丹也山由
 物也聞ゆ今世は咲く由理云物也山丹也山由
 理云多也此は姫由理也山由理也於法也物なり
 山由理多也此は姫由理也山由理也於法也物なり
 が師の山由理也少の謀也佐由理也訓法也然也
 世の佐由理也少の謀也佐由理也訓法也然也
 又其の上此も諸本み山由字也少也例なき也
 本もなまきハかかた従ひかた也○山由理草
 之本名云佐韋也新井氏百合を由理云ハハ也韓地

の方言や聞ゆ云ふとき若此説の如くならんば信は古
 名ハ佐韋や云ふ師の冠辞考さるるこの條は古
 三枝や書て佐紀久佐や云し物ハ佐由理花なる信
 一や云て此處の文を引て其中ハ山由理の山字を少
 多ハ誤りたりや上ハ云ふ如し然も佐由理ハ
 由理反伊ふれば山由理を指て然云むも實ハ是れハ
 但由理反伊ふれば佐由理や佐韋や音近き名
 の轉りたりや思ふ人多くをあるむはひがらやなり
 名ハ元ハ佐韋や佐紀や音通あや云とき信ハ古ハ此
 別たり佐韋や佐紀や音通あや云とき信ハ古ハ此
 佐韋草を三枝や云て一物なる信ハ今世ハ人の氏
 云ありて佐伊具佐や唱ふ韋や紀や通あ例ハ書紀
 三ハ紀や音便ハ伊や云たり韋や紀や通あ例ハ書紀
 神武御卷ハ山城水門亦各山井水門やあり是を一の

名ありと韋やも紀やも云ふなりとて神名式ハ大和
 國添上郡率川坐大神御子神社三座とれを或書ハ三
 座中ハ此伊須氣余理比賣命左ハ事代主神右ハ玉櫛
 媛ありや云とさもあり信ハ但ハ事代主神や云ふハ
 書紀神武卷の傳ふ依
 主神ありと信ハ神代卷又此記ハ依らバ左ハ大物
 主神ありと信ハ大神御子神やありとありとあり
 凡神祇令ハ孟夏三枝祭義解ハ率川社祭也以三枝華
 飾酒罇祭故曰三枝也四時祭式ハ祭條ハ三枝花の事
見えと信ハ官幣物の限ハ
 非ハあり由緒ありと信ハ○此註の文ハ
 疑あり其故ハ本文ハ狹井河や書と字と變て佐韋
 河や作ありと信ハ下ハ奇ハ佐韋賀波や書ふハ

依りてなるは、カキ 仮字書の例あり。論
 なきと註に必その本文の字れまゝに書はせられ

又狹井の地名なれば、其處ある故に狹井河の云
 々、カキ 佐草草れ多めり、故にいふもいふも、若

カキ 本河名より出て、其地、カキ 狹井の地、
カキ 名よりなれり、又、カキ 狹井の地、
カキ 草名より出、カキ 狹井の河名、
カキ 註にも故に、カキ 狹井の河名、

後其伊須氣余理比賣參入宮

内之時天皇御歌曰阿斯波良

能志祁去岐袁夜邇須賀多多

美伊夜佐夜斯岐豆和賀布多

理泥斯然而阿禮坐之御子名

日子八井命次神八井耳命次

神沼河耳命カミ

宮内ハ意富美夜能知^ヲ訓^レ彦^シ○御歌曰ハ美宇多余
美志賜波久^ク定^シ訓^レ彦^シ○阿斯波良能ハ葦原之^ノあり○

志祁去岐^キ夜迹^ニハ醜^ク小屋^ヤあり^テ醜^クを延^テ志祁去

岐^キ云ハ寒^サ暑^ブを佐牟祁^サ伎阿都^ア祁^ア伎^キなり^シ類

但^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ
志祁^キハ^レ之^ノ格^チあり^テ志^チ古^コ祁^キ伎^キ云^ハ去^キ

免て那玉万葉小清を佐夜ナヨと申り契冲云玉伊夜
 此コノ幾重イハヒも重カサぬ意イありシ。後ノチ此家コノ醜屋ウツクシを以て
 天皇の御寢坐ミマシ小因コトて菅スガ疊タテを弥重敷ヤシロて清潔スガシ免ナシなり。
ナリ。若シ此意コノありバ伊夜イヨ斯岐スギ佐夜サヨ米メありシ。阿ア礼レ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 幾重イハヒも重カサぬ意イありシ。後ノチ此家コノ醜屋ウツクシを以て
 天皇の御寢坐ミマシ小因コトて菅スガ疊タテを弥重敷ヤシロて清潔スガシ免ナシなり。
 阿礼アレ將座サマ御子ミコ之ノ嗣ツギ繼ツグて見ミ由ユ又書紀マコト允コト恭ヤス卷マキ小皇后ミコノミ
 免て那玉万葉小清を佐夜ナヨと申り契冲云玉伊夜
 此コノ幾重イハヒも重カサぬ意イありシ。後ノチ此家コノ醜屋ウツクシを以て
 天皇の御寢坐ミマシ小因コトて菅スガ疊タテを弥重敷ヤシロて清潔スガシ免ナシなり。
 阿礼アレ將座サマ御子ミコ之ノ嗣ツギ繼ツグて見ミ由ユ又書紀マコト允コト恭ヤス卷マキ小皇后ミコノミ

所思オモヒ出デて所トコロ醜屋ウツクシ小須コスぬ菅スガ疊タテを八重敷ヤシロ清潔スガシ免ナシて希
 見ミ小コノ旅ツツ宿ヤド世ヨにありシ。又マタ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 生ナ坐マ坐マ坐マ宇麻ウマ礼レ賜タマふコト。又マタ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 新意ニイハ新現ニイ免ナシ通スりシ。生ナ坐マ坐マ坐マ宇麻ウマ礼レ賜タマふコト。又マタ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 現ア場バ入イりシ。所トコロ産ウマりシ。又マタ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 宇麻ウマ礼レ賜タマふコト。又マタ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 言コトハ元ノ別ワケなりシ。明官ミヤノ御宇ミコノ天皇ミコノの生坐ナ坐マ坐マ坐マ宇麻ウマ礼レ賜タマふコト。又マタ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 子者ミコノ阿礼アレ坐セ皇ミコ子ノ侍シ乎カ毛モ惠ニ
 継ツグルコト也ナリ。見ミ由ユ又書紀マコト允コト恭ヤス卷マキ小皇后ミコノミ
 給タマ比ヒ免ナシ見ミ由ユ又書紀マコト允コト恭ヤス卷マキ小皇后ミコノミ
 阿礼アレ將座サマ御子ミコ之ノ嗣ツギ繼ツグて見ミ由ユ又書紀マコト允コト恭ヤス卷マキ小皇后ミコノミ

產天泊瀬天皇坐阿良志麻須阿訓令生
 坐于礼賜予命坐云意ハ御子小就て
 阿良志坐命坐生坐乃意ハ御母小就て
 就乃意命坐其坐何古書生字を寫る麻
 母乃就阿良志坐其坐何古書生字を寫
 子乃就阿良志坐其坐何古書生字を寫
 阿礼坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 文字坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 得辨命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命
 流皆誤命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 須ハ遺命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 言ハ言命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐

録命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 得命御弟命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 御子命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 同命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 心同命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 葬命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 井命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 奴命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 三命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐
 奈川神社命坐命坐命坐命坐命坐命坐命坐

○古事記傳二十
 ○三十六

其御祖伊須氣余理比賣患苦

而以歌令知其御子等歌曰佐

韋賀波用久毛多知和多理宇

泥備夜麻許能波佐夜藝奴加

是布加牟登須又歌曰宇泥備

夜麻比流波久毛登韋由布佐

禮婆加是布加牟登曾許能波

佐夜牙流於是其御子聞知而

驚乃為將殺當藝志美美之時

神沼河耳命曰其兄神八坂耳

神沼河耳命曰其兄神八坂耳

命那泥ハクナ此ナ二字ナガ汝命持兵入而ミコトツクモノヲトリテイリテ

殺當藝志美美故持兵入以將タギレニハシラセタヘトマラシタマヒキカレツクモノヲトリテイリテ

殺之時手足和那那岐互トレタマアキニテアレクナキテ此五此五

音不得殺故爾其弟神沼河耳エシセタマハザリキカレコハニソノイロトカム又ナカハミハノ

命乞取其兄所持之兵入殺當ミコトソノイロセノモタセルツハヒノヲコトトリテイリテタギレミ

藝志美美故亦稱其御名謂建ミヲレセヌマニシテ神カカシタマフコトナリタマフコトナリ

沼河耳命ヌナカハミノミコト

庶是字鏡小庶兄乃兄是也... 兄弟業也凡云其麻之其... 又書紀綏靖卷曰庶兄... 嫡母乃波之阿乃妹也... 嫡妻の生ふ子也嫡子也... 嫡妻の生ふ弟の妻乃生む兄也... 名皇國乃て嫡庶を論びて異母の兄弟を麻心也

命 殺 殺 命

麻小射云云... 夫波... 今言小非... 后ハ意富岐佐... 〇娶ハ此ハ多波... 淫 安康... 卷 多波... 同書小婦... 又万葉二十... 言ハ本ハ男女... 凡この事ハ... 嫡后ハ奸坐... 此ハ女疑... 皇此ハ小嫡... 御哥賦... 御子等小知

延給守... 強ニ犯... 必見... 欲若... 紀... 年... 然... 此... 常藝志... 〇古事記傳二十 〇四十

御心すの和ひ給ふる事非ざるに當藝志耳命
 の強多る所為なり巻むるに御奇事みし其思事
 念知賜ひし事三弟美婆斯羅能意登御子多知
 此訓詁吐小卒の三柱の御子なり○將殺ハ斯勢
 岸登志氏門訓詁吐卷沼河相賣の哥小伊能知波那
 志勢多麻比曾命ハ莫殺給水垣宮段の哥小奴須美斯
 勢牟登字迦波斯浪你竊殺必を窺はる見衣書
 紀送小殺お殺ハ斯勢麻都流訓詁吐斯勢ハ令死
 の切重よる事殺をり古言のハ非父○謀之
 間波加理基都富村尔也訓詁吐獨言及を獨基都
 政為也麻都理基都る也例多是謀事為を切也凡如

此云なる書紀云神日本磐余彦天皇崩時神滄名川耳
 尊孝性純深悲哀無而特留宿於哀葬之事為其庶兄兼
 研耳命行来已長久歷朝機故亦奏事而親之然其玉立
 悲痛極時亦任義遂以諒闇之際感福自由苞藏禍心圖
 害也矣其時也大歳己卯冬十月神滄名川再尊與兄
 神公恭耳命陰知其志而善防之至於山陵畢乃云
 抑込后の所生の御子ハ三柱の御子等なり天日嗣
 ハ此御子の身の中を所知者むる論事其也殺
 奉也此謀也高御座也鏡也御知也○御
 此御母也皆御祖也云云此事上小委也云云○患苦
 令守此比氏也訓詁吐上卷也其御祖命哭患而也

皇。○以歌。宇多與美志氏也。訓法。○宇多毛且也。訓法
○今知ハ。殺奉ヒヤ。ハ。あをを。あり。○歌曰ハ。曾能美
岸多。元。訓法。ハ。○佐。禱。賀。波。用。ハ。自。狹。井。河。あり。此。川。の
禱。止。見。陽。冊。也。誕。佳。本。ハ。由。紀。作。る。ハ。非。シ。此。事。也。先
卷。ハ。養。云。云。○久。毛。多。知。和。多。理。ハ。雲。起。巨。あり。此。ハ
自。狹。井。川。より。起。也。云。ハ。非。也。狹。井。川。ハ。雲。の。立。騰
見。え。分。ふ。此。川。の。方。あり。也。云。意。あり。其。ハ。京。より。狹
井。川。ハ。東。北。方。あり。ハ。ハ。多。ハ。東。北。の。方。より。起。る。也
海。を。此。比。賣。命。の。本。郷。也。故。ハ。女。の。御。心。ハ。平。日。よ。其
方。より。起。る。也。見。て。狹。井。川。の。方。也。心。得。坐。也。あり。也。如此。ハ

讀。坐。也。後。り。○宇。泥。備。夜。麻。ハ。畝。火。山。あり。○許。能。波。佐
 夜。藝。奴。ハ。木。葉。喧。擾。ぬ。斯。也。木。葉。の。ふ。や。く。也。鳴。也。騷。也。
 あり。万。葉。二。十九。也。竹。之。葉。者。三。和。毛。精。亦。乱。友。清。心。
あ。計。ハ。三。十。ハ。不。葦。辺。在。秋。之。葉。左。夜。藝。秋。風。之。吹。來。苗。丹。雁
唯。渡。古。吟。瀬。ハ。九。叔。引。竹。部。葉。の。佐。夜。具。霜。埃。也。あり。也
あり。又。上。卷。ハ。葦。原。之。水。穂。國。者。伊。多。久。佐。夜。藝。氏。有。祁
理。傳。十。三。の。此。御。段。の。上。あり。同。語。あり。又。須。勢。理。見。賣
の。御。哥。ハ。多。久。夫。須。麻。佐。夜。具。賀。斯。多。然。也。あり。傳。十
五。十。ハ。加。是。布。加。牟。登。須。ハ。欲。風。吹。あり。○三。首。の。意
表。ハ。狹。井。川。の。方。より。雲。の。發。渡。也。大。官。の。法。あり。畝。火

今本の割九三十一は妹名根也。常なる男は兄女
 小姉也。云云。那泥の女は局は流きも似たり。昔也。根
 兄命と詔す。男は伊呂波。伊呂波は伊呂波也。伊呂波は
 命也。安寧天皇の御子。常根津日子。伊呂波。伊呂波は
 命也。申候。あは。長は。男。女。伊呂波。伊呂波は伊呂波也。伊呂波は
 白子根也。常多の。泥。命。那賀。美許。登。根
 訓法。き。止。傳七の。五葉。高。ま。云。云。兵。和。名。抄。兵。庫。寮
 豆波毛。乃。久。良。乃。官。命。那。波。毛。能。訓。法。乃。
 鉾の属の總名なり。書紀に鉾及兵器兵仗兵革等皆
 然。訓。漢。國。其。義。兵。字。ハ。轉。傳。其。共。也。武。器。也。多。也。
 兵。訓。云。其。乃。如。誤。都。波。毛。能。訓。法。乃。意。心。得。乃。鉾。也。
 只。勇。士。の。稱。乃。如。誤。都。波。毛。能。訓。法。乃。意。心。得。乃。鉾。也。

属の名あり。波能也。云云。皇國なり。古其人
 其云。都波毛能也。云云。無。書紀。其。名。儀。乃。鉾
 物。和。名。抄。兵。具。農。具。其。餘。も。諸。器。小。乃。鉾。の。属。乃
 物。多。中。兵。器。局。亦。鉾。也。故。此。名。負
 子。都。波。毛。能。也。云云。同。書。紀。後。世。此。乃
 弓矢也。新造給。百。思。見。兵。也。其。引。矢。也。此。乃
 給。然。力。鉾。の。名。也。此。乃。兵。也。其。引。矢。也。此。乃
 同。都。波。毛。能。也。云云。但。此。記。の。傳。ハ。弓。矢。也。此。乃
 て。守。都。波。毛。能。也。云云。兵。器。也。本。名。宇。都。波。毛。能。也。云
 下。其。心。諸。器。乃。惣。各。名。也。別。名。兵。器。の。名。也。此。乃
 波。及。兵。器。也。本。名。宇。都。波。毛。能。也。云云。別。名。兵。器。の。名。也。此。乃
 本。名。宇。都。波。毛。能。也。云云。別。名。兵。器。の。名。也。此。乃
 死。は。本。名。宇。都。波。毛。能。也。云云。別。名。兵。器。の。名。也。此。乃

の名不^レ空^ニ墳^ル物の義ありと^レを^レ都^レ行^ルは^レ土師^ノ造^ト波
 自^レ云^フ云^フ同^シ中^ニあり^テ物^ヲを^レ實^ル心^ヲ料^ス内^ニを^レ空^ニ造^ル
 子^ノ故^ク亦^シ然^ル云^フ云^フ後^ニ必^ズト^ル也^{ナリ}物^ヲ持^テハ^レ登^リ理^ス
 子^ノ訓^法書^紀神^功卷^ノ小^ノ荷^テ持^テ以^テ云^フ能^ク登^リ利^ス也^{ナリ}
 也^モ知^ル豆^ノ訓^モ也^{ナリ}○故^ク持^テ兵^ヲハ^レ神^ハ井^耳命^{アリ}○和^ナ
 那^岐氏^ハ書^紀神^功卷^ノ小^ノ戰^ノ栗^ノ也^{ナリ}
 清^寧卷^ノ小^ノ慄^然振^怖敏^達卷^ノ小^ノ搖^震皇^極卷^ノ小^ノ動^手又^レ掉
 戰^ノ也^{ナリ}見^ル衣^ノ字^鏡小^ノ悸^動也^{ナリ}亦^シ惶^也和^ナ久^ク也^{ナリ}惜^懣
 也^{ナリ}和^ナ久^ク也^{ナリ}又^レ字^乃久^ク也^{ナリ}何^ノ之^ノ也^{ナリ}物^ノ語^文也^{ナリ}
 小^ノ也^{ナリ}常^ニ云^フ云^フ言^{アリ}和^ナ久^ク也^{ナリ}親^ク通^ス多^ク音^ノ
 不^レ身^ノ震^動不^レ和^ナ久^ク也^{ナリ}○弟^ハ伊^呂登^也訓^法
 也^{ナリ}乎^ノ持^テ也^{ナリ}○是^モ同^シ也^{ナリ}○弟^ハ伊^呂登^也訓^法

命

爾

鳥

し下^ニ卷^ノ若^シ櫻^宮段^ノ小^ノ伊^呂弟^也何^ノ也^{ナリ}○書^紀小^ノ會
 有^レ手^ヲ研^耳命^於片^立大^審中^ニ獨^ク卧^キ干^大牀^時淳^名川^耳尊
 淳^上神^字謂^フ神^ハ井^耳命^曰今^ニ適^ス其^時也^{ナリ}夫^レ言^フ貴^密事^ヲ
 直^ニ慎^ム故^ク我^ノ之^陰謀^本無^レ預^者今^日之^事唯^シ吾^ノ與^爾自^行之^也
 耳^吾當^先闕^審耳^其射^之因^テ相^隨進^入神^淳川^耳尊^突
 闕^其耳^神ハ井^耳命^則手^脚戰^慄不^能放^矢時^神淳^名川
 身^尊掣^取其^兄所^持弓^矢而^射手^研耳^命一^發中^胸再^發
 中^背遂^殺之^也見^ゆ是^ハ不^審中^小卧^也何^ノ也^{ナリ}○亦^シ稱^其御
 入^以云^フ所^持之^兵入^殺云^フ也^{ナリ}○意^ハ也^{ナリ}○亦^シ稱^其御
 入^以云^フ所^持之^兵入^殺云^フ也^{ナリ}○意^ハ也^{ナリ}○亦^シ稱^其御

名謂建沼河耳命之乃本の神也建更其の事乃あ
 我之是時より亦御名如如此申也此の御段の始は
 此亦字亦其意見を以て故次の御命の御段の始は
 又舊の事は此神の御建沼河耳命登母麻衣志伎
 訓彦日大毘古命の御子御建沼河耳命御建沼河
 也建沼河別命の御子御建沼河耳命御建沼河耳命

爾神八井耳命讓弟建沼河耳

命曰吾者不能殺仇汝命既得

殺仇故吾雖兄不宜為上是以

汝命為上治天下僕者扶汝命

為忌人而仕奉也

讓て言ふ佛足石哥尔由豆利麻都良牟也何の○得
 殺仇延志勢賜此奴也訓彦し仇字を讀法は仇
 を也云也此は上にあまの命の又云む何煩也此
 安多り何得殺仇也此は常は殺仇之能を得也

訓也。其は漢籍讀なり。延志勢也云。古言ある。此夏
 先小例を引て委と云。皇矣。○雖冠ハ阿爾那礼持母
 也。訓也。此兄ハ伊呂勢也。○不軍爲上ハ加美登
 流辨加羅受也。訓也。此上ハ只此二柱の間乃上
 下也。云ハ非也。天下萬人の上も。天皇也。ある。流也
 を云なり。一姓の中は長也。氏上也。ハ氏長者。長子也
 子上也。ハ兄字を古能加美也。訓也。ハ一人ハ
 依て古言の諸官の長官をも皆加美也。云是も皆
 意を勿失ひ。其所有中小最上と云。一人を云。且同じる也。あり。ゆて
 又爲也。登阿流也。訓ハ多流也。云也。同心多流ハ馬登阿

流の切也。辞なり。故多流也。云。流也。登阿流也。云
 多。此多流多。理ハ二。河也。縣言ハ
 流也。阿理也。但。漢文也。活也。今。阿。理。也。類。ハ。用。言
 の下也。阿。理。也。字。音。也。活。也。今。阿。理。也。類。ハ。用。言
 是也。登阿理の切也。阿。理。也。字。音。也。活。也。今。阿。理。也。類。ハ。用。言
 皆也。阿。理。也。切。也。阿。理。也。字。音。也。活。也。今。阿。理。也。類。ハ。用。言
 云類是也。多。良。牟。多。礼。也。○汝命爲上。此爲上ハ加美
 也。活也。右此二也。○汝命爲上。此爲上ハ加美
 登麻志也。訓也。凡て尋常の人ハ阿理阿流也。云
 辞也。尊みくハ坐也。云例あり。續紀宣命ハ皇
 坐也。天下治賜君者云。○君坐也。御宇事云。○坐也
 此外も皆かく此如し。○上代ハ日嗣御子也。申也。ハ
 一柱ハ限らぬ。ハ。事。上。り。由。下。委。と。云。也。神。本。并。取。命。也。

神沼河耳命也共小日嗣御子小坐て此時御位を嗣坐
凌りハ未何坐也定里給ハ予り故小今如此御
論議はあゝ好り若豫て定り賜りびりハ今更小
此御議論ハ何れ知也然ふと書紀ハ四十有二年
春正月壬子朔甲寅立皇子神渟名川耳尊為皇太子
何りて此處小至てハ於是神ハ井耳命憊然自服讓於
神沼名川耳尊曰吾是乃兄而懦弱不能致果今汝特挺
神武自誅元惡宜哉乎汝之光臨天位以兼皇祖之業
我々以心得ぬ之望好り也其故ハ若神沼河耳命
坐て何れ心更小讓云云此如問也
此小至て今更小讓云云此如問也

乎云々此何れ語ハかのり定り坐ふ如く聞ゆ
此也若然らばよく讓曰云々語小叶ハ
祖之業也去て本末あは叶多凌をれ元て書紀ハ
某年月日其為皇太子也何れ上代のハ何れも疑
何れ首尾を合さむ此也上代ハ武を主として天
下治り知れ此段を見ても凌り○僕ハ阿
社記訓凌り上も吾者何れ書○忌人ハ師の伊波
比毘登也訓凌り不宜來此訓ハ黒田宮段小伊波比
辨を忌意也書る不て定む凌り元て伊波布也伊牟也
本同言少齋字也書て後世ハ忌字を伊牟也
祝字を伊牟也書る齋字毛能伊美也諸の凶惡事
社記を以て同言ある凌りを知ら凌り

汗撤事イナサキ為シ也ニ忌避イミヒて萬マン任任慎慎心心也也云云あり故多故多く神小
仕奉シホムふ事小言コトヲ也也後世ゴセイ波布イハフ嫌嫌惡悪去去之之事事也也
云云て反反對ダイあり如如く小小あれあれれもも壽壽をを云云もも其人其人其物其物
を吉吉かかつつ志志ありあり願願ふふ也也凶凶惡惡事事をを嫌嫌去去てて慎
心心事事をを嫌嫌去去りり轉轉れれふふ也也嫌嫌法法をを伊牟イ牟云云毛毛凶凶書紀書紀此此御
卷卷小時小時勅道勅道臣命臣命今今以以高皇高皇產產靈靈尊尊朕朕親親作作顯顯齋齋用用汝汝為為
齋齋主主云云顯顯齋齋此此云云于于圖圖詩詩怡怡破破毘毘ああとと神代神代卷卷小小是是時時
齋齋主主神神號號齋齋之之大人大人齋齋此此云云伊幡伊幡毘毘此此訓注訓注の齋齋字字の下
ハ誤誤ありあり是是ハ下下の齋齋字字の訓注訓注りりてて伊幡伊幡比比之之のああ
ありあり主主字字ありあり後後人人のあああハ同言同言ありあり小小か
とと云云ふふハ伊幡伊幡人人の疑疑ありあり也也ああれれももよよくく聞聞え
るる也也ああるる齋齋主主ハあああの時時乃乃職職ををりり下下の齋齋之之大
人人ハ其神其神の名名よよああれれるる也也云云ふふもも後後にに取取

姑

神神号号也也伊波伊波比比伊伊志志神神
取取神神之之祝祝我我鎮鎮齋齋杉杉原原止止西西下下爾爾布布奈奈我我尔尔和和家家世世乎乎
夜夜里里互互伊伊波波布布許許能能戸戸乎乎多多猶猶多多しし所所也也此此又又忌忌人人ハ
書紀書紀ありあり吾吾當當為為汝汝輔輔之之奉奉典典神神祇祇若若坐坐有有てて天天皇皇の御
親親行行以以給給多多御御神神事事也也扶扶輔輔奉奉也也給給多多職職也也云云あり然然然ふ
如如上上代代御御神神事事也也有有外外中中小小最最最最重重奉奉御御業業也也天
職職負負令令小小神神祇祇官官也也第第一一官官自自也也太太政政官官ハ第一一也也
如如此此也也書紀書紀引引右右引引也也引引名名也也朕朕親親作作顯顯齋齋也也見
之之神功神功卷卷小小八八皇后皇后選選吉吉日日入入齋齋官官親親為為神神主主也也有有如
とと大大御御親親仕仕奉奉也也賜賜可可也也故故也也後世後世ハ此式式遺遺也也其其御

故カレ

其日

子八井

命者

嶋連之祖

扶輪也為給多る此ハ其ト重テ職掌少ク有テ上ノ
扶汝命也ハ書紀オモ為汝輔也ハ小心を著シ
齊主ハ中臣忌部ヲ云々云々如ク神職を總帥ニ
奉ス職アリ故又主也云々今此神八井耳命の侍奉賜
ふハ然レハ非ス天皇の御自ラ侍奉賜多御事を扶奉
給多方此職アリ故又侍奉公神八井侍奉見ヒテ天
皇ハ侍奉見多ク何事亦モ違ハズリク也

日子八井命書紀多ハ此皇子無心姓氏録ハ八井
耳命男彦八井耳命也ハ其父ハ引彦ハ書紀
御名ハ彦八井耳命也

神滄名川耳故思ハ此命若自攝原朝の皇子を
屋敷事也御兄弟等の堂藝志取命を殺シ賜也時
必出給ハ其日也其段中唯ニ桂のみ多ク此命ハ見
元給ハぬ也思フハ書紀實取直中女ハ姓氏録ハ見
多ク始々實ハ神八井耳命の御子也坐河原然テ
此記ハ其御兄也ハ其命ハ混也ハ傳也ハ其
事也此ハ此命御齡也長也也勇也也優也也父命
也與御威名ハ殊ハ高ク也何れ也故也ハ傳也ハ此
氏録ハ茨田連也ハハ神八井耳命之後也其の多ハ
いはども也其の男彦八井耳命之後也此御名也

不姓あり。姓氏録攝津國皇別豐嶋連多朝臣同祖彦八
井耳命之後也。日本紀漏嶋連同祖也。あり。

神八井耳命者。意富臣。小子部。連坂合部。連火部。

君大分君阿蘇君筑紫三家連。

雀部臣雀部造小長谷造都祁

直伊余國造科野國造道奥石

城國造常道仲國造長狹國造

伊勢船木直尾張丹羽

臣嶋田臣等之祖也。

意富臣意富ハ地名和名抄ハ大和國十市郡餼富也

ハ合本餼を誤て餼作上総國望陀郡餼富也

大和カキイハ准子知法シ今も十市郡多村

ありて太ヤも書正神名帳ハ多坐彌志理都比古神社

臨時祭式ハ太社衆見たり或作多坐彌志理都比古神社

出ハ姓なり書紀ハ神八井耳命云ハ是即後臣之

始祖也。見在景行卷ハ多臣祖武諸木天智卷ハ多臣

蔣敷天武卷ハ多臣品治ナリ見在也。同卷推古天皇十

月戊申朔多臣賜姓白朝臣。姓氏録左京皇別多朝臣出
自謚神武皇子神八井耳命之後也。伊勢撰ハ
安麻呂朝臣ハ此氏人なり。徳太理了人見也。三

神

代實錄。負觀五年九月五日。右京人散位外從五位下
 多。臣自然麻呂。賜姓宿祢。信濃國諏方郡人。右近衛將監
 正六位上。金刺舍人。負長。賜姓大朝臣。並是神八井耳命
 之苗裔也。○小子部連。小子之訓。和名抄。越中國婦負
 郡。鄉名小子。知比佐吉。依傍大。天。姓。人
 書紀。雄畧。卷。少子部連。螺。此。命。蒙
 捉。守。參。少。子。部。連。依。傍。大。天。姓。人
 小子部。雷。少。子。部。連。依。傍。大。天。姓。人
 天武。卷。少。子。部。連。依。傍。大。天。姓。人
 月。戌。寅。朔。己。卯。日。守。部。連。賜。姓。宿。祢。左。京。皇
 別。少。子。部。宿。祢。多。朝。臣。同。祖。神。八。井。耳。命。之。後。也。大。初。瀨

幼武。天皇。御世。所遣諸國。收斂。蠶。見。誤。聚。小。鬼。首。之。天皇
 大。晒。賜。姓。小。鬼。部。連。和。泉。國。皇。別。小。子。部。連。神。八。井
 耳。命。之。後。也。○坂。合。部。連。坂。合。命。佐。加。比。守。訓。核。書。紀
 及。即。境。書。卷。第。一。卷。之。意。鏡。名。稱。坂。合。子。此。姓。之。由
 皇。出。也。其。心。得。以。其。故。姓。氏。錄。大。和。國。皇。別。坂
 合。部。首。阿。部。朝。臣。同。祖。本。彥。命。之。後。也。○坂。合。部。連。津。國。皇。別
 坂。合。部。大。彥。命。之。後。也。允。恭。天。皇。御。世。造。立。國。境。之。標。因
 賜。姓。坂。合。部。連。舉。之。如。何。若。脫。此。姓。之。由
 左。京。神。別。坂。合。部。宿。祢。火。明。命。八。世。孫。迹。倍。足。尼。之。後。也
 右。京。神。別。坂。合。部。宿。祢。火。闌。降。命。八。世。孫。迹。倍。足。尼。之。後。也

火明命改火蘭降和泉國神別坂合部火蘭降命七世孫
 命之異傳なり。夜麻等古命之後也。見初皇別經神別卷三の坂合
 部氏おれども神八井耳命の御後なり。見初若右
 の二の中の一々あり。此より出たなり。あつた
 古書紀雄略卷四坂合部連贊宿禰の神別推古卷四
 境部臣摩理勢境部臣雄摩侶是の別姓なり。孝徳卷四
 坂合部連磐積齋明卷四同磐鋏同藥同石布など見え
 天武卷十三年米二月境部連賜姓由宿禰是の方皇
 神別の方々見え。火君の誤りなり。或は火君の誤りなり。或は
 依本又一本火八地名筑紫の肥國是なり。名の由は

非卷傳五の肥國委命其處有別肥後風土記及肥
 君景祖健緒組所治は即然處の祖なり。古書紀欽
 明卷末七年筑紫火君見也。今本火君大國造本紀よ
 本國造瑞籬朝大分國造同祖志貴多奈彥命見。澤男江
 命定賜國造大分國造同祖姓錄右京火多朝臣
 同祖あり。大和國肥直彥朝臣同祖神八井耳命後也。見
 あり。景行紀は火國別又火國。大分君大分八地名書
 紀景行卷四十二年天皇遂幸筑紫到豊前國。冬十
 月。到碩田國其地形廣大亦淵。因名碩田也。碩田此云於
 保岐陀。是なり。風土記より同く如見あり。和

名抄又豊後國大分郡於保伊多オホイタあり岐を伊イ云ニ
 は後の音便なり大隅國東原郡オホイタ大分又伎キ陀タ分
 書シ段の意あり其の氏シ火ヒ書紀夫武卷ニ大分
 君惠ニ尺シ同ニ雅ヤ臣シ良リをヲ見ル現ル全申年の乱ハ功ヲ新ルき
 ○阿蘇君阿蘇アソは地名和名抄肥後國阿蘇郡阿蘇
 郷是アソ内書紀景行卷ニ十八年六月到阿蘇國也其國
 郊原曠遠不見入居天皇曰曼國有入乎時有神曰阿
 蘇都彦阿蘇都媛忽化入以遊諧之曰吾二人在何無人
 耶故号其國曰阿蘇アソ國造本紀阿蘇國造瑞籬
 朝御世火國造同祖神八井耳命孫速速魁主命定賜國造

神名式肥後國阿蘇郡健磐龍命神社名神天阿蘇比
咩神社國造神見國造本紀野國造條神八
井耳命孫建五百建命あり健磐龍命同神八
彼社傳本宮武磐龍命の子なり阿
蘇姫神武磐龍命の妃也速魔王命の母なり國造
神ハ速魔王命を武磐龍命の子なり十説ハ神八
井耳命の子なり云書紀北又出賜ハ阿蘇都
考ハ即健磐龍命の神靈也云云阿蘇山の事ハ
筑紫風土記肥後國阿蘇郡阿蘇山の事ハ
有一秀山曰阿蘇山云云委と見えり云云阿蘇山の事ハ
家連三家内美夜氣訓美夜氣の事ハ日代宮殿
又倭也家紫也下傳二十三葉委之云云筑紫の也
家書紀繼躰卷下糟屋也家前安閑卷下三年
五月置筑紫穗波也倉鎌也倉茅宣化卷下筑紫肥豊三
國也倉散在懸隔也所見之なり又安閑

宿祢臣賜名曰賢遺臣天武卷小十二年九月乙酉朔丁未小泊瀨造賜姓曰連也何續紀十三小長谷部常人

後紀十九小長谷部直淨足云云見也是都都直りも皆彼小長谷部より出づる姓なり

都都地名都都清音小讀和名抄小大和國山辺郡都都地名

都介都介續紀六都介開木後國都都山之道都介神名都介山邊郡都介是也

五書紀仁德卷小關鷄稻置大山主卷小關鷄國造其姓謂稻置也見え

仁德卷小一姓聞え小仁德卷小國造云云稻置何如何若初稻置なり中下國造ハなりハ後り也子

知支都都國鷄地伊余國造伊豫國之事上卷傳小

命神社續紀伊豫國造本紀伊余國造德賀高穴穗朝

御世印幡國造同祖敷命兒速後上命定賜國造

國造嵯暉明朝御代神命以世孫伊都命利

定賜國造伊幡下結國郡各命命

科野國造信濃國の事上卷傳本國造

紀小科野國造瑞籬朝御世神八井耳命孫建五百建命

定賜國造道與石城國造道與書紀齊明卷小道與

又陸道與作也方葉計四小美知能

久見能自於省韻和名抄陸與三知

乃於久何古令集顯津云陸與國書乃

乃地を道口と云終を後と云奥と云云云云此國ハ東北
 此極小在て實小道の奥あり筑紫ありとも大隅薩摩也
 家集見ゆ又陸奥國ノても黒川郡あり北を奥郡也
 云大同五年の官符又見えり源氏物語若菜卷ハ
 播磨國內ノて此國乃石城和名抄小陸奥國磐城郡
 奥郡云云伊波岐郡あり此郡内ハ磐城郷あり又名
 其等ノ後小郡郷磐城郷あり地ハ磐城郷あり又名
 其等ノ後小郡郷磐城郷あり地ハ磐城郷あり又名

造りて例ありて續絶成養老二年五月甲午朔
 乙未割陸奥國之石城標葉行方字太直理菊多六郡置
 石城國後ノ事あり後ノ事あり本小此陸奥也常陸也
 成授外從五位外天長三年外正六位上磐城臣藤
 國造志賀高穴穗朝御世以建許呂命定期國造石城
 以異姓其故ハ同紀師長須惠馬來田等國造の
 城國造天津彦根命孫云云天津彦根命後乃常陸國
 書紀補傳卷亦出天津彦根命後乃常陸國

風土記が在茨城國造初祖祈許呂命也何れ祈許呂命
 誤り此上より多字脱多字然も皆建許呂命
 命の孫天津彦根命也○常道仲國造常道仲常陸守乃万葉
 廿六廿七小比多知種名抄小常陸地本知種書八万葉十八
 常陸國今本波奈比多底里云云此意なり又十三小常陸
 陸奥の陸や同く陸道乃意なり古今集注小常陸
 ぬるりや云るを契沖が陸を申すなり陸を申すなり陸
 小東道乃道のけしなり常陸云云插子然也古哥
 郷境堰相經山川之峯谷取近通之義以即名称焉常道
 の意もよ倭武尊巡狩東夷之國陸過新治之縣時遣國

造良那良珠命新合掘井流泉淨澄立有好愛時時乘輿
 既水洗弁御衣交袖無泉而沾依漬補之義以爲此國之
 名國俗諺云筑波岳黒雲掛衣袖漬國是矣嘗あり仲
 和名抄小常陸國那珂郡那珂郡那珂郡那珂郡那珂郡
 紀小仲國造志賀高次穂朝御世伊豫國造同祖建借馬
 命定賜國造○張狹國造和名抄安房國長狹國奈加
 佐是あり平群安房朝夷長狹野郡置安房國也此國
 元介上総國の内持り上代伊勢郡上総國也此國
 狹名も係る常道等云々上総國夷黨郡も長狹國也此國
 望陀郡小畝富神社あり長○伊勢船木直船木何郡小
 狹國造乃祖神あり法○

神鳳鈔小志摩國船木原御厨所
 多氣郡山奈世舟木村所和名抄
 此彼見亦聞書總推古卷廿六年
 負名名也聞不其國安藝郡船木
 地和人見本後紀八越前國人直
 云人見本後紀八越前國人直
 臣和名抄小尾張國丹羽郡是也
 郡和波神續紀十七其丹羽臣真
 社和波神續紀十七其丹羽臣真
 臣和名抄小尾張國海部郡嶋田
 杜名神太臨時祭式大哉亦多見
 尾張國多天神三代實録卅尔尾張
 昔與神社多支別亦此六其植神
 田臣宮成堂以必見也姓氏録右
 臣同祖補良并身命之後也五世
 乎上推是參天皇御代尾張國嶋
 神遣子上平服之復命之日賜号
 仲國造氏有欽さく尾張多神社
 同祖有バ子上か乃惡神を平け
 丹羽臣賜以子其乃孫也若然ハ
 七嶋朝臣清田云日弘仁十四年
 高祖清田云人毛見初此類聚國
 臣朝上件十九姓乃外亦也姓氏

山 軒

尾張國多天神三代實録卅尔尾張
 昔與神社多支別亦此六其植神
 田臣宮成堂以必見也姓氏録右
 臣同祖補良并身命之後也五世
 乎上推是參天皇御代尾張國嶋
 神遣子上平服之復命之日賜号
 仲國造氏有欽さく尾張多神社
 同祖有バ子上か乃惡神を平け
 丹羽臣賜以子其乃孫也若然ハ
 七嶋朝臣清田云日弘仁十四年
 高祖清田云人毛見初此類聚國
 臣朝上件十九姓乃外亦也姓氏

神

沼河耳命者治天下也

紀首多朝臣同祖神八井耳命之後也園部同氏河内國皇別志紀縣主多朝臣同祖神八井耳命之後也此氏人宿称姓立朝見之緝口縣志紀縣主同祖云隨志紀三代實録六見之

書紀綏靖卷少元年春正月至東朔己卯神滄名川耳尊即天皇位是年也大歲庚辰也何れ太御父天皇崩坐西三年過て後は御位を御坐本京殿也神武天皇元年也崩及年己卯是年過る庚辰なり

山

代の事ハ年紀ハ必しも拘り難きも此御世の初也三年死後ヤシと定たりれは據ありき其以ハ今知法由なり神日神磐余彦天皇崩時神滄名川耳尊孝性純深悲慕無已特留心於哀葬之事焉其庶兄手研耳命云々遂以諒闇之際威福自由苞蔵禍心圖害二弟于時大歲己卯冬十一月云々至於山陵事畢乃

然るも崩乃明年秋九月葬也延緩あるありし其間ハ天皇ハ何の皇子也者未定坐るあり

を、手研耳命を殺す給て、世間静まらば、神八井耳命
 純讓、坐す。小因て、始に御位に定まり、於らむ。或人、此
 禮、四年の御喪を、竟賜ひ、之を、例に、漢國の、
 禮、意多、皇國の、例に、漢國の、例に、漢國の、
 禮、意多、皇國の、例に、漢國の、例に、漢國の、
 禮、意多、皇國の、例に、漢國の、例に、漢國の、

凡此神倭伊波禮毘古天皇御

年壹佰參拾柒歲御陵在畝火

山之北方自檮尾上也

トシ
 ヤ
 シ

記中御代此段終御年御陵曾記此處の例

多々此味天皇御年或天皇御年或天皇御年或

此凡此帶中津日彥天皇之御年此凡此帶中津日彥天皇之御年

段終小凡此品陀天皇御年云々此段終小凡此品陀天皇御年云々



山年凡

神三十五神... 凡不以此六大神の嶋をも神... 坐坐終小其教を括總云... 御子等所録十一王不入記五未九至并八十王... 彼例あり轉生... 壽數を然云... 麻理美曾那... 時年... 凡... 御子の數を係云... 壹佰參拾漆歳... 古言... 書純... 七平有...

年春三月甲午朔甲辰天皇崩于檀原宮時年一百二十... 七歳... 御年數... 異あり... 常あり... 相調... 波加... 使多能加多... 能字倍乃美也... 古事記傳二十... 六十四

此偏ニは定スまし山小表ノ云ハ小峯ノ尾ノ二ノあり尾
 ひハ儀ハかレはハは定スまし山小表ノ云ハ小峯ノ尾ノ二ノあり尾
 は鳥獸ノ云ハの尾ヲ同シて山ノのハ乃ハ長ク引延ス
 處ニ云ハ猶此事朝倉宮段小自所向之山尾登山其
 小下ハ傳レ世トのハ委シ云ハ白ク構ル尾ノ火ノ山ノ北ニ面
 の尾ハ白ク構ル樹ノ多ク有リ此名ヲ負ル云ハ此
 上ヲ云ハ小上ヲ云ハ邊ニ云ハ二ノあり此ニ上ヲ開
 ハ裏表ノ云ハ裏ハ肉表ノ外ハ上ハ邊ハ共シ小外
 表ノハ本ハ同意ナリ共ニ小字ヲ省シ用シ云ハ然
 中央ニ分テ二ノ言ハ又邊ノ字ハ邊ノ字ハ邊ノ字ハ邊ノ字ハ邊
 外ノ字ハ此ノ字ハ開ニ上ニ云ハ云ハ小上ヲ云ハ邊ニ云ハ二ノあり此ニ上ヲ開
 云ハ此ノ字ハ開ニ上ニ云ハ云ハ小上ヲ云ハ邊ニ云ハ二ノあり此ニ上ヲ開

乙卯朔丙寅葬畝傍山東北陵ニあり諸陵ニ亦ハ畝傍山
 東北陵畝傍壘原宮御宇神武天皇在天和國高市郡兆
 域東西一町南北二町宇戸五畑ノ見ル云ハ此御陵今
 は詳シくは祖綏靖天皇ノ御陵ニ申ス云ハ里人主
 云ハ綏靖天皇ノ御陵ニ申ス云ハ綏靖天皇ノ御陵ニ申ス
 陵乃事ハ彼御陵ニ也此神武天皇ノ御陵ニ也其
 云ハ此考ヘ合テ云ハ此神武天皇ノ御陵ニ也其
 山本村ノ西ニ慈明寺村ノ南ニ連テ云ハ東北ノ山ニ在リ
 即畝火山ノ西北ニ方ニ屬ス云ハ正利ノ正利ノ正利ノ正利ノ
 云ハ此地形ノ是ハ山ノ西北ニ方ニ屬ス云ハ正利ノ正利ノ正利ノ正利ノ
 井上御陵ノ止ス云ハ此山ノ西ニ方ニ屬ス云ハ正利ノ正利ノ正利ノ正利ノ
 云ハ此山ノ西ニ方ニ屬ス云ハ正利ノ正利ノ正利ノ正利ノ

小非父式は書紀乃隨神家奉り此乃曰又此記
 北方穴也乃多色也近志松平原前曾廟記此
 陵下小町百年以來壞為田民呼其田家神武
 之所獄則麻哭也餘教畝為而封云と夫神武
 代草昧之蹤東垣乎中州王道盛興創於此我
 億非當致尊奉之廟陵也澆季至此噫哀哉云
 志小も在四條村云云是也東北方小町
 町許東に四條村云云是也東北方小町
 一田間は僅三山り許高さは五六町也
 櫻一本生てあり誰も是を御陵なりと云
 決て是乃ハ非也地形自構尾上平云云
 非定久し世に成経也山も變て平云云
 乃奇しひ乃多也其も山も變て平云云
 此地の乃多は然らば山も變て平云云
 りるも尾乃多は然らば山も變て平云云
 らるも尾乃多は然らば山も變て平云云
 見此金す但生れ乃御陵也壞れ今見奉る
 此如くして内多構れ何れも御陵なりと云
 當初大も嚴川乃御陵のなごり也見在
 安寧懿徳れ御陵のなごり也見在
 陵もも少そ之乃御陵のなごり也見在
 代小をころ者乃御陵のなごり也見在
 まく何れを見見ゆゆなり是乃御陵の
 陵すも此乃御陵のなごり也見在
 和の了る乃成務天皇の御陵を神功皇后
 小西の續後紀小見在乃御陵のなごり也
 むる也乃御陵のなごり也見在
 代も其諸の制又祭賜し式を如何有
 事知がらし書紀天武卷小壬申年此乱
 御論よ因て遣高市郡大領高市縣主許梅而祭拜神日

當初大も嚴川乃御陵のなごり也見在
 安寧懿徳れ御陵のなごり也見在
 陵もも少そ之乃御陵のなごり也見在
 代小をころ者乃御陵のなごり也見在
 まく何れを見見ゆゆなり是乃御陵の
 陵すも此乃御陵のなごり也見在
 和の了る乃成務天皇の御陵を神功皇后
 小西の續後紀小見在乃御陵のなごり也
 むる也乃御陵のなごり也見在
 代も其諸の制又祭賜し式を如何有
 事知がらし書紀天武卷小壬申年此乱
 御論よ因て遣高市郡大領高市縣主許梅而祭拜神日

本磐余彦天皇之御陵因以奉馬及種大兵器云云也
 見ゆ是ハ臨時の事ナレバ也。御陵ヲ祭テ幣ヲ奉賜シ
 給フノ物小見云々始ナリ。是ハ先モ其ノ事續
 紀云神皇五年八月綠皇太子病遣使奉幣帛於諸陵是
 陵等小御祈事アリ事又年號天聖也改多クハ時ハ
 の物小見えハ始アリ事又年號天聖也改多クハ時ハ
 諸大陵差使奉幣取分ハ大陵中ニ有。同三年九月遣
 使以渤海郡信物令獻山陵六所是蕃國の信物也御陵
 見云々始アリ事又年號天聖也改多クハ時ハ
 所ハ何ハナリハ事又年號天聖也改多クハ時ハ
 正一人掌祭陵壺奉前幣是也喪葬山禮諸陵及陵戸
 名籍事估一人史一人土師十人掌贊相凶礼員外臨時

取充使部十人直可云々本續紀云天奉元年四月諸陵
 司為寮增員加秩佐等諸陵司加秩佐等諸陵司加秩佐等
 年十月詔曰元先皇陵戸者置五戸以上云々若陵戸不
 足以百姓充免其徭役三年奉替云々諸陵司加秩佐等
 官給賜韓袋帛等見也諸陵司加秩佐等諸陵司加秩佐等
 喪葬令小元先皇陵來帝玉山陵以置陵奉令皆非陵戸
 令守者在中替其城內不得葬埋及耕採樵採
 取其陵小屬云々諸陵司加秩佐等諸陵司加秩佐等
 以百姓充免其徭役三年奉替云々諸陵司加秩佐等
 云々諸陵司加秩佐等諸陵司加秩佐等諸陵司加秩佐等
 小元山陵者置陵戸五烟令守之有功臣墓者置墓戸三

燭其非陵墓戶差點令守者先取近陵墓戶充之
 陵墓側近有原野者寮仰守戶并務所在國司共相類燒
 除可也凡諸陵墓者每年二月十日差遣官人巡檢仍當
 月一日錄名申省其兆域垣溝若有損壞者令守戶修理
 事當官人巡檢檢^天_正每^天每^天月十五日奉幣諸陵及墓
 其陵別五色帛各三尺庸布一段一丈四尺倭文三尺木
 綿四兩麻六兩近陵別五色帛各一丈純一匹絲一絢調
 布十端倭文六丈木綿十兩麻三斤五兩粟料薦五尺
 黑葛三兩遠墓及近墓幣各同遠陵例其別項幣物色同
 月上旬幣下頒幣用差各陵墓預人奉^祖神功^皇皇^陵差^奉
 藏式^諸諸^陵幣^物物^納納^調調^之之^大大

云々見不見^此此^諸諸^陵陵^之之^幣幣^物物^納納^調調^之之^大大
 日別收正倉供幣^藏藏^式式^諸諸^陵陵^幣幣^物物^納納^調調^之之^大大
 以下大藏省の正倉院將飾幣頒給儀式也^其其^物物^納納^調調^之之^大大
 式大藏式小見存^此此^日日^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 所の儀負觀儀式小見^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 墓ハ路程の近遠を以^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 十陵八墓ハ其の餘幣^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 親しく近意を以^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 多々^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 寮^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 式小^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 奉送其使參議已上及^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 照之云々^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 何^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 年十二月九日詔定十^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 や始^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 武天皇平城天皇^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 皇祖等^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車
 已^天天^皇皇^建建^禮禮^門門^前前^乃乃^帷帷^小小^行行^車車

此の如く故不入此七代を定むるは、漢國の七朝の制を身はりし、
は、桓武の御母后也、皇后也、崇道天皇也、
ハ、延暦の、亮太子、
祭、
臣、多武峯、
源朝臣、
美都子、
外祖、
子、
良房、
實録、
武峯、
位、
十二月、
其、
八、

の如く小ありて、遠陵の奉幣のあり、
墓、
百、
當、
其、
何、
遠、
殊、
給、
乃、
様、
亦、
古、
後、
世、
此、
天、
皇、
藤、
原、
臣、
之、
御、
心、

古書て御事は是る字形也遠字れ心定米難訓
 姑書紀結葉尔依於此地名事云云云云云云
 父斗比賣計中御本延佳本共小計作小誤為
 又神一本延佳然一本作斗云云神名帳不攝津國嶋
 上郡阿久乃神社所祀此社芥利村阿久乃云云然
 神名帳但馬國津和郡伊久乃神社也其社名抄
 故不引云書紀少云三年春正月戊寅朔壬午立淳名底
 仲媛命赤白淳為皇后書云磯城縣主葉江女小津媛
 一書云大間暗祿女係媛云云淳名底仲媛命外懿
 鴨坐女也云云あり鴨田女名係得以其故八王事代主神孫
 皇胤云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

重事代主命神社高市郡高市御縣築鴨事代主命神
 社引此御事頭男小化了婦人小娶了生了勢乃御子
 名心得取鴨王云書淡云子信中是舊事紀云云
 天日方奇回方命了勢其事外米垣宮段不委云信
 常根津日子伊呂泥命此御名義常何神由云云未思
 得此若書紀乃如人御母淳名底仲媛命也其御名
 可如根味美称書紀伊呂泥多伊呂勢中同云同
 母兄於意云書紀此御名其兄云作此神代卷神武
 卷欽明卷孝德卷孝和卷孝元卷孝和卷孝元卷孝和
 日本紀云伊呂泥命云云此母姊也伊呂泥云云云云
 命乃御兄云那泥汝命云然伊呂泥命云云云云云云云

酒座奉神座部之雲聚山陰見者之文。今休尔山陰玉
陰山變知之也。山陰見者之文。今休尔山陰玉
五。山陰見者之文。今休尔山陰玉
万葉小甚多。或曰。山陰見者之文。今休尔山陰玉
持義。山陰見者之文。今休尔山陰玉
建貞子。山陰見者之文。今休尔山陰玉
此。同位美称。山陰見者之文。今休尔山陰玉
少。一。山陰見者之文。今休尔山陰玉
日。大日本。山陰見者之文。今休尔山陰玉
兄。第二。山陰見者之文。今休尔山陰玉
常。津彦。山陰見者之文。今休尔山陰玉

此^{コノ}天^{スメラ}皇^{ミコト}之^ノ御^{ミコト}子^{ミコト}等^{ナリ}并^ニ三^ミ柱^{ハシラ}之^ノ中^{ナリ}。

大^{オホ}倭^{ヤマト}日^ヒ子^コ鉏^{スキ}友^{トモノ}命^{ノミコト}者^ハ治^{アモノシタ}天^{ツギニ}下^ハ。次^{ツギニ}。

師^シ木^キ津^ツ日^ヒ彥^{ヒコ}命^{ノミコト}。妹^{イモ}媛^{メノ}命^{ノミコト}。兼^{カミ}谷^ヤ置^ヰ王^{ノミコト}坐^{カミ}。

子^コ孫^{ソノ}者^ハ。伊^イ賀^ガ須^ス知^チ之^ノ稻^{イナ}置^ヰ。三^ミ野^ノ之^ノ稻^{イナ}置^ヰ。那^ナ婆^バ。

祖^{オヤ}之^ノ一^{ヒト}并^ニ和^{ニギハヤヒ}知^チ都^ツ美^ミ命^{ノミコト}者^ハ。坐^{カミ}淡^{アハ}道^チ。

三年ノミヤニミレキカレコノミコミタメフタハシラミレキイロホノナハ
之御井宮故此王有二女兄名

蠅伊呂泥亦名意富夜麻登父

通阿禮比賣命弟名蠅伊呂舒

也。封日于睦文命昔於天下

也。二王は布多婆斯良少訓塔。王字は事多伊那河宮段
也。一子孫者は比登婆斯良能美古波中訓也。

子孫を御子孫意小取法也。然るに應おるに祖也。此御

子比名ハ漏不傳はよりきり家也。○伊賀は伊賀國風土

記云殘篇一猿田彦神始此之國為伊勢加佐波夜之國

時二十余万歳知此國矣猿田彦神女吾娥津媛命云此

神之依知守國謂吾娥之郡其後清見原天皇御宇以吾

娥郡分為國之名也後改伊賀吾娥之音轉也。和名抄小

阿我郷同延長風土記云伊賀國者往昔属伊勢國大日

本根子彦太瓊天皇御宇癸酉而為伊賀國本此号者

伊賀津姫之領郡也仍為郡名亦為國名也河内國

本紀云伊賀國之難波朝御也隸伊勢國飛鳥朝代割置如

故倭姫命也記云伊賀國天武天皇庚辰歲七月割置伊勢

國西郡此國名八下三姓子係此也須知之稻置和名抄伊賀國名張郡周知延長風去記に同郡小周知山
抄又神名或に同國阿拜郡須智荒米神社也此社
本村小あり延長風土記小荒木山有神号須智明此二
神所奈猿田彦武内宿禰葛城襲津彦也見ゆ
處林内何れも存む又和名抄播磨國防磨○那婆理之
稻置和名抄伊賀國名張郡名張奈波利延長風土記小
信がふし書紀天武卷小隱郡隱驛家又名張奈波見
抄万葉一不吾也何所越る乎おきぬ藻形隱乃
山以今日越る也又暮小逢了朝面無子隱に三川長
抄採る廬形地也小暮相了朝面羞隱野形菜子也

散に在黄葉也於此是也皆此地を以て流る也今本
古言抄訓て伊勢小あり葉長歌小あり那婆流は隱に
江小廬作難麻理互居葦蟹を以て假字證奈波乃小
野之稻置書紀持統卷小伊賀國伊賀郡身野中見あり
此此地奈波天武紀小三野縣主初了書紀奈磯
城津彦命是播使連也始祖也此姓天武天皇村三姓氏
録右京皇別猪使宿禰安寧天皇皇子紀都此有命之後
也紀社志奈波在京皇別新由部朝臣安寧天皇皇子
磯津彦命之後也見ゆ磯下城字此記奈波此土氏
は漏子り○平子ハ比登波志良能美古中訓法小○和

皇極經世一〇蠅伊呂抄蠅上同位伊呂抄伊呂

兼奉御書紀に弟字妹字ミムスノタチ御女等は共あ黒田盧丹官御宇天皇孫妃キサク原あり坐て

御子を七生坐て被段長見書紀彼卷御姉を倭國

香媛赤名組某姉御ハレド

妹坂組某弟ハレド

コノメラミコトミトレヨソヂマリコノツミハカハウネ

天皇御年肆拾玖歲御陵在畝

火ヒ山ヤマ之美ミ富ホ登トニアリ也也

皇崩時年五十七此御年數不依...

肆拾玖歲書紀小ハ三十八年冬十二月庚戌朔乙卯天

皇崩時年五十七此御年數不依...

是十年其五年に皇太子小立坐遊年二十一...

美富登ハ御陰上卷小...

云跡ハケキラコレ...巔腹腰脚...

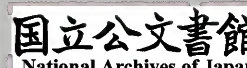
年秋八月丙午朔葬磯城津彦玉手看天皇於畝傍山南

御陰井上陵諸陵式畝傍山西南御陰井上陵片塩浮

穴宮御宇安寧天皇在大和國高市郡城東西三町南

北二町守戸五烟漢字は陰を写誤る...

唱唱了換正本を考定下定...



此山畝火山に西南方乃麓小著り高き園下。書紀
 傍山南中あるは式に依る南。彼慈明寺村北南あり御
 上に西字を脱きある。御陰井ハ吉田里中の路傍小在
 陵中全同トさ末あり。尋常此小き井あり御陵ハ此
 井より一町あまりあり。了西北方にあり。

境園宮卷

大倭日子鉏友命坐輕之境園宮治天下也。此天皇娶師木縣

主之祖賦登麻和訶比賣命亦

名飯日比賣命生御子御真津

日子訶惠志泥命。自訶下四次

多藝志比古命。柱

此天皇后孫漢様の御謚懿德天皇也。申於輕ハ大和
 國高市郡ふあり。神名帳ハ此郡に輕樹村坐神社あり。

冬 日 谷 堂

此ハ輕の内村樹村了小地名又輕樹了地名大
和志ハ此社池尻村屬色輕子也云云云云云云
今も輕村河内村有之其小留の方今絶け
るや此地水垣宮段玉垣宮段書紀應神卷五十雄畧
卷二十欽明卷一丁推古卷十七奈々も見在万葉二
三十丁天飛也輕路者輕市尔吾立聞者玉手次畝火
乃山尔喧鳥之音母不所聞三丁四十輕池之云四二十
到天飛哉輕路從玉田次畝火手見管十一八丁天飛
也輕乃社之齋觀云々云々云々云々云々云々云々云々
書紀云々曲峽云々又神功卷
小渟中倉之長峽云々地名攝津國風土記云々

故 治 血 訓

名標之長園之前也其證あり方葉七の五下
向園也河内表加本語云表云云加を添ふに
此加を添ふ言云云由云云表云云其訓云云
此宮は余彼哥苗村其西三方瀨云云行間小高
廣き園越道不坂あり其河内表云云有也其境
坂合云々境園云云云云云云云云云云云云云云
廣き原云々堀原宮大宮天皇也此云々云々云々
書紀云々二年春正月甲戌朔戊寅遷都於輕地是謂
曲峽宮云々或人云此宮址は輕の坤方河内也今
師木縣主上云々同氏なり○賦登麻和訶比賣命

○古事記傳七

○十八

名義太真若乃依信一飯日比賣命名義殊子考

神上に例の美称あり書紀の二年二月癸卯朔癸丑

立天豐津媛命為皇后長云磯城縣葉江男弟猪手女

泉媛云磯城縣年太真稚彦女飯日媛也

命安寧天皇の御子あり天皇の御兄あり御真

津日子訶惠志泥命御名意御真御真木今日又御

真津比賣命此御真也一御孫の意又地名

詳形國造本紀小長國造志賀高穴德朝御世觀松

長阿波國那賀郡多神名或彼國名有郡訶惠志泥

御間都比古神社あり彼色止命を祭まはす

也味思得依例乃多藝志比古命名義白檮原

天

朝比皇子女多藝志耳命也同の書紀も后生觀

松彦香殖稻天皇云天皇母弟武石彦奇友皆命也

友皆命天皇后御子に師木津日子命の御弟也

故御真津日子訶惠志泥命者

治天下也次當藝志比古命者

血沼之別多遲麻之竹

別葦井之稻置之祖

血沼之別血沼八地名其和泉國和泉郡小安子。上傳
八の葉小出別八戸名其此戸其事八日代官段小國々

之國造亦和氣云云。依下云依此姓他小見
古紀雄略卷八茅渟縣。○多遲麻之竹別但馬國に

竹云地古書不見古文。和名抄小美含郡に竹野。○葦
并之稻置同國小此地も見古以。葦思神社あり。此

等孫地名今在や無や國人小尋ぬ依。さて此二姓も
他小見古以。依下云依此姓他小見

天皇御年肆拾伍歲御陵在畝
障天皇子多遲麻之竹別但馬國に

火山之真名子谷上也。天皇御
御年肆拾伍歲書記あり。三十四年秋九月甲子朔辛未。

天皇崩少あり。御年ハ記され。但大御父天皇の十
十六やあふ依る。○真名子谷上書記に。明年冬十

月戊午朔庚午葬大日本彦耜友天皇於畝傍山南織沙
谿上陵。織沙を麻佐胡を訓る好わら。此記小依了麻

訓又真名子麻奈古史あり。書紀諸陵式畝傍山南織
私記あり。萬奈古史あり。書紀諸陵式畝傍山南織

沙溪上陵。輕曲峽宮御宇。懿德天皇在大和國高市郡兆
域東西一町南北一町守戸五烟。此御陵ハ畦植

村多西、古田村、河越、路、山、南、方、山、御、畝

火山、山、南、の、谷、形、内、あり、具、原、氏、分、畝、久、山、の、巽、方、小、

子、云、る、小、谷、多、真、名、子、谷、乃、真、名、首、首、名、小、也、其、

比、ろ、地、地、然、云、係、系、と、を、あ、り、又、或、説、お、久、米、寺、其、

東、南、小、山、の、山、云、る、天、皇、御、陵、山、南、御、畝、

掖、上、官、卷、○、真、名、子、谷、上、官、卷、二、御、上、官、

御、真、津、日、子、訶、惠、志、泥、命、坐、葛

城、掖、上、宮、治、天、下、也、此、天、皇、娶

尾、張、連、之、祖、奥、津、余、曾、之、妹、名

余、曾、多、本、毘、賣、命、生、御、子、天、押

帶、日、子、命、次、大、倭、帶、日、子、國、押

人、命、桂、十、一、年、於、越、上、山、林、於、赤、木、四、年、二、月、辛、下、地

此、天、皇、後、於、漢、祿、の、御、謚、は、孝、昭、天、皇、御、申、也、○、葛、城、寺、

古事記傳卷之二十一 諸陵式部 依上郡 葛上郡 書紀神武卷
皇與巡幸因登腋山 謙間與 履中卷 掖上室山 推

古卷小二十一年作掖上池 持統卷小四年二月幸于腋

上掖云 亦見在 掖上室山 有年 妻鄉也 葛上

朝津間腋上地 有同處 有法 今朝妻 于此

地名 訓考 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見

和伎能加美 訓 故小姑 是不從 比於 和伎能

倍中 和伎賀美 訓 故小定 米 紀 郡 草

上久佐 乃加美 奈 石 上 八 伊 曾 乃 加 美 丹 波 國 多 紀 郡 草

紀 元年七月遷都於掖上 是謂池心宮 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見

連書紀神代卷一書小太忍穗根尊娶高皇產靈尊女子

榜幡千之姬萬幡姬命而生兒天火明命 次天津彦根

火瓊杵尊其天火明命兒天香山是尾張連等遠祖也

一書小正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊娶高皇產靈

尊之女天萬榜幡千幡姬為妃而生兒號天照國照彥火

明命是尾張連等遠祖也 次天饒石國饒石天津彥火瓊

瓊杵尊也 見在 然 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見

中 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見

人 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見

祖 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見 亦見

の氏をあらぶるは、殊に、例あり、被り、
延小此姓之祖也。云々、
舊事紀、天孫御天降、御供奉、三十二神、
天降、依時、事、お、記、引、未、知、多、例、の、偽、お、て、實、心、迷、
逆、藝、命、乃、御、天、降、御、供奉、お、て、其、古、き、傳、の、有、ま、む、を、取、
了、記、せ、る、孫、首、小、天、香、語、山、命、尾、張、連、等、祖、也、
記、五、卷、に、此、姓、孫、世、系、次、に、於、
混、
甚、き、偽、説、の、源、由、傳、十、五、乃、九、葉、
又、其、御、子、天、香、語、山、命、を、亦、云、高、倉、下、命、
原、官、段、字、乃、高、倉、下、
も、凡、て、は、古、き、家、業、乃、あり、
倍、き、物、小、
皇、御、世、賜、尾、治、連、姓、
世、
皇、御、世、賜、尾、治、連、姓、
世、
皇、御、世、賜、尾、治、連、姓、
世、

其、
此、國、造、即、此、
下、居、佳、
此、津、猶、輕、島、官、段、
受、此、賣、を、尾、張、氏、
日、如、
原、宮、段、
事、紀、
名、姫、
世、孫、瀛、津、世、襲、命、
直、祖、丸、諸、見、
高、尾、張、邑、
其、邑、
人、
取、
古、事、記、傳、
世、

國神別尾張連火明命子天香山命之後地也。和國神別
尾張連天火明命子天香山命之後也。河内國神別尾張
連火明命十四世孫小豐命之後也。亦云河内國神別尾張
此姓より別々にして甚多し。又舊事紀小見
多し。○奥津余曾舊事紀小三世孫天忍男命此命葛木
土神釵根命女賀奈良知姫為妻生二男一女。書紀神武
根者為葛。四世孫瀛津世襲命亦云葛木彦命尾張連等
祖天忍男命之子也。天忍男命は天火明命子天
香語山命其子天村雲命の子あり。○余曾多本毘賣命
書紀小二十九年春正月甲辰朔丙午立世襲足媛為皇

后キツキ一云磯城縣主葉江女淳名城津媛一云倭國豊秋狹
太媛女大井媛也。狹太媛女也。孝安卷小母曰世襲

足媛尾張連遠祖瀛津世襲之妹也。亦云舊事紀小天
忍男命子二男一女。女我舉。瀛津世襲命次建額赤命妹
世襲足姫命亦名目置姫命也。和名抄小大和國葛
名義妹兄共小未思得次。依て村字ハ李の誤也。師ハ
云此抄小此記小李ハ天押帶日子命大倭帶日子
假字小用ハ此例也。○天押帶日子命大倭帶日子
國押人命子柱。御名共小皆美稱あり。押ハ意希志上
子。木子意希志其證ハ凡河内を安閑紀雅吉紀あり。小
大河内を古書也。傳七の七十四天武卷小凡海了小姓を

○古事記傳九一

○九五

大海阿も書き^{天武天皇御名を大海人皇子神代紀}
一書尔熊野忍隅命を六書尔^{熊野大隅命也}
或以思定む法^{凡て称名の押忍字は皆同少押並字を}
中^中押也^{同少}大^大内^内意^意あり^帯借^借字^字あり^足の意^意あり^是
者長久^天足^御有^壽ま^記神^多志^志は^羅志^志は^羅志^志は^羅志^志
は^首哥^に御^帯の^係文^服結^垂ま^あり^如く^帶多^結垂^り
る^物多^故故^尔此^名改^るれ^理云^を御^佩弓^を御^執り^は
此書紀尔^{后生天足彦國押人命日本足彦國押人天皇}
也^也

故弟帶日子國忍人命者治天

下也兄天押帶日子命者春日^{大臣}

宅臣粟田臣小野臣柿本臣壹

比韋臣大坂臣南那臣多紀臣

羽栗臣知多臣牟那臣都怒山

臣伊勢飯高君壹師君近淡海

祖國造之也

海國引降大下始

春日臣春日は大和國添上郡ふる地、名あり。此地、
 事、黒田官段ふる云、信し、さして此、姓は書紀天武卷に十
 三年十一月戊申朔大春日臣賜姓、曰朝臣、やあり。大て
 不言、ハ是、り、前何、ま、此御代ふる加、ま、り、と、も、る、ふ、詳
 持統卷五年の下の十八、氏を奉、る、中ふる、
 春、日、と、あ、り、了、了、大、字、ハ、あ、り、元、明、紀、ハ、出、
 字、ハ、大、姓、氏、録、左、京、皇、別、大、春、日、朝、臣、出、自、孝、昭、天、皇、皇
 子、天、帶、彦、國、押、人、命、也。仲、臣、令、家、重、千、金、委、糟、為、堵、于、時
 大、鷓、鷯、天、皇、德、臨、幸、其、家、詔、號、糟、垣、臣、後、改、為、春、日、臣、
 桓、武、天、皇、延、曆、二、十、年、賜、大、春、日、朝、臣、姓、少、あり。臣、令、
 あり、ハ、文、字、ハ、脱、誤、ま、り、小、や、人、名、亦、依、信、ま、り、仲
 小、口、本、七、件、を、り、り、是、も、山、加、ま、り、桓、武、天、皇、云、
 云、疑、は、し、り、是、り、洗、既、大、春、日、朝、臣、姓、あり、文、德
 美、録、齊、衡、三、年、一、月、辛、未、朔、下、酒、春、日、臣、雄、繼、賜、姓、大
 春、日、朝、臣、姓、氏、録、春、日、真、人、ハ、大、宅、臣、大、宅、は
 和、名、換、ふる、大、和、國、添、上、郡、長、春、日、大、宅、並、ふる、郷、ふる、
 書、紀、武、烈、卷、哥、能、準、播、麻、比、能、
 簡、頭、我、鳴、頭、擬、
 物、
 事、
 保、美、等、
 大、宅、臣、大、宅、は
 朝、臣、大、宅、臣、大、宅、は
 多、攝、津、國、皇、別、下、大、宅、臣、大、宅、は

○古事記傳卷一
 ○七
 大宅臣大宅は
 朝臣大宅臣大宅は
 多攝津國皇別下大宅臣大宅は

之後也。其後也。朝臣。天智。元。年。見。職官部。弘。仁。元。年。大宅。朝臣。詳。雄。從。五。脫。京。皇。別。次。粟。田。朝臣。之。後。也。孝。昭。天。皇。皇。子。天。足。彥。國。押。命。之。後。也。朝。臣。也。其。一。行。承。繼。乃。誤。也。小。野。朝。臣。條。乃。錯。也。續。後。紀。美。和。三。年。五。月。己。亥。朔。庚。子。山城。國。人。大。宅。臣。福。主。改。臣。賜。朝。臣。大。家。臣。大。宅。首。大。家。首。等。心。異。姓。分。是。粟。田。臣。粟。田。公。和。名。抄。上。山。城。國。愛。宕。郡。上。栗。田。地。在。山。城。國。愛。宕。郡。上。栗。田。鄉。有。栗。田。文。德。實。錄。八。下。山城。國。宇。治。郡。栗。田。中。也。栗。田。臣。賜。姓。朝。臣。也。見。續。

紀。天。平。寶。字。三。年。七。月。朔。栗。田。臣。道。麻。呂。賜。姓。朝。臣。

天。平。神。護。元。年。三。月。癸。巳。近。江。國。坂。田。郡。人。栗。田。臣。

瀨。直。瀨。斐。太。池。守。與。人。賜。姓。朝。臣。瀨。之。字。也。

神。護。景。雲。元。年。六。月。己。亥。左。京。人。粟。田。臣。粟。田。呂。種。麻。

呂。平。奈。美。麻。呂。三。次。賜。姓。朝。臣。粟。田。臣。粟。田。呂。種。麻。

別。粟。田。朝。臣。天。春。月。朝。臣。同。祖。天。足。彥。國。押。命。三。世。孫。彥。國。命。之。後。也。

山。城。國。皇。別。粟。田。朝。臣。天。足。彥。國。押。命。三。世。孫。彥。國。命。之。後。也。

中。見。後。續。後。紀。美。和。四。年。三。月。甲。午。朔。癸。卯。勅。聽。

大。春。日。布。瑠。粟。田。三。氏。五。位。已。上。准。小。野。氏。春。秋。二。祠。時。

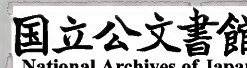
○古事記傳 北

○九八

布瑠氏の事八傳十

八世五十一葉五十三葉云々此近江國○小野
 奈乃氏神の事ハ次乃小野臣ノ下云云傳江國○小野
 臣舊印本延佳本並小臣字脫今此姓の事ハ天武
 紀中平武年十一月戊申朔小野臣賜姓曰朝臣中見
 姓氏録在京皇別小野朝臣大春日朝臣同祖彦媛津命
 五世孫米餅搗大使壬命之後也大德小野臣妹子家子
 近江國滋賀郡小野村カレコヲモテ因以為氏妹子臣々小治田御
 使小罷の堅田人あり滋賀郡に今も小山城國皇別小
 野村あり堅田北北良より南山城國皇別小
 野朝臣勝部天皇皇子天足彦國押人命之後也姓氏録
 此處第廿一葉廿二葉之始此序錯亂了前後小京
 云々故小第廿一葉の始姓を標小野朝臣の條小京
 余此小引は第廿二葉終小野朝臣の條小京

三葉の始小阿部朝臣大彦云々朝臣あり是其條あり
 又此錯簡小京皇別の始此等右の小野朝臣の次
 次第加誤は事を恐て姓氏録を看む人此錯簡小因了數神
 名帳近江國滋賀郡小野神社二座名神此氏神子
 子續後紀崇義和元年五月壬申朔辛丑小野氏神社在
 近江國滋賀郡勅聽彼氏五位上海臣春秋之祭不待
 官符永以往還同三年五月授無位小野神從五位下依
 觀四年平二月近江國小野神授從四位下不又
 武本同國高島郡小野神社又山城國愛宕郡
 小野神社和名抄同郡小野同國宇治郡小又姓氏録
 野京あり是由縁あり山城皇別小野臣天足彦國押人命七世孫人花命之後



也。即是在海島。故能乃人字。即本小野。敏達天皇御
子春見。皇太子。小野。皇太子。敏達天皇御
臣氏乃。皇太子。春見。皇太子。敏達天皇御
紀元十三年十一月戊申朔。本臣賜姓曰朝臣。姓錄
大和國皇別。神下。朝臣。大春見。朝臣。同祖。矣。足彥國押
命之後也。敏達天皇。御世。依家門。有神樹。為神。本臣氏。定
命。神名式。小野。城。國。紀。伊。郡。飛。鳥。田。神。社。一。名。神。本。歌
仙。野。仰。加。列。人。麻。呂。此。氏。以。為。原。此。氏。乃。人。續
紀。元。十。三。年。十。一。月。十。日。壹。比。韋。臣。壹。比。韋。臣。大。和。國。添。上。郡
此地。名。曰。輕。鷗。官。殿。乃。大。御。歌。比。伊。知。比。韋。能。知。佐
能。近。表。乃。是。乃。猶。此。地。事。以。後。御。哥。乃。下。云

能近表乃。是乃。猶此。地。事。以。後。御。哥。乃。下。云
賜。姓。曰。朝。臣。姓。錄。左。京。皇。別。標。井。至。和。安。部。同。祖。彥。姥
津。命。五。世。孫。米。餅。春。大。使。生。命。之。後。也。和。安。部。朝。臣。大。春
乎。有。此。伊。邪。河。宮。段。春。速。臣。乃。云。此。外。朝。臣。亦。有
是。見。衣。氏。大。坂。臣。大。坂。臣。地。名。亦。和。名。抄。在。備。後。國
安。那。郡。大。坂。鄉。矣。是。乃。同。祖。其。由。於。次。乃。阿。那。臣
好。下。云。此。和。名。抄。大。和。國。葛。上。郡。大。坂。鄉。矣。神
和。名。抄。大。坂。臣。大。坂。臣。地。名。亦。和。名。抄。在。備。後。國
亦。見。阿。那。臣。阿。那。臣。大。坂。臣。阿。那。臣。阿。那。臣。阿。那。臣。阿。那。臣
〇古事記傳卷一
〇此

此北蘇我氏和國高市郡奈弓身狹小非國造本紀尔武
 社國造志賀高穴穗朝和迹臣祖彦意祁都命孫彦忍今
 命定賜國造云了續紀引神護景雲元年三月陸奥國
 壯瀧郡人春月部奧麻呂等三人賜姓武射臣云云
 素之此氏族系乎身狹小字在續紀引見在舒射臣助
 皇極紀不見有身狹小君都怒山臣此地舊姓也
 身狹臣小別姓系乎身狹小君都怒山臣此地舊姓也
 いま古書小見所云云續紀九に角山君内麻呂ヤ
 云人は見也云云こは君の戸名なりバ異姓云は同一姓
 信此此人献私穀於陸奥國鎮所云云伊勢飯高郡和
 名抄伊勢國飯高郡伊比此水云云大神宮儀式帳小忍
 飯高國也見也倭姫

命世記小干時飯高縣造祖乙加豆知命乎汝國名何同
 賜高志止申事貴止續紀引天開承三年四月東浦伊勢國
 飯高郡采女並八位下飯高君望目之親族縣造等皆賜
 飯高君姓云云神護景雲三年二月辛酉伊勢國飯高郡
 采飯高公家繼孫并采賜姓宿禰身寶龜六年四月戊
 辰飯高公若舍人等并采賜姓宿禰同八年五月
 飯高宿禰諸高薨伊勢國飯高郡人也性甚廉謹志慕貞
 實采女者此始歷仕四代始終無失時年八計
 更之乃等姓引字云云元年の云云小誤
 也三本十四葉小因誤云云古本小誤云云
 朝延小仕奉了榮

在於此見也此人乃與
諸九一人賜姓宿祢見續後紀
子湖丙午左京人飯高宿祢全雄
同姓弟高等五烟改宿
祢賜朝臣全雄卷末
伊勢國人飯高公常比麻呂
弟五百繼飯高宿祢濱永等
男女北七人賜姓飯高朝臣
編附左京三條中見三代
實錄に眞觀本五年十二月二日
越前國敦賀郡人伊部
造豊特賜姓飯高朝臣卿改本居貫
左京五條三坊其先
出御穿昭天皇皇子天足彥國押人命也
壹師君稻名
抄伊勢國壹志郡伊知
是續紀十三卷壹師君族
出

麻呂續後紀十九不壹志公吉野云人見也
吉野文德實錄齊衡二年於此不壹志宿祢吉野
天皇此於前不宿祢姓在賜於此史不其事於漏
三代實錄に眞觀四年七月廿八日左京
火壹志宿祢吉野賜姓夫裔自朝臣天足彥國押人命之

後也近淡海國造松山心末物不見也
卷小近江臣滿江山人見於此他姓
次國造本紀領不淡海國造志願
定賜國造大陀牟夜則書紀不天足彥國押人命此和珥
臣等始祖也於此於此姓亦漏
氏亦於此亦於此姓於此亦於此

那河宮段也云傍中道也此皇子乃御後也此件の外
 氏必多也其姓氏録以見在也又三代實録九代
 民首方永了移以此命乃後也又續後紀四本近江
 國人嶋朝臣眞行賜姓高生朝臣其先觀松彦香殖稻天
 皇之後也嶋朝臣右本小川等也此皇孫也
 此是也此皇子此後名傍中道也又云國計入皇

天皇御年玖拾參歲御陵在掖

上博多山上也
カミコノスメラミコトニシテコノソチナリニシテハカハワキノ
 カミコノスメラミコトニシテコノソチナリニシテハカハワキノ
 カミコノスメラミコトニシテコノソチナリニシテハカハワキノ

御年玖拾參歲書紀尔ハ八十三年秋八月丁巳朔辛酉
 天皇崩也有りて御年は記され也但大御父天皇の北
 十八ヤありて依ハ或書ル者百十四ヤも百十五ヤも
 百十四歳なる傍ト○掖上博多山上書紀孝安卷三十八
 兼秋八月丙子朔己丑華觀松彦香殖稻天皇于掖上博
 多山上陵也ある三十八年心得ぬ事あり舊事紀ハ八
 十三年天皇
 崩明年八月葬之云るは書紀不依也ハ三十八年を
 疑乃明年はホトありて不記セる事依る事ハ掖上
 以掖上諸陵式に掖上博多山上陵掖上池心宮御宇存
 昭天皇在大和國葛上郡北城東西六町南北六町宇戸
 五畑中安河村和志不在室村陵畔有八幡祠并冢四ヤ

ハカハタマデノエカノニアリク
陵在玉手岡上也。貞命參詣

此天皇後此漢様御謚ハ孝安天皇也申次。○室ハ和
名抄小大和國葛上郡牟婁郷あり是あり今も室村あり

了又三室村也云も所經書紀履中卷下掖上室山也
源も此處なり。○秋津嶋宮書紀云二年冬十月遷都於

室地是謂秋津嶋宮也。此ハ彼神武卷下皇興巡幸
因登掖上曠間丘而迴望國狀曰云猶如蜻蛉之醫帖焉

由是始有秋津洲之號也。あるハ誰も大倭一國也
ヤハハ思フヤ若クハ又此掖上乃あり此地形御

龍ノ字詔書も所由也。古ハ郡郷あり此如きを
望みあふ妨あり若然也。秋津嶋也。是ハ彼時あり此

地也。考案也。此天皇此百餘年尾久寸敷坐せり
未だも此未宮地乃名あり故に後におおし給ふ倭

國乃秋葉の如くおもはれ給ふ。飾利嶋の又彼御古事
城倭一國也。此宮號は彼御古事の所あり

地多縁故也。如此也。賜予あり。何れもあれ彼御
故事も依りて號あり。○姪ハ知名抄に姪釋名云兄弟

姪為輕和名米比也。見ゆ米比也。女甥也。意乃稱ふ
協保木。○忍鹿比賣命御名鹿比義米思得也。書紀あり

○古事記傳七

○七六

二十六年春三月己丑朔壬寅。皇孫押媛為皇后。云。磯
 城縣主葉江女長媛。云。十市縣主五十坂彦女五木坂
 媛也。皇孫又孝靈。卷下。母曰押媛。蓋天足彦國押人。命
 之。女。押媛。如。此。疑。了。記。之。れ。ゆ。え。ハ。天。皇。の。御
 女。御。姪。也。必。此。御。女。を。依。依。く。す。ゆ。え。誰。の。
 御。女。云。云。は。傳。は。す。ん。ん。云。難。あり。
 大吉備諸進命。進。を。即。ハ。須。美。之。訓。也。此。御。子。の。書
 紀。不。は。見。右。ぎ。に。依。て。思。ふ。此。孝。靈。天。皇。の。御。子。此
 古伊佐勢理毘古命。亦。名。大吉備津日子命。或。ハ。此。天
 皇。乃。御。子。之。傳。誤。也。其。故。は。是。ハ。大。吉
 備。中。甲。將。御。名。負。坐。由。此。お。原。ゆ。る。又。進。也。彼。押

佐勢理。對。國。意。於。此。言。形。也。其。由。は。彼。處。大。倭。根。子。日
 子。賦。斗。逆。命。御。名。意。根。子。ハ。尊。稱。也。景。行。天。皇。の。御。子
 也。倭。根。子。命。中。申。以。河。内。凡。太。矣。記。中。に。難。波。根。子
 書。紀。神。功。卷。下。山。背。根。子。を。云。名。見。有。り。天。皇。御。大
 倭。國。所。知。者。也。倭。根。子。命。中。申。奉。也。故。此。御。號
 是。故。始。者。上。凡。孝。流。關。化。於。三。御。世。天。清。寧。元。朝。多。也。あ
 御。名。也。新。奉。之。馬。御。諡。也。仁。明。是。故。也。下。御。代。御
 代。於。天。皇。乃。御。通。號。也。多。り。也。詔。命。を。奉。る。也。不。倭。根
 子。天。皇。中。申。奉。る。也。孝。德。紀。天。化。二。年。の。詔。不
 皇。詔。也。天。武。紀。十。二。年。乃。詔。小。明。神。御。大。八。洲。本。根
 子。天。皇。勅。命。者。云。下。續。紀。十。の。詔。不。現。御。神。也。大。八。島。國

所知傳概乎天皇命武斗迹紀小太瓊書
 迹字此意也。迹の義ハ、不係也。多分、思ハ
 此也。書紀ハ、后生大日根子彦太瓊天皇也。此
 大吉備諸進命ハ、無事。御年壹佰貳拾參歳書紀ハ、
 直、六年春正月戊戌朔丙午、天皇崩矣。此、御年ハ、記
 持此文。但、大御考、天皇の六十八年、立、為皇太子。年
 書、此、持、百三十七也。百二十七也。云云。〇玉手固書
 紀、孝靈卷、百二年春正月、日本足彥國押人、天皇崩。秋
 九月、甲午朔丙午、葬于玉手丘。此、陵、ヲ、見、迹、諸陵式、亦、玉
 手、丘、上、陵、室、秋、津、嶋、宮、御、宇、孝、安、天、皇、在、大、和、國、葛、上、郡、

北域東西六町、南北六町、守戸五烟、少、矣、了、今、も、玉、手、村、
 也。在、室、村、西、北、河、東、云、大、和、志、云、玉、手、村、陵、南、有、天、神、
 祠、小、冢、二、在、邑、中、云、了。河内、國、安、宿、郡、亦、も、玉、手、了、不
 小、四、年、佐、伯、直、阿、能、胡、了、布、人、私、地、を、公、不、献、了、此、
 跡、皇、女、此、を、盜、み、上、罪、を、贖、ひ、多、り、其、地、以、玉、手、
 號、し、こ、ち、有、り、是、ハ、何、れ、を、む、さ、り、云、云、也、但、安、寧、
 天皇、乃、大、御、名、の、玉、手、ハ、河、内、國、葛、上、郡、安、宿、
 彼、ハ、仁、德、乃、御、世、り、の、地、名、不、非、也、御、陵、乃、名、不、
 也、は、後、此、地、名、を、以、了、也、中、ハ、傳、不、可、得、也、此、玉、手、
 迹、能、伊、鞞、能、也、有、る、也、何、れ、を、又、天、智、紀、の、童、識、不、
 麻、提、能、伊、鞞、能、也、有、る、也、何、れ、を、又、天、智、紀、の、童、識、不、

黒田宮卷

大倭根子目子賦斗邇命坐黒

田廬戸宮治天下也此天皇娶

十市縣主之祖大目之女名細

比賣命生御子大倭根子日子

國玖琉命一柱玖琉又娶春日

之千千速真若比賣生御子千

千速比賣命一柱又娶意富夜麻

登玖邇阿禮比賣命生御子夜

麻登登毋母曾毘賣命次日子

○古事記傳卷一

○廿九

○古事記傳卷一

○廿九

刺肩別命次比古伊佐勢理毘

古命亦名大吉備津日子命次

倭飛羽矢若屋比賣又娶其

阿禮比賣命之弟蠅伊呂孺生

御子日子寤間命次若日子建

吉備津日子命此天皇之御

子等并八柱女王五

此天皇後孫漢様乃御諡孝靈天皇也申以。黑田大和名抄云大和國城下郡黑田鄉久留邊字安名此乃依此今凡黑田村出雲風土記云黑田郡黑田驛注此處乃名也然乃此宮也御趾の大和志云宮古村郡黑田村出雲郡都柱あり云云書紀に日本足彥國押人天皇百二年冬十二月癸亥朔丙寅皇太子

新羅古事記傳

遷都於思思是謂廬戶宮矣。○トホナ米市縣主才市公和
 谷抄に大和國米市郡止保知と抄あり。トホナ米市縣主才市公和
 假字違字了。地名あり。此郡に於ては其の古來より其の
 後承訛りたり。河内郡に於ては其の古來より其の古來より
 表に唱ひて然れども今神名帳同郡米市御縣
 八姑く和名抄不從意訓功土神名帳同郡米市御縣
 坐神社新當御縣此縣主氏他亦不見也。○大
 和神名式尾張國山田郡大目神社佐渡國羽茂郡大目
 神社和名抄不同郡大目女保郷亦有あり。さて此人を
 書紀孝元卷不之磯城縣主とあり。○細比賣命細は師
 乃久波志少訓まゝ。或用不傳。目微比賣命と云例
 もあれ。たり。又細字を然訓流例は万葉傳に於て多

かり書紀ふる。二年春二月丙辰朔丙寅立細媛命為皇
 后。一云春日千乳早山香媛。一云十市縣主等祖女直古
 媛也。見衣。又孝元卷不母曰細媛命磯城縣主大目之
 女也。○大倭根子日子國玖琉命書紀。后生大
 日本根子彦國尊天皇。少時御名意玖琉命。括不統
 流意行。今此俗言。物を統流。又言。環る意。此
 統流。又言。括不。又言。環る。又言。包。又言。收。又言。引。
 又言。又拍也。又言。注。又言。意。又言。其。又言。史。又言。記。又言。牽。又言。於。又言。所。又言。聞。又言。事。
 ○春日和名抄に大和國添上郡春日郷加須加中流
 此あり。神名帳同郡不春日神社春日祭神あり。其書

紀開化卷之春日此云箇酒鵝継躰卷之太足皇子御哥
 に播屢比能等須我能俱你武烈卷哥如也此あり上
 以師乃冠辭考不春日之日如以むを不けしあり
 了河り万葉九尔春日之霞時尔ある不不知信
 了加須賀を春日書之にやを云云云云枕詞の字
 即り此地後尔用ひざるをのあり飛鳥の明日香云
 了同例あり此事別不委く云云云云云云云云云云
 此起乃事姓氏録大春日朝臣の條不見在し此疑は
 其文は上乃春日臣此下不引るが如し其詞不彼氏
 乃先祖大雀天皇の御代に糟垣を以て垣不也不因了
 糟垣臣ヤ号さる方不を後不春日臣ヤ改むや安依此
 說不依るやさき本糟垣ありは後不省て加須賀
 了ハありる形は了了又其糟垣は本賜りし姓あり
 此地名不ありは後之と云云聞ゆはあり然きや
 此説の疑はし由ハ先書紀乃綴清卷不既に春日縣
 主ヤ云こ了見在又此段不如此春日之云云云云云云

は正志く地名あり了彼糟垣の事ハ遙不後大雀天皇
 此御世ヤありはありは社バ地名を本不了彼姓ハ其
 地不因ま源にこそ有け然きやも若猶彼説をき以
 了云ハハ糶且能事ハい上代乃こ云ありけむを
 誤て大雀此御世ヤは傳了多ふも其ハ若くハ加能
 糟垣不因て其の地名如須賀を云来於るを後不姓に
 賜ひ了大雀乃御世ありし不やありむさ了糟を以
 了垣字以て云るもいあるこ云そや云古不は川乃
 堤れ如く廣く築了源垣もありしやおほし字ハ然
 了さま此垣あり信し耳ある不垣穂云もさる堤此
 如くあり垣不生し了了了速真若比賣名義千ハ神
 多源草木を云ちあり了了了了了了了了了了了了
 代比榜幡子々姫命乃千々不同了る信し水垣宮天
 皇の日女御子不千々都久和比賣命申次も坐了速
 は光映了源此神代乃奇阿那陀書紀に是を細媛
 命乃一此傳了了了了了了了了了了了了了了了了
 了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

香中ハ互小夜ヲ和等此者万さて此記書紀共小父を
アゲテ其奈流子多あり
拳さるハ傳はしけりト小ト○千々速比賣命書紀
小は此御子無小神名武比尾張國中嶋郡不知除波夜
神社云あり○意富夜麻登久迹阿礼比賣命ハ浮穴
宮御宇天皇比御曾孫小下彼御段に見ゆ蠅伊呂泥子
亦名あり書紀小は倭國香媛亦名組某姉也アリ○夜
麻登々母々曾毘賣命此御名夜麻登々子ト書紀小
多倭迹々日百襲姫命トあり又御妹乃御名倭飛羽矢
若屋比賣ト甲以も書紀小多倭迹々稚屋姫命トあり
下各互小少ト於ハ此異阿ハ彼彼此相照志ト参考流

に委く云ハ倭登也古流也此登をト畧テ倭登少ト云る
あり此記ハ畧ける方書
是也書紀小多又書紀崇神卷小ト倭迹速
も古流是毛同ト書トハ流迹也畧商ト形ト云
同音ト重テ多ト云ハト畧カト例多ト登々麻流ト
云類あり然るを此御名書紀トテト登々ト又
字一脱脱ト思テ中ト小トカトト又
書紀多ト御妹乃御名也ト共ト登の下ト毘ト言
ト此ト然流迹也ト脱トトト見ト然
ト毘ト稱名ト添トト毛省トト云ト此ト
本ト添トる形ト御妹ト御名倭飛を書紀トハ倭迹

迹ありし昆命亦又彼崇神卷あり倭迹速ハ速
連きし事同也亦昆命添さ添さ其以准
知法外少御名義ハ登々登々一畧けるは上の千
當同く通音母ハ百曾ハ勤切事也伊曾ハ伊佐袁の
さて此日女命ハ書紀崇神卷ハ五洋國內多疾疫民有
死亡者且大半矣六年百姓流離或有背叛七年天皇幸
于神淺茅原而會八十萬神以事問之是時神明憑倭迹
迹日百襲姫命曰天皇何憂國之不治也若能敬祭我者
必當自平ハ天皇問曰教如此者誰神也答曰我是倭國
域内所召神名為大物主神云云於是疫病始息國內漸

謚五穀既成百姓饒之矣十年云々於是天皇始倭迹
迹日百襲姫命聰明叡智能識未然乃知其歌怪ヤあり
武埴安彦ハ謀反ハ事ヲ豫知坐て天皇小言
賜牙事ありかく朝廷乃御為小種々此勤功志み
坐事故不百勤功ヤは祿奉ハ事ハさして
多同年の下に是後倭迹々日百襲姫命為大物主神之
妻然其神常晝不見而夜來矣倭迹々姫命語夫曰君常
晝不見者分明不得視其尊顏願暫留之明且仰欲觀美
麗之威儀大神對曰言理灼然吾明且入汝櫛笥而居願
無驚吾形爰倭迹々姫命裏密異之待明以見櫛笥遂

有美麗小蛇其長大如衣紐則驚之叫啼時大神有恥忽

化人形謂其妻曰汝不忍令羞吾吾還令羞汝仍踐大虛

登于御諸山爰倭迹々姫命仰見而悔之急居則箸撞陸

而覺乃葬於大市故時人号其墓謂箸墓也是墓者目也

人作夜也神作云見有云見急居此云免岐干云

以注せも其あり活あてハ菟伎韋ヤ云云此言

乃西都山其地今も箸中村云て御墓も大道

乃西都山其地今も箸中村云て御墓も大道

其故ハ後孝靈皇女崇神乃御世には百歳不多

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

事也似如のほ又被姫命ハ崇神天皇の王姑

其也其を執りて深く疑ふ所なきに非ず此奉物主神此
 御妻の御事坐す故事書紀亦出さる此則如命の御事
 心記如神此其異なる傳記也此此記亦不心坐玉
 依此賣す時崇神の御世其の御事前此奉物主神
 崇神乃御代其前此奉物主神其御世其の御事前此奉物主神
 其時に非然他時の事亦不あり然思ふ所也
 其時ハ物食時不あり用事物亦不彼豊坐ハ夜此
 明流を待て櫛等を用て見賜すを不あり物食以時
 不非此ハ箸を持賜すを不ありけられハあり然るを
 奉物主神此御事一時の事亦不あり然崇神乃御
 世ハ大物主神を祠に賜す故事此御事不語傳事亦不
 御事不奉物主神此御事ハ他代奉物主神其ハさふ
 奉物主神此御事ハ他代奉物主神其ハさふ
 別代官段不委云此御子書紀
 無一此古伊佐勢理毘古命書紀不彦五斗狹芥彦

命書書法より御名義伊佐ハ勇萬藤ハ書記勢理ハ神
 代此以須勢生命此須勢理中同奉天須勢ハ勢進也意
 奉物主神名或書記一書不火進命也此奉物主神以知信
 彼孝安天皇此御子大吉備諸進命也此皇子孫傳誤
 加云云此考合此續紀世五に伊豫國大周敷
 連真國等三十人賜姓周敷伊佐世利宿禰也此奉物主神
 勇在賞ハ由申姓奉物主神奉物主神天伊佐々此古神社也
 云云○大吉備津日子命書紀不は吉備津彦命也此奉物主神
 名義吉備ハ國名奉物主神此御名負坐る由也彼國此奉物主神
 也下不云信也○倭飛羽矢若屋比賣書紀不彦倭迹也

故治若而針

稚屋姫命... 飛登毘... 訓後賣御姉乃御名書紀
余倭迹... 日... 例... 飛... 登... 毘... 書紀... 迹... 日...
の... 飛... 書... 以... 知... 義... 飛... 登... 毘... 書... 迹... 日...
御姉の御名此例... 其意... 同... 毘... 此... 古... 此...
賣... 比... 不... 稱... 名... 多... 理... 書... 紀... 不... 御... 姉... の... 方... 不... 此... 記...
御姉の方... 不... 無... 此... 御... 名... 不... 有... 羽... 矢... 上...
稱... 名... 添... 無... 此... 御... 名... 不... 有... 羽... 矢... 上...
ある... 千... 速... 此... 速... 一... 凡... 不... 波... 夜... 八... 速... 書... 亦...
る... 止... 飛... 字... 不... 引... 其... 不... 羽... 矢... 屋... 阿... 夜... 亦...
美... 稱... 天... 皇... 女... 若... 屋... 即... 女... 書... 紀... 不... 推...
綾... 姫... 乃... 知... 信... 不... 餘... 此... 例... 不... 此... 御... 名...

不も必命... 故... 此... 字... 脱... 弟...
美伊呂... 杼... 浮... 穴... 宮... 御... 段... 不... 出... 於... 書...
紀... 跡... 紀... 組... 某... 弟... 中... 乃... 命... 眠... 寐... 間... 命... 佐...
麻... 訓... 紀... 不... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐...
鳴... 字... 書... 佐... 米... 麻... 命... 佐... 嶋... 命... 佐...
名義未思得... 書紀... 彦狹嶋命... 此... 書... 紀... の... 御...
彼景行... 卷... 五... 十... 五... 年... 以... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐...
督... 是... 豐... 城... 命... 之... 孫... 也... 然... 到... 春... 日... 穴... 昨... 色... 昨... 病... 而... 薨... 之... 是... 時...
東... 國... 百... 姓... 悲... 其... 王... 不... 至... 竊... 盜... 王... 尸... 葬... 於... 上... 野... 國... 中... 有... 御... 名...
亦... 總... 國... 不... 狹... 嶋... 郡... 乃... 命... 此... 地... 名... 也... 以... 後... 亦... 稱... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐...
形... 不... 非... 乃... 在... 寤... 間... 中... 名... 此... 似... 依... 於... 此... 御... 代... の... 皇... 子...
孫... 不... 此... 小... 此... 記... 正... 小... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐... 也... 姓... 氏... 録... 垂... 水... 史...
條... 不... 豐... 城... 不... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐... 也... 男... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐... 也... 男... 彦... 狹... 嶋... 命... 佐... 嶋... 命... 佐... 也...

○古事記傳廿一

○四十七

は書紀小孫中詔るや少非異あれども何れも下れ是
又此御代此皇子小非名證あり又國造本絶は活母帝
皇子大入来命孫彦狭嶋命云云大入来命其孫云云
皇子大入来命孫彦狭嶋命云云此御代乃御子小非係證
是又異ある傳あり此御代乃御子小非係證
凡て此小彼も多きなり○若日子建吉備津日子命此御
名も又吉備負坐所由下に見ゆ書紀おは雅武彦
命あり此御名小吉備てふは其の無き○註男王は
比古美古女王は比賣美古女訓法一入て天皇乃御子
及御胤を王に申以、之伊邪河官段日子坐王此處
委す

故大倭根子日子國玖琉命者

治天下也大吉備津日子命與

若建吉備津日子命二柱相副

而於針間冰河之前居忌菟而

針間爲道口以言向和吉備國

也。間為直口。又言向味古備國。

而。若建吉備津日子命。此御名上。小毛下。尔も若の下。建此。上。に。日子。ツ。所。の。を。此。の。諸。本。共。に。其。二。字。乃。無。き。ハ。

書紀。尔も推武彦。ツ。ある。如。く。省。き。て。も。申。せ。し。ハ。然。る。を。延。佳。本。流。例。多。し。月。代。宮。段。不。出。き。し。ハ。此。二。字。無。し。

台。如。天。事。上。卷。不。副。共。姉。石。長。比。賣。ツ。ある。ハ。相。並。て。ツ。云。む。ガ。傳。十。六。の。北。六。葉。

姑。大。委。了。凡。て。布。布。ハ。常。ハ。大。ある。物。ハ。少。き。物。乃。ハ。似。不。本。ハ。然。れ。み。不。非。比。同。ト。保。ツ。の。も。比。相。並。配。ふ。ち。も。云。了。さ。れ。ハ。此。二。兄。命。ハ。大。將。軍。弟。命。

ハ。副。將。軍。あ。り。云。了。さ。れ。ハ。非。ハ。副。字。不。混。む。所。ハ。有。也。○針。間。和。名。抄。ハ。播。磨。國。波。里。萬。ヤ。乃。國。名。義。ハ。此。國。風。土。記。ハ。菽。原。里。土。中。有。

并。所。以。名。菽。原。息。長。日。賣。命。韓。國。還。上。之。時。御。船。宿。於。此。村。一。夜。之。間。生。菽。根。高。一。丈。許。仍。名。菽。原。即。關。御。井。故。

云。針。間。井。ツ。あり。是。小。國。名。也。始。ハ。謂。ふ。れ。也。云。針。間。井。ツ。ある。ハ。何。レ。ヤ。國。名。也。是。ハ。出。し。り。け。し。所。

也。若。然。正。バ。榛。木。に。由。れ。る。名。也。又。谷。川。氏。云。赤。漆。衛。諸。國。名。産。を。奉。じ。中。ハ。も。播。磨。針。ツ。見。去。し。ハ。針。に。

上。代。り。名。を。出。し。し。也。是。ハ。捨。つ。り。也。○氷。河。ハ。比。能。加。波。ツ。比。加。波。ハ。知。務。也。姑。ハ。比。能。加。波。不。訓。於。此。

字を用ひて北陸道にてハ古之乃三知乃久知ハ越前
有之乃三知乃奈加ハ越中古之乃美知乃之利ハ越後
於云山陽道にてハ岐比乃美知乃久知ハ備前吉備乃
美知乃奈加ハ備中吉備乃美知乃之利ハ備後也云西
海道にてハ筑紫乃三知乃久知ハ筑前筑紫乃三知乃
之里ハ筑後比乃三知乃久知ハ肥前比乃美知乃之利
ハ肥後止與久迹乃美知乃久知ハ豊前止與久迹乃美
知乃之利ハ豊後也云並和名抄不見在事也此ハ吉
備國ハ将ハ道口ありて後まじ此播磨也山陽道口
ありてあり抄云此ハ為道也此云云曲今求垣宮段に

東方十二道也あつ處傳七三の五十八葉に委云法一考合以法一

凡て道口云云云も其國を治不京よりゆゝ路に次

序ハ於き云名あり○吉備國は上卷傳五五葉不出

地○言向和毛既ハ神代に見ゆ一本ハ向下に平字あり

其也此ハ抄ありて此兄弟命二柱共ハ吉備津日

子命也稱申也此御功績也由不有也此言

向政事書紀を考るに崇神御卷不十年秋七月詔群卿

曰云九月丙戌朔甲申以太彥命遣北陸武渟川別遣

東海吉備津彦遣西道丹波道主命遣丹波因以詔之曰

若有不_ラ受_ハ教_ヲ者_ハ乃_ハ舉_メ兵_ヲ伐_ス之_ヲ既_ニ而_{シテ}共_ニ授_ケ印_ヲ綬_ヒ為_ス將_軍也

漢をりて武埴安彦其妻吾田媛共不叛作事起
 多る不困て於是更留諸將軍而議之云天皇遣五十
 狹芥彦命擊吾田媛之師即遷於天坂皆大破之云
 埴安彦滅び此事平ぎ云冬十月詔群卿曰云々
 其四道將軍今急發之將軍等共發路十一年夏四月
 道將軍以平我夷之狀奏焉云々
 波ありて西道や山陽道を云々
 吉備津彦命や五十狹芥彦命や異人れ如く見也
 停川別やを置て出雲振根と誅
 書紀不見ゆ

故此大吉備津日子命者吉備上道

臣之次若日子建吉備津日子

命者吉備下道次日子寤間命

者針間牛鹿次日子刺肩別命

者高志之利波臣豐國之國前
 臣五百原君角鹿海直之祖

也。

高志。...

上道臣和名抄。不備前國上道郡加牟豆美知。...

地に因れる姓あり。上道郷も此郡内あり。...

云了。其も理は。上道中ハ。備前を云。...

道國造輕嶋豐明宮御世元封中彦命。...

中云。仲彦應神紀不見。書紀雄略卷に。七年吉備上道。...

臣田狹事見衣。清宗卷も此氏人可罪あり。...

也。然。表牙や志小彦。天武の御世に朝臣姓を。...

賜ひ。氏。此中も漏れ。姓氏録。...

地。續紀。天平宝字元年七月上道。臣斐太都賜姓朝。...

臣。國八月。上道朝臣斐太都為吉備國造。...

此。榮。由。さて。吉備姓。始祖。...

此。記。事。異。事。次。下。道。臣。乃。処。不。委。論。不。信。...

下道臣。字。諸本。不。上。作。誤。...

寺本に依。諸本。不。上。道。...

今。何。也。何。也。辨。...

應神。卷。不。依。...

此。後。を。下。道。...

備。姓。事。書。紀。不。推。武。彦。命。是。吉。備。臣。之。始。祖。也。...

不。兄。命。ハ。何。也。始。祖。又。應。神。卷。不。二十二年春三月。...

吉備臣祖御友別之妹兄媛有戀父母之情西望而歎云
天皇帝聽之送于吉備夏四月兄媛發船而往之天皇望
兄媛之船以歌曰云々秋九月天皇狩于淡路嶋轉以幸
吉備時御友別參赴之則以其兄弟子孫為膳夫而奉饗
焉天皇於是省御友別謹惶侍奉之狀而有悅情因以割
吉備國封其子等也則分川嶋縣封長子稻速別是平道
臣之始祖也次以上道縣封中子仲彦是上道臣香屋臣
之始祖也次以三野縣封弟彦是三野臣之始祖也復以
波區藝縣封御友別弟鴨別是笠臣之始祖也即以苑縣
封況補凝別是苑臣之始祖也即以織部縣賜兄媛是以

其子孫於今在于吉備國是其緣也也其御友別之推
武彥命此孫也弟彦命御友別乃季子也聞中野屋臣
前國御野郡也此孫也波區藝縣物不見也苑縣備
備中國下道郡不曾能鄉あり是奈也織部縣備
前國邑久郡又備中國賀夜郡小服部鄉備後國如此有
品治郡小服織郷ありはるはるはるはるはるはるはる
紫書紀此傳下道臣也上道臣也並推武彥命此
子孫也此兄命の子孫は無方也小也甚いなり
其故也彼崇神卷小四道將軍此西道を言向ふ
ひハ此兄命小坐坐け其處に弟命の御事ハ見
在交若弟命專吉備臣等此祖も坐彼時此記乃如
く必御兄弟相副了る物一傳さるは兄弟命此
を奉て氏も祖も坐弟命此御事を記されはるは
若くハ吉備國を言向ふは弟命あり此
記は御兄弟柱傳書紀ハ若建吉備津日子子て有
御名をまじはるは吉備津日子傳て兄命此

事終りしに、思ふや、此の兄命は御名吉備津彦命に坐す由あり、又此二柱は実録に在り、津彦命の二説共御名此に在り、因て二柱より傳へ建吉備津彦命の子とて、大皇若くは別名あり、但し姓氏録然とあり、公名若く疑はれ、此の記乃傳買も、一は傳あり、必誤、中、乃、傳、買、も、所、て、此、吉、備、姓、上、件、如、く、此、彼、を、別、を、如、く、も、亦、傳、て、ハ、廣、く、吉、備、臣

彼國言向賜ひし、弟も兄命は御末は無く、了、弟命は御末に波國に榮在、其世嗣は若建日子命は御子吉備建日子命、然るに、姓氏録不見ゆ、此、男彼御友別あり、然るに、中、三、代、実、加、く、て、其、長、子、別、は、下、道、臣、乃、祖、次、子、上、道、臣、乃、祖、次、子、此、兄、弟、を、誤、了、て、始、祖、御、繼、弟、大、吉、備、津、日、子、命、中、傳、買、多、る、未、だ、れ、也、や、い、は、り、前、に、姑、く、兄、命、の、後、を、下、道、中、兄、々、下、道、此、祖、不、了、弟、然、れ、也、此、記、乃、傳、買、も、一、は、上、道、の、祖、不、了、弟、然、れ、也、此、記、乃、傳、買、も、一、は、傳、買、も、必、誤、中、乃、傳、買、も、所、て、此、吉、備、姓、上、件、如、く、此、彼、を、別、を、如、く、も、亦、傳、て、ハ、廣、く、吉、備、臣

齊地云於見古代宮段書紀神功卷家子吉備
臣祖見古又後万でも雄畧頭宗欽明あや御卷
也吉備臣云るあり神名式に備中國賀夜郡吉備津
彦神社名神是ハ此氏神不坐相傳又吉備武彦命を
牙ハ始祖若建日子命あむむ又そそひ祖ハ坐
也國言向坐あハ大吉備津日子命あむむも知
臣文式載るハ何れハあハ一柱ありさて此神
社ハ世ハいはゆる吉備津宮アルて宮内村云る在
了下道臣ハ和名抄小備中國下道郡之毛豆美知
也此地に依れ泳姓あり書紀ハ分川鳴縣云くやある
社ハ是即下道郡國道本紀ハ下道國造輕嶋豐明官朝
臣域ハあはむむ

る法ハさ下是國造書紀雄畧卷小吉備下道臣前
云るハ右條於あハ津屋宇云人眾あり了族七十人誅殺
天武卷十三年十一月戊申朔下道臣賜姓曰朝臣續紀
天平十八年冬十月丁卯從四位下下道朝臣眞備賜姓
吉備朝臣十二の二葉小此人姓を上此此人於此時
に下道を改て吉備とあり天平神護三年十月為右
大臣宝龜六年十月薨年八十三又同二十年十一月
己丑下道朝臣乙吉備直事廣三人並賜吉備朝臣姓
也直事廣ハ二人の名姓氏録左京皇別吉備朝臣此
臣を命本不宿禰大日本根子彦太瓊天皇皇子稚武彦
作ハ誤あり

命之後也。是八如於天平初。下道を改。了。續紀。天平神護二年五月癸亥。下道。臣色。夫多。賜姓。朝臣。姓氏。録。左京皇別。下道。朝臣。吉備。朝臣。同祖。稚武彥命之孫。吉備武彥命之後也。此。吉備武彥命之孫。推武彥命の孫。正。一。○笠臣。書紀。應神。卷。波。區。藝。縣。封。御。友。別。弟。鴨。別。是。笠。臣。之。始祖。也。也。安。上。不。引。方。如。此。字。今。本。不。田。之。神。功。卷。吉。備。臣。祖。鴨。別。也。作。ハ。誤。有。り。國。造。本。紀。不。笠。臣。國。造。稚。嶋。豐。明。朝。御。世。元。封。鴨。別。命。八。世。孫。笠。三。枚。臣。定。賜。國。造。標。之。に。笠。臣。國。造。之。孫。也。八。世。孫。也。八。引。る。也。書。紀。仁。德。卷。不。笠。臣。祖。縣。宗。也。人。事。見。孝。德。卷。吉。備。臣。臣。連。天。智。卷。笠。臣。諸。石。委。云。人。見。天。武。卷。十。三。年。十一月。戊。申。朔。笠。臣。賜。姓。曰。朝。臣。續。紀。天。平。神。護。元。年。六。月。笠。臣。氣。多。麻。呂。賜。姓。朝。臣。姓。氏。録。右。京。皇。別。笠。朝。臣。孝。靈。天。皇。皇。子。稚。武。彥。命。之。後。也。應。神。天。皇。巡。幸。吉。備。國。登。加。佐。米。山。之。時。飄。風。吹。放。御。笠。天。皇。怪。之。鴨。別。命。言。神。祇。欲。奉。天。皇。故。其。狀。爾。夫。皇。欲。知。其。真。偽。令。攜。其。山。所得。甚。多。天。皇。大。悅。賜。名。賀。佐。也。賜。名。賀。佐。山。也。姓。又。鴨。別。也。賜。名。賀。佐。山。也。然。若。然。也。姓。也。何。不。也。笠。之。也。也。起。也。是。矣。續。紀。天。平。神。護。二。年。

德。卷。不。笠。臣。祖。縣。宗。也。人。事。見。孝。德。卷。吉。備。臣。臣。連。天。智。卷。笠。臣。諸。石。委。云。人。見。天。武。卷。十。三。年。十一月。戊。申。朔。笠。臣。賜。姓。曰。朝。臣。續。紀。天。平。神。護。元。年。六。月。笠。臣。氣。多。麻。呂。賜。姓。朝。臣。姓。氏。録。右。京。皇。別。笠。朝。臣。孝。靈。天。皇。皇。子。稚。武。彥。命。之。後。也。應。神。天。皇。巡。幸。吉。備。國。登。加。佐。米。山。之。時。飄。風。吹。放。御。笠。天。皇。怪。之。鴨。別。命。言。神。祇。欲。奉。天。皇。故。其。狀。爾。夫。皇。欲。知。其。真。偽。令。攜。其。山。所得。甚。多。天。皇。大。悅。賜。名。賀。佐。也。賜。名。賀。佐。山。也。姓。又。鴨。別。也。賜。名。賀。佐。山。也。然。若。然。也。姓。也。何。不。也。笠。之。也。也。起。也。是。矣。續。紀。天。平。神。護。二。年。

十月備前國人三財部毘登方麻呂等九烟賜姓笠臣姓
 氏錄右京皇別笠臣笠朝臣同祖推武彥命孫鴨別命之
 後也續後紀永兼和三年三月飛驒國人三尾臣永主同
 姓息長等賜姓笠朝臣貫附右京五條永主推武彥命之
 後也三代實錄元慶三年十月左京人印南野臣宗雄男
 命也宗雄自吉備武彥命第二男御友別命十一世孫
 人上天平神護元年取居地之名賜印南野臣姓第三男
 鴨別神是笠朝臣之祖也兄弟之後宜同姓也中安鴨
 別神の神字ハ命此誤弟之後此宗雄が言也
 昔ハ心得文己が先祖宗雄御友別乃子孫ある下道朝
 臣上道朝臣宗雄云姓ハささおきて其弟の鴨別子
 子孫乃姓の意也望ハ若建日子命於御子孫は右乃
 姓也此此外別姓氏録に吉備臣推武彥命孫御友別

命之後也印本ハ臣字を脱
 命之後也備中國窪屋郡宗雄見去り此○針間牛鹿臣
 牛此自濁て讀ハ他書ハ宇自如作バあり凡て黒
 例京書記安閑卷中播磨國牛鹿也倉所ハ姓氏録右京
 皇別宇自可臣孝靈天皇皇子彥狹嶋命之後也續紀七
 自賀臣山邊北二小宇自可臣東道中有人見ゆ是續後
 ハ邊也道也乃内一ハ一ハ誤也一ハ人宗ハ法ハ續後
 紀兼和二年九月右京人宇自可臣良宗賜姓春庭宿禰
 彥狹嶋命之苗裔也文德實錄齊衡二年八月宇自可臣
 武雄改姓笠朝臣三代實錄貞觀六年八月右京人宇自
 可臣吉人賜姓笠朝臣彥狹嶋命之後也永元慶元年

十二月在凉人宇自可臣秋田等男女十四人賜姓笠朝

臣彦狹嶋命之後也彦狹嶋命の御子孫小一丁

此由由可可吉吉忠忠云云人人見見由由○高志利波臣高志は

越國あり上卷不見由利波ハ和名抄に越中國礪波郡

止奈美止奈美とれとれあありり越後國磐船郡不利波郷もあありり其

ハハ一一代代要要記記不不越中加賀埴礪波山山ありあり續紀十七

廿八廿五不越中國人利波臣志留志志留志云人見由此人

寺事寺事不功不功ありあり越中負外介介不不ありあり○豊國之國前

從五位上從五位上不叙不叙後不伊賀守伊賀守ににありあり故故ありあり傳傳

臣豊國臣豊國事事ハハ上上卷卷不見由國前ハ和名抄不豊後國國

琦郡琦郡君佐木君佐木不不君君字字をを書書るるはは久久のの假假字字不ハハ非非久久

是あり書紀垂仁卷不是あり書紀垂仁卷不豊國國前郡豊國國前郡ありありさて景行

卷不卷不廿二年熊襲熊襲反之幸筑紫先遣國前臣祖莞祖莞名手云

云國造本紀不國前國造志賀高穴穗朝吉備臣同祖吉

備都命六世午佐自命定賜國造午字ハ平吉備臣臣同

祖祖云云るるはは異異ありあり傳傳ありあり○五百原君和名抄不駿河

國廬原郡伊保波良伊保波良ありあり是あり廬原郷郷也也乃云

乃云廬原國造本紀不廬原國造志賀高穴穗朝代以池田

坂井君祖吉備武彦命兒意加部彦命定賜國造池田坂

字一本不ハ思思作作了了書紀天智卷不廬原君臣續紀九不

五百原君虫麻呂續後紀四不廬原公有守守云人見

四. 姓氏録. 右京皇別. 廬原公. 笠朝臣同祖. 推武彦命之後也. 孫吉備武彦命. 景行天皇御世. 被遣東方伐毛人. 及凶鬼神. 到于阿倍廬原國. 復命之日. 以廬原國給之. カミドモライイタリキ アベ カヘコトニラセルトトニ ヲ タマヒキ アベ 郡 駿河

有少河. 少. さて上なる姓. 其國之. 國名を奉る有. 示. 此に駿河之. 云さ. 如何云に. 大抵朝廷に出. 出. 常不親近. 仕奉る人等. 此姓. 國を云. 國を云. 國は. 云. 國尔在. 常に親近. 仕奉る氏. あり. ○角

鹿海. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

海. 部. 直. 角. 鹿. 越前. 國. あり. 敦賀. あり. 此地. 此事. 訶志. 比. 官. 段. 乃. 未. 亦. 見. あり. 海. 師. 此. 阿. 麻. 割. 也. 用. 海. 部. あり. 紀. 九. 海. 部. 直. あり. 海. 部.

天國

孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳. 孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳.

孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳. 孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳.

孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳. 孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳.

孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳. 孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳.

孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳. 孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳.

孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳. 孫. 建功. 狹. 命. 定. 賜. 國. 造. 孫. 云. 此. 姓. 詳. 矣. 乃. 祖. 姓氏. 録. 焉. 傳.

為皇太子ハハチノミコト。或書ハハチノミコト。百二十八ハハチノミコト。百三十四ハハチノミコト。云云。○片岡書紀カタガハシ。綏靖卷不見ハハチノミコト。序丘カタガハシ。

岡ミナト。此カタガハシ。推古卷ミコト。二十一年皇太子遊イデミレキ行於片岡カタガハシ。云云。歌之曰ミナトノカハシ。斯那提流スナテリウ。箇多烏カタクカ。箇夜摩カヤマ。尔云云カタガハシ。古今集イデミレキ。哥カタガハシ。

天皇ミコト。朝原アサハラ。ハ云云カタガハシ。片岡坐カタガハシ。神社カタガハシ。神名帳カタガハシ。に見カタガハシ。○馬坂ウマサカ。書紀カタガハシ。孝元カタガハシ。卷小カタガハシ。六年カタガハシ。秋九月カタガハシ。戊戌カタガハシ。朔カタガハシ。

癸卯カタガハシ。葬大日本根子彦太瓊カタガハシ。天皇カタガハシ。于片丘カタガハシ。馬坂ウマサカ。陵カタガハシ。諸陵カタガハシ。式カタガハシ。小片岡カタガハシ。馬坂ウマサカ。陵カタガハシ。黑田カタガハシ。廬戶カタガハシ。官カタガハシ。御宇カタガハシ。孝靈カタガハシ。天皇カタガハシ。在大和國カタガハシ。葛カタガハシ。

而郡兆域カタガハシ。東西五町カタガハシ。南北五町カタガハシ。守戶カタガハシ。五烟カタガハシ。宇カタガハシ。前皇廟カタガハシ。陵記カタガハシ。小馬坂ウマサカ。或カタガハシ。見カタガハシ。今馬瀨カタガハシ。坂是也カタガハシ。○本カタガハシ。知志カタガハシ。在玉カタガハシ。寺カタガハシ。

村馬脊坂カタガハシ。東山中カタガハシ。陵カタガハシ。畔カタガハシ。有家カタガハシ。二カタガハシ。云云カタガハシ。

境原宮カタガハシ。卷カタガハシ。

本居宣長カタガハシ。謹カタガハシ。奏カタガハシ。

大倭根子カタガハシ。日子國カタガハシ。玖琉命カタガハシ。坐カタガハシ。經カタガハシ。

之堺原宮カタガハシ。治天下也カタガハシ。此カタガハシ。天皇カタガハシ。娶カタガハシ。

穗積臣等カタガハシ。之祖カタガハシ。內色カタガハシ。許カタガハシ。男カタガハシ。命カタガハシ。

妹カタガハシ。內色カタガハシ。許カタガハシ。賣カタガハシ。命カタガハシ。生カタガハシ。御カタガハシ。

大倭根子日子國玖琉命坐輕
之堺原宮治天下也此天皇娶
穗積臣等之祖内色許男命
妹内色許賣命生御

古事記傳二十二之卷

境原宮卷

本居宜長謹撰

オホヤマーネココヒココクニシロノミコカクルノ

大倭根子日子國玖琉命坐輕

サカヒバラノミヤニミレクテアマノシタシロシメレキコノスメラミコトホ

之堺原宮治天下也此天皇娶

ツミニノオミラガオヤウツレコラノミコトノ

穗積臣等之祖内色許男命

許色

二字以音

下效此

妹内色許賣命生御

イモウツレコメノミコトラメレテウミセル

子大毘古命次少名日子建猪

心命次若倭根子日子大毘毘

命。又娶内色許男命之女伊

賀迦色許賣命生御子比古布

都押之信命。又娶河内

青玉之女名波邇夜須毘賣生

御子建波邇夜須毘古命。此

天皇之御子等并五柱

此天皇後の漢様乃御謚孝元天皇也申次。○輕乃上又
出づ。○堺原宮書紀云四年春三月甲申朔甲午遷都於
輕地是謂境原宮也。此宮の地乃事境岡宮段。傳廿
十七云云。或人輕村の大道乃西云々。今も里人
葉小云云。の佐加紀婆良中云々。なり云々。○穂

積臣總積の地名なり。萬葉十三丁。下。帛。呼。檜。從。出。而。水。

蓼穗積至鳥網張坂手乎過石走甘南備山丹云々。帛。叫。

誤字。中。あり。る。穗積。の。名。也。其。國。ハ。大。和。の。

右。本。より。少。く。何。郡。も。在。り。云。々。ハ。詳。し。く。後。の。

哥。よ。依。り。思。ふ。添。上。城。上。下。十。市。也。の。郡。乃。内。あり。其。

甘。南。備。山。ハ。飛。鳥。の。神。南。備。山。ハ。奈。良。京。より。其。山。

又。十。市。郡。ハ。穗。津。村。也。云。々。ハ。穗。積。ハ。是。なり。云。説。あり。

又。和。名。抄。ハ。檜。津。國。島。下。郡。尾。張。國。

丹。羽。郡。美。濃。國。本。巢。郡。檜。磨。國。賀。茂。郡。也。ハ。穗。積。郷。也。

神。名。式。伊。勢。國。朝。明。郡。ハ。穗。積。神。社。也。あり。此。姓。ハ。白。檜。原。宮。段。ハ。迹。藝。速。日。命。娶。

登。美。毘。古。之。妹。登。美。夜。毘。賣。生。子。宇。摩。志。麻。遲。命。此。者。物。

部。連。穗。積。臣。妹。臣。祖。也。見。え。り。舊。事。紀。五。ハ。此。氏。の。

世。系。を。記。せ。り。書。紀。天。武。卷。ハ。十。三。年。十。一。月。戊。申。朔。穗。

積。臣。賜。姓。曰。朝。臣。姓。氏。録。左。京。神。別。穗。積。朝。臣。石。上。同。祖。

神。饒。速。日。命。五。世。孫。伊。香。色。雄。命。之。後。也。書。紀。崇。神。卷。垂。

香。賀。色。雄。男。大。水。口。宿。禰。之。後。也。書。紀。崇。神。卷。垂。

仁。卷。ハ。穗。積。臣。遠。祖。大。水。口。宿。禰。也。見。え。り。〇。内。色。

許。男。命。内。色。許。賣。命。宇。都。志。許。之。訓。也。内。色。古。ハ。宇。都。

名。義。宇。都。ハ。美。麗。の。意。也。顯。見。乃。意。也。法。ハ。志。許。

表。志。許。賣。之。神。代。の。葦。原。醜。男。乃。例。也。傳。九。の。六。法。也。

舊事紀又記せし此氏乃世次を考ふ小宇摩志麻治命
の子味饒田命彦湯支命彦湯支命乃子大祢命出雲醜
大臣命出石心大臣命出石心大臣命の子大水口宿祢
命大矢口宿祢命大矢口宿祢命乃子齋色雄命齋色謎
命大綜祢命大峯大臣命乃此四人母坂戸由良都
姫あり同書七より齋色謎命物部連公祖出石心命孫
也此云然也此世系疑あり其故ハ大水口宿祢
外崇神垂仁乃御世の人なり此内色
許男乃伯父中せり違へり○大毘古命名
意云少名日子建猪心命日子の日の少名毘古那
云云

神名乃例に依て濁る事ト比少名日子ハ御兄の天
毘古乃對子名吉意富々須久那也猪心ハ武を
云切書紀ハ男心也合せし思へり書紀
景行卷又屋主忍男武雄命云云名を云武猪心
事所又舊事紀ハ伊香色雄命乃子建膽心大祢命猪
膽心ハ中々ハ異なり云名水河也然也猪心
心ハ近く似たり故引云云名水河也然也猪心
ハ切りし○若倭根子日子大毘古命大御父天皇の
御名乃大倭根子と對し若倭根子ハ稱奉る所
也毘古ハ耳ハ同トて稱名あり言の首を濁る例ハ
王切ハ音便ハ毘古ハ申書紀ハ七年春二月丙
せし切りハ解ハ上ト出

寅朔下卯立齋色謎命オホキサキト為皇后ミコノカミ生二男一女フタコノカミ第一曰大
 彦命オホヒコ第二曰稚日本根子彦オホヒコ大日オホヒコ天皇オホヒコ第三曰倭迹々
 姬命オホヒメ云天皇母弟少彦男オホヒコ心命也オホヒメ見之オホヒメ又開化卷下
 母曰齋色謎命穗積臣遠祖齋色雄命之妹也オホヒメ○
 伊賀迦色許賣命賀迦イハガ舊印本イハガ下イハガ迦賀イハガ也イハガ○
 邪河宮段サカガ又サカガ諸本並賀迦サカガ何サカガ故サカガ此サカガ延佳本又
 一本又從サカガひつサカガ但サカガ水垣宮段サカガ伊賀色許男サカガ名義伊賀
 發語サカガ賀迦サカガ赫サカガ也サカガ上サカガを濁サカガるサカガ伊サカガよりサカガ於サカガてサカガ
イハガ返イハガ下イハガ乃イハガ賀イハガをイハガ清イハガくイハガ迦イハガ也イハガ云イハガ又イハガ音イハガ便イハガなりイハガ古イハガ言
イハガ夜イハガ少イハガありイハガ是イハガルイハガ夕イハガ也イハガ色許賣イハガ上イハガ也イハガ同イハガ下イハガ河内國茨
イハガ之イハガ時イハガ隱イハガ宮イハガなりイハガ

伊 建 治 故
 甲郡伊香イハガ以イハガ加イハガ波イハガ國麻殖郡伊加々志神社イハガ云
イハガ御イハガ卷イハガ初イハガ物部氏遠祖大綜麻
イハガ杵イハガ之イハガ女イハガ也イハガ也イハガありイハガ舊イハガ事イハガ紀イハガ大イハガ綜イハガ杵イハガ命イハガ乃イハガ子イハガ也イハガ舊
イハガ紀イハガ小イハガ大イハガ綜イハガ杵イハガ命イハガハイハガ齋イハガ異イハガ也イハガ傳イハガありイハガ○イハガ此イハガ古イハガ布イハガ都イハガ押イハガ之イハガ信
イハガ命イハガ信イハガ令イハガ麻イハガ許イハガ登イハガ也イハガ訓イハガ彦イハガ姓イハガ氏イハガ録イハガ下イハガ彦イハガ布イハガ都イハガ意イハガ斯イハガ麻イハガ已イハガ止
イハガ命イハガ令イハガ書イハガ聖イハガ印イハガ本イハガ子イハガ都イハガ部イハガ也イハガ誤イハガ名イハガ義イハガ布イハガ都イハガハイハガ太イハガ布イハガ斗イハガを
イハガ云イハガ依イハガ例イハガ万イハガ葉イハガ十イハガ八イハガ又イハガ太イハガ馬イハガをイハガ布イハガ都イハガ麻イハガ也イハガ押イハガハイハガ大イハガありイハガ上イハガ小
イハガ信イハガ令イハガ真イハガ事イハガ也イハガ依イハガ上イハガ下イハガのイハガ例イハガ小イハガ依イハガハイハガ此イハガ御イハガ名イハガ乃イハガ下イハガ小イハガ一
イハガ柱イハガ也イハガ去イハガ注イハガ也イハガ○イハガ書イハガ紀イハガ小イハガ妃イハガ伊イハガ香イハガ色イハガ謎イハガ命イハガ生イハガ彦イハガ太
イハガ忍イハガ信イハガ命イハガ也イハガ○イハガ青イハガ玉イハガ名イハガ義イハガ字イハガのイハガ如イハガきイハガ○イハガ神イハガ名イハガ帳イハガ小イハガ伊イハガ豆
イハガ國イハガ那イハガ賀イハガ郡イハガ青イハガ玉

此賣神社 波迹夜須毘賣土卷水神名也此同侍

何れ其名義ハ彼処傳五の五云云此ハ地名也

協法美乃大和國十市郡天香山近地也此乃

五ノ万葉集五ノ十ノ地安乃堤ニ五ノ地安乃御門之

原文填安乃池之堤也御所あり此比賣此地ニ

住也其故ノ名ハ負也乃云云名ハ負也乃云云比賣

○建波迹夜須毘古命此御母乃許子生立坐之

其同地名也乃云云神名帳ハ大和國十市郡畝尾坐健

小云乃書紀ニ次妃河内書玉繫女填安媛生武填安彦

命也其乃依て此命ヲ謀反也乃云云滅之乃賜し事氷垣

木國造之野守且古奈未山

故若倭根子日子大毘毘命者

治天下也其兄大毘古命之子

建沼河別命者阿倍臣次比古

伊那許志別命自比至志六字

以音此者膳臣

也。之祖。比古布都押之信命娶尾

張連等之祖。意富那毘之妹葛

城之高千那毘賣。那毘生子。

味師内宿禰。此者山代内。又娶

木國造之祖。宇豆比古之妹山

下影日賣生子建内宿禰

建沼河別命沼河ハ奴那加波訓造由小其意ハ白

禱原朝乃皇子神沼河耳命の例も同傳廿の三此御

子の御功乃事水垣宮段も見を阿倍臣阿倍ハ

決り地名也何地云々詳多後駿河國

安倍郡あり大和國十市郡安部村あり部文殊の寺

古書又津國東生郡又安倍野云云延佳頭

所賀國阿拜郡引阿倍臣或作敢臣中云云ハ非あり

思混シマ不レ法フ阿ノ拜ヒ郡ノ拜ヒ清音ノ敢レ同シ書紀ニ大彦命ノ阿倍臣等ノ七族ノ始祖也見レ之レ垂任卷ノ阿倍臣遠祖武
淳川カ別ヲ見レ之レ其レ後ニ此ノ氏ノ御世ニ多ク此ノ彼ノ見レ之レ
孝德卷ノ天皇即位日以阿倍内麻呂臣為左大臣倉蘇我
田石川麻呂臣為右大臣倉蘇我
同御世五年三月乙巳天武卷十三年甲子月戊申朔
朔辛酉阿倍大臣薨阿倍臣續紀大實元年三月阿倍朝臣御主
人為右大臣御主人ハ美宇志ノ訓持統紀二ハ布勢朝臣ノ續紀二ハ阿倍朝臣御主人
初テ阿倍朝臣ノ續紀二ハ阿倍朝臣御主人
書ハ處ハ此ノ布勢朝臣ハ姓氏錄ハ阿倍朝臣御主人
改ハ之レ阿倍ノ改ハ之レ

皇皇子奏彦命之後也續紀ニ慶雲元年十一月改引田
銅五年十二月阿倍朝臣御田次長田朝臣大麻呂多祁留等六
人船人久努朝臣御田次長田朝臣大麻呂多祁留等六
望各是阿倍氏俱蒙宗與宿奈麻呂無異但緣居處成別氏
先祖勅令伐新羅有功大嘗會日報命因奏此舞故相傳
為未嘗會舞云今北山抄大嘗會儀吉志舞ノ頭書ニ
有レ此氏乃先祖ニ新羅を伐リ百濟を救ヒ阿倍引
將軍後將軍等五人を遣ハシ三月前將軍中將軍後
田比邏史臣其一人あり又二年三月前將軍中將軍後
將軍六人を遣シ二万七千人を率テ新羅を伐リ此
時也彼比邏史臣後將軍乃一怖テ建沼河別命ノ御後
人也阿倍氏ノ外ハ小姓氏錄ニ竹田臣阿倍朝臣同祖大
彥命之男武淳川別命之後也見レ之レ國造本紀ハ須羽

國造纏向、丹代朝御代、建沼河命、孫大臣命、定賜國造須
 一本、那云云、比古伊那許志別命、真福寺本、又一
 須作注、名義未得、姓氏錄、小彦背立、大稻腰命、
 作同、注、名義未得、姓氏錄、小彦背立、大稻腰命、
 河、膳臣膳、膳夫、其、事、既、上、卷、出、傳、十
 五、集、外、膳、紀、大、彦、命、是、膳、臣、等、九、七、族、之、始、祖、也、此、
 字、今、本、膳、景、行、卷、小、五、十、三、年、秋、八、月、乘、輿、幸、伊、勢、轉
 入、東、海、冬、十、月、至、上、總、國、從、海、路、渡、淡、水、門、是、時、聞、覺、賀
 鳥、之、聲、欲、見、其、鳥、形、尋、而、出、海、中、仍、得、白、蛤、於、是、膳、臣、遠
 祖、名、磐、鹿、六、鴈、以、蒲、為、手、繼、白、蛤、為、膳、而、進、之、故、美、六、鴈
 臣、之、功、而、賜、膳、大、伴、部、忌、火、御、飯、事、條、下、引、高、橋、氏

文、ゆ、見、え、い、ゆ、異、ゆ、是、ゆ、ゆ、ゆ、此、文、古、物
 此、見、ゆ、ゆ、ゆ、誤、字、心、多、く、其、支、長、考、れ、ゆ、此、ゆ、ゆ、得、引
 以、ゆ、ゆ、磐、鹿、六、鴈、ハ、姓、氏、録、小、大、彦、命、ハ、孫、也、此、ハ、伊
 那、許、志、別、命、の、子、ゆ、ゆ、秘、抄、辰、日、節、會、高、橋、氏、文、云、
 六、鴈、命、七、十、二、年、秋、薨、天、皇、宣、命、云、十、一、月、新、嘗、の、會、心、
 膳、職、の、御、膳、の、事、心、六、鴈、命、の、勞、始、成、流、所、ゆ、是、以、六
 鴈、命、乃、御、魂、乎、ハ、膳、職、仁、伊、波、比、奉、夫、春、秋、の、永、世、乃、神
 財、心、仕、奉、志、女、年、也、ゆ、七、十、二、年、ハ、景、行、御、世、の、ゆ、
 天、皇、宣、命、心、同、天、皇、の、如、く、聞、え、ゆ、此、ハ、詞、ゆ、
 ま、を、見、ゆ、後、天、皇、乃、ゆ、ゆ、書、紀、ゆ、賜、膳、大、伴
 部、ゆ、ゆ、ハ、此、時、此、姓、を、賜、子、ゆ、如、古、聞、ゆ、然、ゆ、
 之、非、後、數、多、の、膳、夫、の、伴、部、を、志、鴈、命、乃、部、下、ゆ、
 め、免、賜、名、ゆ、其、伴、部、廣、き、故、ゆ、大、伴、部、ゆ、ゆ、
 此、伴、部、を、率、掌、ゆ、故、ゆ、膳、臣、ゆ、ゆ、正、小、姓、ゆ、
 是、ゆ、是、ゆ、後、ゆ、履、中、卷、三、年、云、ゆ、遊、宴、
 膳、臣、余、磯、飲、酒、時、櫻、花、落、于、御、蓋、云、ゆ、膳、臣、余、磯、日、推、
 櫻、部、臣、ゆ、此、事、ハ、下、卷、若、櫻、宮、段、小、奏、云、ゆ、又、雄、略、
 卷、小、膳、臣、長、野、能、作、完、繪、云、ゆ、安、南、卷、小、内、膳、卿、膳、臣、大、
 麻、呂、ゆ、ゆ、是、ら、皆、此、氏、乃、膳、蓋、の、天、武、紀、十、三、年、十
 事、小、か、ゆ、此、例、の、見、え、ゆ、ゆ、

一月戊申朔膳臣賜姓曰朝臣姓氏錄左京皇別高橋朝

臣阿倍朝臣同祖大稻與命之後也景行天皇巡狩東國

供獻大蛤于時天皇嘉其奇美賜姓膳臣天淳中原瀛真

人武謚十二年改膳臣賜高橋朝臣賜予依を彼景行

御世乃事作本例此也傳也又十二年

是十三年乃事作本例此也傳也又十二年

其書紀亦見之次朝臣姓を賜し也此也

部少あり但中臣連を藤原氏也云云此也

己此也中臣也例也同也此也其也

和高橋也郡あり崇神紀也高橋邑神名式也高橋神

社武烈紀也哥爾掩筒播志切也此也

護景雲二年二月勅准令以高橋安曇二氏任膳司者

為奉膳其以他氏任之者宜名為正也高橋氏文也

政官符云定高橋安曇二氏供奉神事御膳也此二氏

乃御膳のり也あぢのり也諸書子見えり殊也

事由縁河也か故なり阿曇氏のまゝ膳大伴部阿倍朝

臣同祖大彦命孫磐鹿六鴈命之後也景行天皇巡狩東

國至上總國從海路渡淡水門出海中得白蛤於是磐鹿

六鴈為膳進之故美鴈賜膳大伴部膳臣乃外也膳大伴

後子所以あり之彼景行紀乃文ふあり之別小賜予

膳大伴部也此姓を賜予也此景行紀也

取ら氏乃由緒也まゝ和泉國皇別膳臣宇太臣松原臣

阿倍朝臣同祖大鳥膳臣等並大彦命之後也此文乃

まゝ攝津國皇別高橋臣阿倍朝臣同祖大彦命之後也

孫建諸隅命乃子倭得玉彦命亦云市大稻日命母ハ葛木直祖
 大諸見足丘。此云。是。有。法。也。○高千那毘賣名義千
 女諸見己姬。此云。是。有。法。也。○高千那毘賣名義千
 是。上。小。見。之。法。千。々。速。乃。千。々。小。同。ト。那。ハ。名。ク。兄。名
 稻日。此。舊。事。紀。子。書。依。不。依。ハ。稻。乃。意。也。師。ハ。兄。名。也。合
 毘。此。連。ま。は。名。也。賣。は。女。也。り。云。云。是。也。是。也。さ。さ。さ
 省。此。高。千。那。毘。此。賣。云。法。亦。を。比。を。一
 省。て。倭。登。也。云。依。也。同。例。也。り。法。也。此。比。賣。ハ。舊。事。紀
 を。考。る。小。大。稻。日。命。子。ハ。妹。は。あ。く。し。て。其。父。の。建。諸。隅
 命。乃。妹。ハ。大。海。姫。命。亦。名。葛。木。高。名。姫。命。云。云。り。此。高
 名。姫。也。法。也。其。ハ。此。記。乃。如。ク。大。稻。日。の。妹。也。り。を
 誤。り。其。父。の。妹。也。大。海。姫。乃。亦。名。ハ。傳。也。り。法。也。り。

大海姫ハ水垣宮天皇妃小シク別あり。法ハ大稻日乃母葛木直の女也。流
 ば。高千那毘賣同母也。母許ハ葛木在し故也。此。高
 葛城之也。法云。是。也。○注。那。毘。三。字。以。音。也。法。也。り。
 小。江。也。乃。例。也。美。称。也。字。麻。志。麻。遲。也。云。名。心
 師。字。ハ。意。也。又。音。を。取。也。多。假。字。也。例。也。り。
 師。此。字。ハ。九。ノ。音。を。即。訓。不。用。也。借。字。也。也。り。
 師。木。土。師。也。乃。如。也。り。例。也。り。文。也。也。り。
 記。中。ハ。此。字。を。假。字。用。ひ。也。り。例。也。り。文。也。也。り。
 音。を。訓。也。雜。子。也。書。不。用。也。り。例。也。り。文。也。也。り。
 例。也。り。音。を。訓。也。雜。子。也。書。不。用。也。り。例。也。り。文。也。也。り。
 内宿祢乃處小云法。宿祢ハ遠飛鳥宮段哥不須久祢

此河。是此號乃正。不混。之。也。正。見。ゆ。也。
書紀私記。昔稱皇子。為大兄。又稱近臣。為少兄也。宿
祢之義。取於少兄也。此意。の。稱。也。但。允。恭。天
小負。給。予。祢。は。御。兄。の。御。名。大。兄。云。亦。不。對。予。兄。也。
申。せ。祢。は。然。る。は。臣。の。名。あり。限。り。し。る。須。
久。那。延。を。約。す。須。久。泥。云。あり。は。私。記。の。此。文。乃。次。
小。或。説。帝。王。相。親。云。曾。古。祢。與。蓋。敬。此。あ。は。甚。細。く。
云。亦。足。ぬ。こ。の。ぞ。あ。の。舊。事。紀。乃。説。あり。此。外。
亦。舊。事。紀。小。宿。祢。の。事。を。云。は。皆。違。り。り。外。は。此。は。
古。の。ゆ。臣。等。を。尊。み。親。み。云。は。祢。あ。は。姓。の。加。婆。
祢。小。切。れ。の。淨。御。原。御。世。は。始。り。也。此。御。世。亦。八。色。
の。賜。予。祢。見。る。宿。祢。は。多。く。は。舊。連。あり。り。其。時。諸。氏。
賜。る。は。此。人。乃。事。書。紀。應。神。卷。小。九。年。夏。四。月。遣。武。内。
宿祢於筑紫以監察百姓時武内宿祢弟甘美内宿祢欲
廢免即譏言于天皇云々天皇則推向武内宿祢與甘美
内宿祢於是二人各堅執而爭之是非難決天皇勅之令
請神祇探湯是以武内宿祢與甘美内宿祢共出于磯城
川濱為探湯武内宿祢勝之便執橫刀以毆仆甘美内宿
祢遂欲殺矣天皇勅之令釋仍賜紀伊直等之祖也直紀伊
は建内宿祢乃母家なり賜也其家の奴也味師内宿祢
なり此事実小應神天皇の九年形は味師内宿祢
の命長かりなり景行天皇の御世乃末なり見ゆ
る亦生まじし此時ハ百五十餘歳なり也
武内宿祢弟ありは此記也兄弟乃次序異なり小似
これハ異母なり此記の趣は何を兄也云云

宿祢於筑紫以監察百姓時武内宿祢弟甘美内宿祢欲
廢免即譏言于天皇云々天皇則推向武内宿祢與甘美
内宿祢於是二人各堅執而爭之是非難決天皇勅之令
請神祇探湯是以武内宿祢與甘美内宿祢共出于磯城
川濱為探湯武内宿祢勝之便執橫刀以毆仆甘美内宿
祢遂欲殺矣天皇勅之令釋仍賜紀伊直等之祖也直紀伊
は建内宿祢乃母家なり賜也其家の奴也味師内宿祢
なり此事実小應神天皇の九年形は味師内宿祢
の命長かりなり景行天皇の御世乃末なり見ゆ
る亦生まじし此時ハ百五十餘歳なり也
武内宿祢弟ありは此記也兄弟乃次序異なり小似
これハ異母なり此記の趣は何を兄也云云

き、非、次、舉、之、は、序、の、母、乃、尊、早、次、序、の、書、紀、の、弟、也、お、從、了、は、心、知、か、

協、を、以、定、む、法、也、ハ、シ、ロ、ク、チ、オ、ミ○山、代、内、臣、山、代、の、山、城、國、也、此、國、乃、事

は、水、垣、宮、内、の、和、名、抄、の、山、城、國、綴、喜、郡、宇、智、郷、之、也、

已、書、紀、雄、略、卷、之、山、背、内、村、神、名、式、の、綴、喜、郡、内、神、社、也、

今、内、里、村、を、云、也、ハ、ヒ、此、姓、の、書、紀、欽、明、卷、十、四、年、

乃、事、見、左、の、姓、氏、錄、大、和、國、皇、別、内、臣、孝、元、

天、皇、皇、子、彦、太、忍、信、命、之、後、也、ま、の、山、公、内、臣、同、祖、味、内、

宿、祢、之、後、也、之、の、大、和、國、の、移、り、後、○木、國、造、

國、造、本、紀、の、紀、伊、國、造、檀、原、朝、御、世、神、皇、產、靈、命、五、世、孫、

天、道、根、命、定、賜、國、造、姓、氏、錄、河、内、國、神、別、紀、直、神、魂、命、五、

世、孫、天、道、根、命、之、後、也、ま、の、和、泉、國、神、別、紀、直、神、魂、命、子、

御、食、持、命、之、後、也、木、國、造、の、水、垣、宮、段、書、紀、敏、達、卷、の、直、

豐、耳、也、云、人、見、左、の、國、造、直、也、ハ、書、紀、神、功、卷、の、紀、直、

卷、の、天、津、日、子、根、命、木、國、造、祖、也、ハ、同、氏、也、也、ハ、淡、木、也、

字、乃、脱、也、ハ、論、子、の、如、續、紀、の、神、龜、元、年、十、

月、紀、伊、國、名、草、郡、大、領、紀、直、摩、祖、為、國、造、天、皇、紀、國、小、行、

天、平、元、年、三、月、紀、直、豐、嶋、為、紀、伊、國、造、延、曆、九、年、五、月、紀、

直、五、百、友、為、紀、伊、國、造、也、見、之、續、後、紀、兼、和、二、年、又、三、代、

實、錄、貞、觀、五、年、小、紀、直、氏、の、人、の、宿、祢、姓、を、賜、ハ、之、也、見、

之、ハ、續、後、紀、喜、祥、二、年、紀、伊、守、伴、宿、祢、龍、男、與、貞、觀、儀、

式、の、出、雲、國、造、也、紀、伊、國、造、也、を、任、式、を、載、ら、れ、ハ、也、他、

國造は殊ある由あり。殊なる大神を齋祭
造は日辭國懸二大神の祠官あり。今に至るまで此氏
相續る紀國造也。稱ふ其系圖を見る。天道根命を始
祖坐之時。御從奉仕也。記せり。○宇豆比古名義白檮原
宮段ふ依。槁根津日子の名を。書紀に珍彦也。依其
同十加依。書紀には兔道彦也。あり。紀國造系圖哉
道根第二比古麻第三鬼刀祢第四久志多麻第五大名
草比古第六宇遲比古也。序より今世に紀國若山乃内
名小依也。依名ある。○山下景日賣名義山下は諸
木葉の變紅也。秋山乃色哉云。其由ハ輕島宮段末
小秋山之下氷壯士也。云。其也。傳三十四の
書紀孝靈卷小真古媛也。云名あり。影ハ耀くあり。か
は山下乃夜を省ける名あり。

紅顏を美と依名あり。影
媛也。云名は書紀武烈卷小あり。○建内宿祢建内ハ
多祢宇智也。訓法ハ。世小此名を武之内也。之を添くよ
地名のあり。依ふ。了ふ。み。り。言。建ハ。例の美稱内
也。古小建之也。云依例。何。こ。り。也。建ハ。例の美稱内
は味師内乃内也。一あり。共。子。居。地。名。あり。大和國有智
郡あり。あり。神名帳有智神社。諸陵式有智陵。内親王。上
也。小。此郡あり。方葉一。小。内。乃。大野也。よ。あり。小。此
處あり。兄弟共。小。此地。子。居。住。也。也。也。山城國綴喜郡
建内宿祢山城國。小。由縁あり。こ。り。古書小見。本。依。書紀
神功卷小。武内宿祢。專選精兵。從山背出。之。至。菟道。云々
也。云。こ。り。也。此。山。背。の。居。地。あり。發。出。由。こ
は。非。依。依。味師内。宿祢乃。山城。此。内。臣。の。祖。也。由。ハ

此人乃子孫の後山山城國綴喜郡乃地也移居住る
が奮の犬和孔居地の名を取其地を内村也云は
り内臣也云ふ又彼子孫も也大和乃居地也
よりて内臣を云ふ山城子移り其内臣孔居地也
故其地を内村也云ふ何れも大和
なるが本みく山城あるは此子孫の居住する依り
地名也下卷高津宮殿本御歌の八此人城宇知能阿曾
也よませ賜り書紀神功卷の哥も然あり阿曾は
乃畧あり阿曾美の事は彼續紀慶雲四年の詔詞もは
大御哥乃下りおはし
建内宿祢命也のよませりはて書紀も彦太忍信命是
武内宿祢之祖父也此所り景行卷は三年春二月庚
寅朔小幸于紀伊國將祭祀群神祇而不吉乃車駕止之
遣屋主忍男武雄心命猪心令祭爰屋主忍男武雄心

命請之居于阿備柏原而祭祀神祇仍住九年則娶紀直
遠祖菟道彦之女影媛生武内宿祢也此記乃傳也
異あり他書也凡書紀也同く建内宿祢をバカ
る此人の生ハ成務卷ハ初天皇與武内宿祢同日生之
也所り年紀合次其故ハ景行卷三紀命紀國
也此ハ此人ハ景行御世の四年より十二年は景行天皇四十
六立為太子二十四年也此ハ二十三年子生坐也
然也此天皇乃生坐一はり乃十二年よりハ十一年
後也此天皇又天皇太子立坐一ハ景行卷ハ五
十一年ハ御年二十四也計ハ廿八年ハ生坐
也ハ彼十二年より十六年後也又此天皇崩時
年一百七歳也其以計ハ景行の十四年ハ生坐
也ハ其ハ二年後也如是く成務

小遍く語傳了り信よ六御代乃朝小任奉るの忠
誠小功績多く續紀三藤原不比等子食封を賜ふ詔小
宿祢命乃仕奉賈流車止同事叙止勅而云々又天平八
年の詔小昔者輕塚原大宮御宇天皇曾孫建内宿祢盡
事君之忠致人臣之節創為八命長めりあはせ世
比ひ比ひ高津宮天皇乃大御歌めり那許曾波余能那
賀能比登汝くそは世の賜ひ書紀子は能虚
管等離虚曾波區珥能那餓臂等大臣御答歌乃阿礼
許曾波余能那賀乃比登やめり誠小書紀の年紀小據
計はふ大凡三百歳餘子不及のあなりなり
景行天皇四年より仁徳天皇五十年まで二百八十
九年より十二年より計はふ二百八十二年なり

仁徳の五十年より後ひ幾年存在をむ薨乃事は
何年なり見われる壽数心定まるれるれ允恭卷五年
ふ此人乃墓の事見えれる其世は既く亡人なり
帝王編年記ふ仁徳天皇七十八年庚寅大臣武内宿
祢薨年未詳一説云景行天皇九年己亥生云云紀臆臣
氏久云武内宿祢大臣者六代帝為大臣也遂不知其死
處一書云伐平東夷還時祢身苦由入於申斐國也不知
其死處者一書云入於美濃國不破山一書云還米大和
國葛下郡薨室破賀墓是也云り他書り此類
ふ云ふ此彼あり水鏡ふは仁徳五十五年薨年二百
八十云公卿補任ふ景行九年己卯生仁徳七十八
年庚寅薨年三百十二云云年六或は二百五十五云
二百八十云二百八十二云二百九十五云三百
六十云武内傳云物小因幡國風土記曰難波高津宮
治天下五十五年春三月大臣武内宿祢御歳三百六十
餘歳當國御下向於龜金双履殘御陰所不知蓋因幡
國法美郡宇倍山麓有神社也曰宇倍神社是武内宿祢

者。木臣。都奴臣。次父米能摩伊
坂本臣之祖。次父米能摩伊
刀比賣次怒能伊呂比賣次葛

城長江曾都毘古者。玉手臣的
臣。生江臣。

阿藝那臣。又若子宿禰。江沼財
等之祖也。又若子宿禰。江沼財

九は九人なり師の許々能多理即訓きし原小従ふ法
一。男ハ。年須古女ハ。年須賣即訓法。年須古即云稱
古書ハ見え

常ハ云家稱あり年須古能君。是ハ貴きものと賤きものと
ハ書紀の訓ハ此多ク見あり。是又中昔ハ今ハ常
ハ云稱あり。然レハ此小對。男子を年須古云云ハ
ハ少ヨリ古言ハ云あれ。古言ハ然ハ年須古年須賣
乃訓あり。多クヲハコ。コ。ハ附。和名鈔ハ
男子女子ハ多クヲハコ。和名ハ無し。宇鏡ハ見え。○
波多八代宿禰波多ハ居地名なり。此地名國々小
多あれハ。今何レハ定免難き中。了。然ハ大和の於
休流。其ハ書紀神武卷ハ層富縣波多。岬有新
戸畔者。見え。此ハ波多ハ添上下郡。乃内。又神
名式ハ高市郡波多神社。波多懸井神社。和名抄同郡ハ
波多郷ハあり。推古紀ハ北年五月五日。藥獵之集。于羽
田。以相連。參赴於朝。ハ。此波多ハ

小治田宮は高市郡なり。書紀履中卷此
鳥羽來羽田之汝妹也。羽田も同くは此
二の内なり。又此人乃子孫河内和泉。此彼也。
依を以見れば。和名抄に河内國茨田郡幡多神名式に
和泉國和泉郡波多神社日根郡波太神社あり。是ら此
地にて水所なり。八代は是れ地名なり。詳あり。
此人名書紀には羽田矢代宿禰等書きしり。應神
年履中紀乃始。○波多臣波多は上の波多あり。此氏書
紀天武卷に十三年十一月波多臣賜姓曰朝臣也。見ゆ。
推古卷に波多臣廣庭持統卷に羽田朝臣齋。續紀一に
牟後南也。廢帝紀に八多朝臣百嶋あり。云人見あり。
依同人なり。

皇別 小八多朝臣石川朝臣同祖武内宿禰命
之後也。○林臣林の地名也。此小國也。多也。何
也。定免也。和名抄に河内國志紀郡拜志
郷此あり。む。彼國に此氏あり。天武紀に十三
年十一月林臣賜姓曰朝臣。姓氏錄 左京 小林朝臣石川
朝臣同祖武内宿禰之後也。皇別 河内國林朝臣道守朝
臣同祖武内宿禰之後也。續紀九に河内國志紀郡人
林臣海主野守等改臣賜朝臣也。河内 姓氏錄に林宿禰
異姓なり。又蘇我入鹿を林臣云。依此皇極。○波美
紀に見る。依何處乃地名に依。名あり。○波美
臣これ地名を聞ゆ。詳あり。神名式に近江國

伊香郡波弥神社同郡八代與志漏神社丹後國丹波郡

波弥神社あり是ら九地此天武紀十三

年十一月波弥臣賜姓曰朝臣本弥字を祢誤

姓氏録は此姓見之續紀其播美朝臣與人也云

人見也○星川臣星字諸本並黑作依誤なり星川

は和名抄大和國山辺郡星川保之郷是武

國久良郡伯耆國會見郡此郷名天武紀小星

川臣麻呂云人見也其子黑麻呂續十三年十一月星

川臣賜姓曰朝臣姓氏録大和國小星川朝臣石川朝臣

同祖武内宿祢之後也敏達天皇御世依居地賜姓星川

臣也河り○淡海臣崇峻紀小近江臣滿云人見也此

姓姓氏録見之淡海真人淡海朝臣○長谷部君

續紀北六小長谷部木麻呂長谷部公真子北九小參河

國碧海郡人長谷部文選云人見也此氏人

小河河り和抄河國碧海郡乃郷名小谷部河

若此假字付よるしは此郷長谷部を長字

人見之二字小書例なり此郷長谷部を長字

河り河り此也出此姓小姓氏録見之次長谷

姓也河り右の氏小外小姓氏録左京道守朝臣

波多朝臣同祖波多矢代宿祢之後也皇河内國道守

朝臣波多朝臣同祖武内宿祢男八多八代宿祢之後也

道守臣、道守朝臣同祖。武内宿禰男波多八代宿禰之後也。和泉國皇別道守朝臣波多朝臣同祖。八多八代宿禰之後也。三代實錄九小右京人園屋公祖代賜姓八多朝臣其先出自八代屋代宿禰也。○許勢小柄宿禰許勢ハ居地名小和名抄。大和國高市郡巨勢郷。これなり。神名帳。同郡巨勢山坐石掠孫神社あり。万葉。巨勢山を賦ふ歌多し。一の北四丁七乃六丁十の六丁十二の十九丁又一乃廿二丁三の北六丁十三乃十一丁廿七丁小巨勢道一乃北四丁許湍乃春野也。小柄は表加良等訓法上。舊印本小柄を朝野作依ハ誤なり諸本小柄也。和名抄。小柄器物蓋柯也。和名抄三代實錄五小男韓也。書名義未思得云賀良。

次此人三代實錄。は第五男也。見えたり。○許勢臣許勢ハ上の如し。此氏ハ下小引ふ續紀文。依小柄宿禰乃男。乎利宿禰の後なり。書紀。繼躰卷。小元年許勢男人臣大臣。依よし見ゆ。廿三年九月薨孝德卷。大化五年巨勢德陀古臣為左大臣。齊明紀四年正月薨此外小此氏人ハ此彼見えたり。天武紀。十三年十一月。巨勢臣賜姓曰朝臣。姓氏錄。右京皇別巨勢朝臣石川朝臣同祖。巨勢雄柄宿禰之後也。巨勢檄田朝臣雄柄宿禰四世孫稻茂臣之後男荒人。天豐財重日足姫天皇謚皇極御世。遣佃葛城長田其地。野上。漑水難至。荒人能解機術。始造長檄川水灌田。

天皇大悅賜楳田臣姓也。巨勢斐太臣巨勢楳田同氏。巨勢雄柄四世孫稻茂男荒人之後也。許勢臣稻持欽巨勢楳田臣武内宿祢之後也。○雀部臣天武紀小十三年十一月雀部臣賜姓曰朝臣。續紀十八小典膳正六位下雀部朝臣真人等言磐余玉穗宮勾金椅宮御宇天皇御世雀部朝臣男人為大臣供奉而誤紀巨勢男人大臣真人等先祖巨勢男柄宿祢之男有三人。星川建日子者雀部朝臣等祖也。伊刀宿祢者輕部朝臣等祖也。牟利宿祢者巨勢朝臣等祖也。淨御原朝庭定八姓之時被賜雀部朝臣姓。然則巨勢雀部雖元同祖而別姓之後被任大臣云。

云望請改巨勢大臣為雀部大臣云々。大納言從二位巨勢朝臣奈奈麻呂亦證明其事。於是下知治部依請改正之。男人大臣の事許姓氏錄左京皇別小雀部朝臣巨勢朝臣同祖。建内宿祢之後也。星河建彥宿祢謚應神御世。代於皇太子大鷦鷯尊繫木綿襪掌監御膳。因賜名曰大雀臣。云々。雀部臣負由緣切也。又根津國皇別雀部朝臣巨勢朝臣同祖。建内宿祢命之後也。文德實錄六小雀部朝臣春枝林朝臣並人等改姓紀朝臣也。阿乃休て神八井耳命の御後也。此同本姓也。乃上小出乃。傳二十の葉佐邪伎辨也。訓法云々。彼處云云。依分如し。○輕部臣輕部也云々。大和國高市郡

の輕^カと依^ヨりて^レく^レや^ル。陰^イ十^シ。如是^カ負^オ由^ヨ縁^レハ。詳^カあり。

次^シ。姓^セ氏^シ録^レ。輕^カ部^ホ倭^{ヤマト}日向^{ミナソノ}建^タ日向^{ミナソノ}網^{アガ}多^タ命^{ミコト}之後^{ノチ}也^{ナリ}。雄^{オス}畧^{リョク}。

由^ヨ縁^レの^ノ例^{レイ}たり。休^ユ々^々此^{コノ}氏^ノハ上^ノに引^ヒふ續^ツ紀^キ十八^{ハチ}。

乃^{シテ}文^{フミ}小^コ依^ヨ。小^コ柄^{カラ}宿^{ヤク}祢^ネの男^ヲ伊^イ刀^ト宿^{ヤク}祢^ネ乃^{シテ}後^{ノチ}に^レり。天^{アメ}武^ム紀^キ。

又^{マタ}十^{ジュウ}三^{サン}年^{ネン}十^{ジュウ}一^{イチ}月^{ゲツ}輕^カ部^ホ臣^ト賜^{タマ}姓^シ曰^ク朝^{アサ}臣^ト也^{ナリ}。見^ミゆ^レ。姓^セ氏^シ録^レ小^コ。

は見^ミえ^レ。輕^カ部^ホ輕^カ部^ホ連^{ツラシ}あり。右^{ミドリ}の氏^ノハ乃^{シテ}外^{ソト}小^コ毛^モ。姓^セ氏^シ。

錄^{ロク}未^ミ定^{テイ}。小^コ鷄^{カキ}甘^{カン}部^ホ道^{ミチ}武^ム内^{ノチ}宿^{ヤク}祢^ネ男^ヲ已^コ西^セ男^ノ柄^{カラ}宿^{ヤク}祢^ネ之^{ノチ}後^{ノチ}也^{ナリ}。

○蘇^ソ賀^カ石^シ河^{カハ}宿^{ヤク}祢^ネ蘇^ソ賀^カハ。居^{スル}地^{トコロ}名^ナ。神^{カミ}名^ナ帳^{チヤウ}大^{ダイ}和^ワ。

國^{クニ}高^{タカ}市^シ郡^{クニ}宗^{ソウ}我^ガ坐^マ宗^{ソウ}我^ガ都^ト比^ヒ古^コ神^{カミ}社^{シャ}あり。此^{コノ}地^ノ也^{ナリ}。万^{マン}葉^{エフ}。

十二^{ジュウニ}七^{シチ}丁^{テイ}。真^マ管^{カン}吉^{キチ}宗^{ソウ}我^ガ乃^{シテ}河^{カハ}原^{ハラ}也^{ナリ}。此^{コノ}處^ノ也^{ナリ}。

後^{ノチ}世^ノ也^{ナリ}。出^デ雲^{クモ}ぞ下^{シタ}野^ノぞ也^{ナリ}。書^{シヤク}紀^キ推^シ古^コ卷^{マキ}。蘇^ソ我^ガ馬^{ウマ}子^コ大^{ダイ}。

臣^{シヤク}令^{ラシ}奏^{ソウ}于^ニ天^{アメ}皇^ノ曰^ク葛^カ城^{シヤウ}縣^{ケン}者^{ナリ}元^{ゲン}臣^{シヤク}之^ノ本^{ホン}居^{スル}也^{ナリ}。故^{ユヘ}因^リ其^ノ縣^{ケン}為^ス。

姓^セ名^ナ云^ク々^々。因^リ其^ノ縣^{ケン}為^ス姓^セ名^ナ也^{ナリ}。云^ク々^々心^{ココロ}得^{トク}以^テ皇^ノ極^{キョク}紀^キ。

蘇^ソ我^ガ蝦^{エマ}喚^{カン}大^{ダイ}臣^{シヤク}祖^ソ廟^{ボウ}を葛^カ城^{シヤウ}高^{タカ}官^{カン}と立^テし事^{コト}也^{ナリ}。

葛^カ城^{シヤウ}郡^{クニ}也^{ナリ}。蘇^ソ賀^カハ葛^カ城^{シヤウ}郡^{クニ}也^{ナリ}。蘇^ソ賀^カハ葛^カ城^{シヤウ}郡^{クニ}也^{ナリ}。

近^{チカイ}き^キ此^{コノ}地^ノ也^{ナリ}。古^コハ此^{コノ}地^ノ也^{ナリ}。葛^カ城^{シヤウ}縣^{ケン}乃^{シテ}内^{ノチ}に^レり。有^{アル}也^{ナリ}。

石^シ河^{カハ}ハ和^ワ名^ナ抄^テ也^{ナリ}。河^{カハ}内^{ノチ}國^{クニ}石^シ川^{カハ}也^{ナリ}。以^テ之^レ郡^{クニ}と也^{ナリ}。三^{サン}代^{ダイ}。

實^{ジツ}録^{ロク}卅^{サウ}二^ニ小^コ石^シ川^{カハ}朝^{アサ}臣^ト木^キ村^{ムラ}昔^{キヨ}始^{ハジメ}祖^ソ大^{ダイ}臣^{シヤク}武^ム内^{ノチ}宿^{ヤク}祢^ネ男^ヲ宗^{ソウ}。

我^ガ石^シ川^{カハ}生^ナ於^ニ河^{カハ}内^{ノチ}國^{クニ}石^シ川^{カハ}別^{ワケ}業^ノ故^{ユヘ}以^テ石^シ川^{カハ}為^ス名^ナ賜^{タマ}宗^{ソウ}我^ガ大^{ダイ}。

家^ケ為^ス居^ス因^リ賜^{タマ}姓^シ宗^{ソウ}我^ガ宿^{ヤク}祢^ネ云^ク々^々賜^{タマ}姓^シ宗^{ソウ}我^ガ宿^{ヤク}祢^ネ云^ク々^々誤^{アタ}。

此^{コノ}時^{トキ}宿^{ヤク}祢^ネハ此^{コノ}名^ナ也^{ナリ}。

世孫稻目宿禰之後也。○高向臣此地體承定翁之
和名抄。越前國坂井郡高向多原無古神名式同郡
高向神社小所。此地ハ、繼躰紀見之、越前國邑
本郷又因幡國八上郡多加牟久神社あり。又河内
國錦部郡。今高向村あり。此地ハ、推古
高向漢人玄理云あり。此高向ハ河内志武内宿禰胤云ハ
高向臣姓也。思ひ混。此氏人舒明紀皇極紀天武紀
見之。夫武紀二十三年十一月高向臣賜姓曰朝臣
姓氏錄右京皇別高向朝臣石川同氏武内宿禰六世孫猪子
臣之後也。見元明紀攝津大夫從三位高向朝臣

麻呂也云人見也。○小治田臣舊印本ニ小字を脱
此ハ推古天皇乃大宮敷坐小治田の地小依也。

此ハ推古天皇乃大宮敷坐小治田の地小依也。欽
御段傳四十四の云云云。

明紀蘇我稻目宿禰の小墾田家乃事見之。此氏
人天武紀小墾田臣麻呂見之。十三年十月小墾田

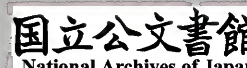
臣賜姓曰朝臣。姓氏錄右京皇別小治田朝臣同。上田中朝

臣此同外きを謂也。此外小治田○櫻井臣和名抄

小河内國河内郡櫻井佐久良郷あり。聖武紀天平十六

年閏正月天皇行幸難波宮安積親王綠脚病從櫻井頓

宮還此ハ河内也。是也。又安閑紀小櫻井屯倉崇峻



紀子櫻井寺推古紀小櫻井見ゆ。之れは右の河内乃
ふや巧む。又神名式に和泉國大鳥郡櫻井神社あり。
又今大和國十市郡に櫻井寺云。應あり。其外國に小
柿て此氏人舒明紀に櫻井臣和慈古見ゆ。天武紀に十
三年十一月櫻井臣賜姓曰朝臣。姓氏錄左京櫻井朝臣
石川朝臣同祖。蘇我石川宿禰四世孫。稻目宿禰大臣之
後あり。○岸田臣此氏人天智紀に岸田臣麻呂見ゆ。天
武紀に十三年十一月岸田臣賜姓曰朝臣。姓氏錄右京
岸田朝臣武内宿禰五世孫。稻目宿禰後也。男小祚臣孫
耳高家居岸田村。因負岸田臣號あり。岸田村國を云

と休た。大和み各あり。今山辺郡に此名乃村あり。其
の文德實録九小攝津國人に此姓見ゆ。○平群都久宿
禰平群外居地乃名あり。和名抄に大和國平群倍久郡
是抄に平群郷亦あり。神名帳に同郡平群石床神社平
群神社。平群坐紀氏神社あり。倭建命乃御歌に多
多美許母幣具理能夜麻能云云。雄略天皇の大万葉十
六丁に八重疊平群乃山云云。柿て此人は書紀仁徳
卷に初天皇生日木菟入于産殿。明且譽田天皇喚大臣
武内宿禰語之曰。是何瑞也。大臣對言。吉祥也。復當昨日
臣妻産時。鷓鴣入于産屋。是亦異焉。爰天皇曰。今朕之子

與大臣之子同日共産並有瑞是天之表焉以為取其鳥
名各相易名子為後葉之契也則取鷓鴣名以名太子曰
大鷓鴣皇子取木菟名号大臣之子曰木菟宿祢是平群
臣之始祖也此所以竟冥集哥子都玖數久祢須女羅加
遠伊婆布奈理氣利三の向ハ名易サ依リ和名抄
小本菟尔雅注云似鷓而小兔頭毛角者也和名都久此
人の第三男也三代實録子見え下履中紀子二
年當是時平群木菟宿祢蘇賀滿智宿祢物部伊苜佛太
連圓大使奉共執國事中紀二年此人應神紀三年より履
三十年の初は長壽くひひ百平群臣上乃平群子依
五十歳みル餘よりけむいひ平群臣上乃平群子依
なり此氏人雄畧紀乃初子以平群臣真鳥為大臣武烈
初子真鳥大臣子鮪此外見ゆ天武紀子十三年十一
臣少共み誅さ依

月平群臣賜姓曰朝臣姓氏錄右京平群朝臣石川朝臣
同氏武内宿祢男平群都久宿祢之後也三代實録五十
乃右京人平群臣春雄平群臣秋雄平群臣秋常春常等
四人賜姓朝臣春雄自言祖出自都久宿祢矣佐和良
臣此何國の地名小詳なり若小和名抄筑前
國早良郡あり早良郷平群郷並びてあり是の祖
郡小郷小共子佐波良波良假字異なり然其郷小本
姓氏録みは此姓を小早良の書に彼郡郷小本ハ
佐和良ありは心後子和を波を唱誤し依り
早字ハ佐字の音なり宇の韻を通音此和子通ハ
取字依なり若小波ありハ入声の布乃韻
乃字を用ふる例なり引ハ凡ての地名乃假字の

例をよく解く知 其外神名帳に美作國大庭郡佐波良
志べきく解く知 神社攝津國嶋下郡佐和良義神社切字
人ハ續紀州六ノ佐波良臣靜女也云見ゆ姓氏録河内
別早良臣平群朝臣同祖武内宿祢男平群都久宿祢之
後也○馬御檄連檄字ハ説文子我也也注一玉篇ハ繫
牛我也注一もぬ久比也訓法一也此ハ地名也
聞之如何切由乃姓も詳切也他書ハ見之
は之也も無小姓氏録大和國馬工連平群朝臣同祖平
群木兔宿祢之後也也此姓乃如くも聞之
御檄を工也一也此由心得也

和名抄

筑前國嘉麻郡馬見年万美神名式子近江國蒲生郡馬
見國神社野洲郡馬路右邊神社齊明紀子能登臣馬見
龍也云人名ル何なりは宇麻美也切也
依言の例をあげはのみなり但馬路はウ下云チウ
ウ下チウ 知らば 是右乃氏々の外ある都久宿祢の子孫ハ
姓氏録子平群文室朝臣都久宿祢之後也都保朝臣平
群朝臣同祖都久足居之後也額田首早良臣同祖平群
木兔宿祢之後也不尋父氏負姓額田首未定雜姓子ル
韓海部首武内宿祢男平群木兔宿祢之後也也見之
三代實録五子味酒首文雄味酒首文生味酒首文宗等
三人並賜巨勢朝臣先是巨勢朝臣河守等奏言文雄欸
備先祖出自武内宿祢大臣也大臣第五男巨勢男韓宿

祢是巨勢朝臣之祖第三男平群木兔宿祢即是文雄之
祖也木兔宿祢之後賜味酒臣姓淪落貫伊勢國至于文
雄祖宗改臣賜首姓云云是以改姓之望朝夕刻思云云
但須順祖胤之流賜平群之姓而平群之字祢謂是凡巨
勢之文義理堪愛云云特賜巨勢朝臣之姓將慰沉淪之
懷從之神名式了伊勢國賀辨郡平群神社巧は此氏
人乃彼國子淪落云々○木角宿祢未は紀伊國子建内大臣乃生坐家國
め由縁ありはあり又和名抄下山城國紀伊岐郡紀
伊郷二の内角ハ和名抄子周防國都
濃郡都濃郷二の内其由は次小云法一國造本紀周

防國造次子都怒國造難波高津朝紀臣同祖都怒足臣
兒田鳥足臣定賜國造河内角宿祢乃事は應神
紀仁德紀小見云々○木臣木ハ上の木あり此氏ハ
は雄畧紀小紀小弓宿祢紀大磐宿祢小鹿次宿祢顯宗
紀
紀生磐宿祢少あり
ハ大磐ヤ同トあり欽朝紀小紀男麻呂宿祢其外ハ小
見ゆ天智紀小紀大人臣為御史大夫御史蓋今之
大納言判天武
紀小十三年十一月紀臣賜姓曰朝臣姓氏錄左京
皇別紀朝
臣石川朝臣同祖建内宿祢男絶角宿祢之後也右京
皇別紀
朝臣石川朝臣同氏屋主忍雄建猪心命之後也建猪心
命は崇
行紀子見えて建
内大臣乃父あり三代實錄九日左京人山村忌寸安野

夏野金子等賜姓紀朝臣紀角宿禰之後也參見由神名
帳の大和國平群郡平群坐紀氏神社名神大明所此
社平群坐を以見此木臣乃み建○都怒
内大臣乃子孫の氏々々此氏神建○都怒
臣雄略紀の九年紀小弓宿禰大將軍也新羅茂
討欠給小弓宿禰新羅不在大病今燒小丸
かば子小鹿火宿禰父乃喪小從乃還不免獨留角
國使倭子連奉八咫鏡於大伴大連而祈請曰僕不堪共
紀卿奉事天朝故請留住角國是以大連為奏於天皇使
留居于角國角臣等初居角國而名角臣自此始也參
見角國は周防國あは都濃郡之れ也小鹿火宿禰

毛小弓宿禰乃子也云々紀文あは疑ハ
みは見え必然な法く聞ゆあり是疑ハ
しきあゆあり其故ハ既必祖乃名茂角宿禰云は
角國又因是あく聞える小鹿火宿禰至く
初角國に留居ふ依て角臣名くはいかた
あはあり故按ず角宿禰ハ仁德紀の四十二年百濟
小遣されし事何れは還来ふ時角國に留居しハ角
宿禰なり上引る國造木紀誤り下小鹿火宿禰乃
事小語傳りあるあは非あ又ハ祖の代より由縁あ
は地あり故又小鹿火宿禰ハ留居しあやありはて
此氏人大武紀ハ都怒臣牛甘見ゆ十三年十一月角臣

賜姓曰朝臣。姓氏錄左京別角朝臣。紀朝臣同祖。紀角宿祢之後也。神名或曰日向國兒湯郡都濃神社あり坂本臣
坂本和名抄子和泉國和泉郡坂本佐加郷之也。
次引子書此氏人根臣抗穗官段亦見。書紀雄略卷八根使主乃日根子指城を造りし事見由泉國乃郡其外心書紀以彼見之。天武卷八十三至十一月坂本臣賜姓曰朝臣。續紀廿六。天應元年和泉國和泉郡人坂本臣系麻呂等六十四人賜姓朝臣。姓氏錄左京別坂本朝臣。紀朝臣同祖。紀角宿祢男白城宿祢後也。又和泉國坂本朝臣紀朝臣同祖。建内宿祢男紀角宿祢之

後也。明白城宿祢三世孫建内臣因居賜姓坂本臣。又津撰國皇別坂本臣紀朝臣同祖。彦太忍信命孫武内宿祢之後也。續後紀亦讚岐國人坂本臣鷹野請除讚岐之籍帳。復和泉舊墟詐之云云坂本臣鷹野等十三人改臣賜朝臣。建内宿祢男紀角宿祢後也。坊て右の氏々乃外角宿祢の子孫ハ姓氏錄掃守田首武内宿祢男紀都奴宿祢之後也。紀祝建内宿祢男紀角宿祢之後也。紀部建内宿祢男都野宿祢命之後也。紀辛梶臣建内宿祢男紀角宿祢之後也。一本ハ大家臣建内宿祢男紀角宿祢之後也。諡天智庚午年依居大家負大宅臣姓掃守田首

武内宿祢男紀角宿祢之後也。支那首同止。武内宿祢男紀角宿祢之後也。支那首同止。武内宿祢男紀角宿祢之後也。支那首同止。

各米能摩伊乃比賣久米の地名大和國高市郡乃久米

切摩伊乃比賣久米の地名大和國高市郡乃久米

意乃名抄り上卷八千矛神の御歌云伊乃古夜能伊乃

依處。傳十九の考合は。○怒能伊乃比賣怒の意は

朱思得蔭。又怒能云言人名多くあはば若くは沿矛

王依比賣あや乃如し沿て名名の例は水垣宮久米の

段沿名村之入日賣命乃下ぬ云は。傳二十三久米の

例に依りは此地名亦河乃伊乃浮穴宮段

常根津日子伊乃比賣命乃下ぬ云は。傳二十三久米の

又。蠶伊乃比賣伊乃比賣云名云あり同意なり。○葛城

長江曾都毘古葛城乃事は上又出たり。傳廿一此人の

葛城小居をむと云ふ御女石之比賣命乃御歌云迦

豆良紀多迦美夜和藝幣能阿多理也よみ賜ひ又書紀

允恭卷ふ此人の孫玉田宿祢乃家葛城ありし趣見え

あまのひめは。以乃知。長江の地名は聞ゆは。何

處やむ。詳あ。天武紀は九年幸于朝妻因以着大

神名式は。大和國葛上郡長柄神社也。是也。此長柄

を紀ふ。十が。伊乃比賣。十が。伊乃比賣。十が。伊乃比賣。

書。伊乃比賣。借字ふ。柄書。例。伊乃比賣。伊乃比賣。

且葛上郡。今小名柄村ありて。十が。伊乃比賣。伊乃比賣。

か。伊乃比賣。輕嶋宮段。遠飛鳥宮段。河内惠賀之長江

云地見え。伊乃比賣。神名式。志紀。郡志紀。長吉神社。伊乃比賣。

此あり、そのれ、其處、必定免難、但、子孫、姓氏、録、小

河内、國、多、く、見、ゆ、

下、小、引、ふ、曾、ハ、熊、曾、乃、曾、小、同、ト、其、意、ハ、傳、五、十六、小、云、

如、小、引、ふ、曾、ハ、熊、曾、乃、曾、小、同、ト、其、意、ハ、傳、五、十六、小、云、

此、人、甚、勇、健、ハ、リ、故、ニ、此、名、を、負、ふ、ハ、都、ハ、

の、小、通、ふ、辞、あり、書、紀、景、行、卷、小、田、向、襲、津、彦、皇、子、也、申、

次、ハ、何、カ、法、テ、此、人、乃、事、書、紀、神、功、應、神、仁、德、の、卷、々、小、

見、ゆ、神、功、卷、五、年、小、初、テ、見、え、凡、仁、德、乃、四、十、一、年、ま、で、

見、ゆ、其、向、凡、百、五、十、年、な、り、壽、長、き、人、あ、り、ま、じ、

万、葉、十、一、六、丁、小、葛、木、之、其、津、彦、真、弓、荒、木、尔、毛、云、云、

よ、え、り、駿、河、風、土、記、ニ、荒、木、用、襲、津、彦、也、何、カ、伊、賀、風、土、

彦、武、内、宿、禰、葛、城、襲、津、彦、也、神、名、式、小、須、智、荒、木、

神、社、古、令、著、聞、集、ニ、伊、賀、荒、木、白、髮、明、神、乃、相、殿、小、坐、葛、

城、襲、津、彦、ハ、武、内、の、御、子、あ、り、

○玉、手、臣、玉、手、也、云、地、大、和、小、河、内、小、

此、有、之、其、事、傳、北、一、叶、七、

小、云、里、此、姓、何、カ、依、る、

あ、定、終、分、あ、し、天、武、紀、小、十、三、年、十、一、月、玉、手、臣、賜、姓、曰、

朝、臣、姓、氏、録、右、京、別、玉、手、朝、臣、武、内、宿、禰、男、葛、木、曾、頭、曰、古、

命、之、後、也、○的、臣、的、ハ、伊、久、波、也、書、紀、景、行、卷、小、到、

膳、夫、等、遺、蓋、故、時、人、号、其、忘、蓋、處、曰、浮、羽、今、謂、的、者、誰、也、

昔、筑、紫、俗、号、蓋、曰、浮、羽、皇、勅、曰、惜、乎、朕、之、酒、蓋、因、曰、宇、

的、字を、書、之、書紀、令、射、卷、仁、德、射、於、朝、庭、卷、孝、德、射、于、
西、門、庭、卷、天、武、射、也、伊、久、比、須、也、
訓、家、射、的、射、也、云、也、被、射、乃、意、也、
的、也、伊、久、波、也、云、也、又、夫、武、紀、也、射、也、伊、久、
波、本、よ、り、的、乃、古、名、也、射、の、射、云、言、也、
波、し、和、名、抄、也、但、射、藝、具、漢、語、抄、云、射、塚、以、久、波、止、
古、路、世、間、云、阿、字、鏡、の、人、姓、由、久、波、也、
無、豆、知、也、伊、由、由、云、ハ、國、名、乃、壹、伎、
云、由、縁、ハ、書、紀、仁、德、卷、十、二、年、秋、八、月、庚、子、朔、己、酉、饗、
高、麗、客、於、朝、是、日、集、群、臣、及、百、寮、令、射、高、麗、所、獻、之、鐵、盾、

的、諸、人、不、得、通、的、唯、的、臣、祖、盾、人、宿、祢、射、鐵、的、通、焉、時、高、
麗、客、得、見、之、畏、其、射、之、勝、巧、共、起、以、拜、朝、明、日、美、盾、火、宿、
祢、而、賜、名、曰、的、戶、田、宿、祢、費、兩、是、也、
名、戶、田、也、時、以、此、時、也、
少、の、也、
て、賜、也、
又、既、也、
七、及、也、
美、集、也、
後、也、
無、也、
氏、の、中、也、
○古事記傳二十一
○三十七

石川朝臣同祖彦太忍信命三世孫葛城襲津彥命之後也。又河內國的臣道守朝臣同祖武內宿祢男葛城曾都比古命之後也。又和泉國的臣坂本朝臣同祖建內宿祢男葛城襲津彥命之後也。○生江臣生江地名也。尾張國山田郡人生江臣安久多比小生江臣智麻呂比九子生江臣東人切也。云見之。國造本紀云。德國造泊瀬朝倉朝以生江臣祖葛城襲津彥命四世孫菟上足臣定賜國造。總國造三河國姓氏錄。左京生江臣石川朝臣同祖武內宿祢之後也。○阿藝那臣是此地名。未考。

得次方葉十四相模國哥小阿之我里乃安伎奈乃夜麻賀郡松本上真上阿祇奈君云人あり云云姓氏錄撰津國阿伎奈臣玉手朝臣同祖武內宿祢男葛城曾臣比古命之後也。大和國阿祇奈君玉手朝臣同祖彦太忍信命孫武內宿祢之後也。武內宿祢男葛城襲津彥命之後也。塩屋連道守連同祖云云。原井連同上。與等連塩屋連同祖云云。布忍首的臣同祖布師臣同上。又未定雜姓下神葛木襲津彥命男腰裙宿祢之後也。續紀四十比忍海原連魚養等言謹檢。

古牒云葛木襲津彦之第六子曰熊道足祢是魚養等之
祖也熊道足祢六世孫首麻呂飛鳥淨御原朝廷辛巳年
貶賜連姓尔来云云望請除彼舊号賜朝野宿祢云云朝
野者所處之本名也依請賜之續後紀四小大和國大忍
海原連嶋依同姓百舌茅賜姓朝野宿祢葛城襲津彦之
後也十二又右京人參議從三位朝野宿祢鹿取男女總
十九人改宿祢賜朝臣國牽天皇三世孫武内宿祢第六
男葛木襲津彦之後也見切○又若子宿祢又字上乃
例也此小依らば次也何る法也云々然ふを此の
は故あはれ又宿祢乃下小者字の無き上乃例也此
中知らば

小異あり若子ハ和久碁曾訓彦書紀武烈卷歌小思
寐能和俱吾鮪若子繼躰卷哥小體那能倭俱吾毛野若子
舒明卷哥小氣菟能和區吳毛津若子万葉十四上等能乃
和久胡殿の若子あやめり苦小少壯き人を美云依祢
あやめりかくて此宿祢ハ其をやくて名置置依あやめり○江
沼財臣財字ハ間あやめり法非等延佳云ふ信然依法
七江沼間ハ地名小和名抄又加賀國江沼郡云々
子國造本紀能登國小江沼國造柴垣朝御世蘇我臣同
祖武内宿祢四世孫志波勝足居定賜國造等何少書紀
欽明卷二越人江渟臣裙代等云見え續紀卅五小女孺

江沼臣麻蘇比後紀小江沼臣小並也云人見之
姓氏錄大和國皇別江沼臣石川同氏建内宿祢男若子宿祢
之後也了て此也上あ坂本臣乃下也祖字の○上件
九人並建内宿祢大臣乃子也あを此大臣の子孫ハ
右乃氏外ハ姓氏錄云田口朝臣石川朝臣同祖
武内宿祢大臣之後也云云曰佐紀朝臣同祖武内宿祢
之後也欽明天皇御世率同族四人國民三十五人歸化
云云此ハ此大臣乃男侍の韓國小罷行事書紀
子乃未多ク見え曰佐紀朝臣同祖武内宿祢之後也池後臣建
内宿祢之後也山口朝臣道守朝臣同祖武内宿祢之後

也切也見え三代實錄十四小蒔田首安雄賜姓紀朝臣
安雄自言武内宿祢之裔也續後紀四小丹波國人夫村
直福吉及其同族并五人賜姓紀宿祢焉武内宿祢之枝
別也又姓氏錄小出庭臣孝元天皇皇子
臣乃子孫あはれ曰佐紀朝臣同祖武内宿祢之後也池後臣建
内宿祢之後也山口朝臣道守朝臣同祖武内宿祢之後
也切也見え三代實錄十四小蒔田首安雄賜姓紀朝臣
安雄自言武内宿祢之裔也續後紀四小丹波國人夫村
直福吉及其同族并五人賜姓紀宿祢焉武内宿祢之枝
別也又姓氏錄小出庭臣孝元天皇皇子
臣乃子孫あはれ曰佐紀朝臣同祖武内宿祢之後也池後臣建
内宿祢之後也山口朝臣道守朝臣同祖武内宿祢之後

此天皇御年伍拾漆歲御陵在
劔池之中岡上也

御年伍拾漆歲書紀ふハ五十七年秋九月壬申朔癸酉
 大日本根子彦國牽天皇崩於河内云々此ハ多ク天皇
 御名を記さず御年は記さる但大御父天皇の三
 太子年十九を河内依らは百十或書ハ百十七
 六歳なるに依り此記ハ甚ク異あり
 七百二十六也云云○劔池書紀應神卷ハ十一年冬
 十月作劔池也河内云々此記ハ同御世ハ此
 七年秋七月瑞蓮生於劔池一莖二花皇極卷三年ハ
 於劔池蓮中有一莖二萼者云云万葉十三卷ハ御佩
 乎劔池之蓮葉尔杯少見也御陵ハ書紀開化卷ハ五年
 春二月丁未朔壬子葬大日本根子彦國牽天皇于劔池

嶋上陵今思多小此池ハ應神御世ハ出来諸陵式ハ劔

池嶋上陵輕境原宮御宇孝元天皇在大和國高市郡兆

域東西二町南北一町守戸五烟也あり大和志ハ在石

河村劔池南俗呼中山象陵畔圓丘六也云云前皇廟陵

劔池在高市郡難波池中有靈劔也云云此池石川村乃東

里難波池有靈劔也云云此池心得此池石川村乃東

小有今ハ大也池あり東西乃徑四町あり也池

村ハ御陵乃山ハ南方より池中ツキイテ衝出ます嶋

也云也此山の總て乃周迴池ハ其東北

乃有あり西南の方ま廣く周應神天皇の御代

ハ御陵を殘其處掘られ其處

イザノミヤノミヤキ
伊邪河宮卷

若倭根子日子大毘毘命坐春

日之伊邪河宮治天下也此天

皇娶旦波之大縣主名由基理

之女竹野比賣生御子比古由

牟須美命一柱。此王。又娶庶母

伊賀迦色許賣命生御子御真

木入日子印惠命印惠二次御

真津比賣命柱。又娶丸邇臣之

祖日子國意祁都命之妹意祁

都比賣命 ツヒメノミコトヲメシテ。意祁都命 ウミセル 生御子 ミコ 日 ヒ

子坐王 コイマスノミコ。一柱 一タカヅラ 又娶葛城之垂見宿 キノタルミノスク

禰之 ネノ 女 メ 鸕比賣 ウヒメ 生御子 ウミセル 建豐波 タケトヨハ

豆羅和氣王 マメラワケノミコ。一柱 一タカヅラ 自波下 ヨハシラ 此天 コノスメラ

皇之御子等 ミコトノミ 并五柱 タチアハセテイツハレラ 男王 ヒコミコ 四 ヨハシラ

此天皇后の漢操乃御謚。開化天皇御申次。○カスガ 春日の上

黒田宮段出 傳北一ノ 伊邪河神名帳 伊邪ガハカハ 大和國漆

上郡率川坐大神御子神社 イザカハ 率川阿波神社 イザカハ あり。四時祭

川社 イザカハ 阿波の大神御子神社 イザカハ の三座あり。此社ハ此

天皇を祭ふ也云云。説あり。いかに。但三座あり。内一座

は然ぬ心やあり。心志。此社ハ今奈良乃子守

町也云云。阿波神社は西新屋町也云云。あり。伊邪

河乃御陵ハ林小路町也云云。在。春日祭良の町乃

内西方なり。上代ハ此あり。春日地小を所り

け馬寮式ハ大和國京南莊并率川莊壑田二十四町一

段一百三十五步云云。万葉七ハ波祢護今為妹乎。浦若

三去來率去河之音之清左 去來まてハ序なり。此川ハ

ら書紀云元年冬十月丙申朔戊申遷都于春日之地
此云簡是謂率川官率川此云酒鵜伊社簡波○且波和名抄
丹波太迹波丹後太迹波乃美知乃志利又丹後國亦丹
波郡丹波郷あり續紀云和銅六年四月割丹波國五
郡始置丹後國也此名多迹波有後世
乃訛也乃あり迹を乃撥名義未思得此
はわろ音便波を乃濁るなり
は縣主なり河内一國乃大名なり冰波一縣の名あり
彼丹波郡丹波郷の河内地也云なり國乃夫
此縣名よ○大縣主縣主の事ハ傳七乃ハ
其乃大縣云ハ臣ハ大臣連ハ大連云類の例ハ下加

不稱子多號あり朝倉宮殿志幾之太縣主云云
見え續紀ハ坂上大忌守縣太養大宿祢陸奥大國造
切也ハ見えめり是ら皆同例ハ大ハ殊ハ稱子ハ係
もれぞ又一乃考河内其ハ志賀宮殿云云傳九乃六十
葉姓氏錄河内國神別ハ大縣主ハ云姓あり其ハ別ハ
法法ハ○由基理名意未思得次許理ハ云例ハ書紀景
行卷ハ武國凝別皇子神功卷ハ熊之凝應神卷ハ浦凝
別ハ乃河内又上卷隱伎嶋乃亦名忍許呂別ハ乃許
呂ハ同トきり○竹野比賣和名抄ハ丹後國竹野多加
郡竹野郷あり此地名ハ因也名ハ神名式ハ同郡

竹野神社あり。書紀無仁卷丹波五女乃中み。竹野
 媛云同名あり。○比古由牟須美命。命を。下は。由牟
 乃意未思得。由。外祖父乃名。由。一。小。若。然。乃
 須美乃事。上卷熊野久須毘命。下。傳七の五。小云
 成。列。如。一。姓氏録。忍海部。天。皇。皇子比古由牟須
 美命。之後也。下。考。合。乃。書紀。納丹波竹
 野媛為妃。生彦湯產隅命。亦名彦蔭簀命。舊事紀。小。彦蔭
 等。祖。彦湯產隅命。記。乃。伊勢。品。○庶母ハ美麻
 遲部。君。去。備。品。遲。君。乃。下。考。合。乃。書紀。納丹波竹
 々波々々。訓。美。御。和名。抜。美。繼。父。和名。万々。知々。
 繼母。万々。波々。今。本。小。ハ。万々。波々。云。字。鏡。又。嫡。母。万

波々々。庶兄。万々。兄。相。照。川。心。得。法。庶母
 母。嫡。母。ハ。異。あ。此。嫡。母。云。庶。母。云。繼。母。云。ハ
 漢國。ハ。乃。差。別。了。皇。國。ハ。其。差。別。ハ。ハ
 麻々子。云。乃。非。所。生。母。也。麻々母。云。非。所。生。子。を
 庶兄。を。乃。兄。也。乃。嫡。母。庶母。繼母。ハ。麻々母。ハ
 小。委。云。乃。考。合。乃。書紀。傳。北。の。三。十。九。葉。乃。延。佳
 本。小。伊。乃。ハ。イ。口。ハ。乃。御。庶。母。ハ。御。合。坐。乃。乃。草
 不。合。命。乃。御。姨。小。御。合。坐。一。類。あり。是。ハ。上。代。小。ハ。嫌。ハ
 今。漢。國。の。乃。乃。を。以。上。代。乃。事。○伊賀迦色許賣命
 上。小。出。○御。真。木。入。日。子。印。惠。命。此。命。乃。御。段。の。歌。子。美
 麻。紀。伊。理。毘。古。也。あり。御。名。義。御。真。詳。乃。乃。木。ハ。城。ウ。
 入。ハ。伊。呂。兄。伊。呂。妹。乃。乃。伊。呂。乃。乃。親。子。愛。一。乃

國意^{クニイ}祁都^{ケツ}命名^ナの事ハ次云^ツ法^ハ依^レて此^レ命^{ミコト}姓氏^シ録^キ文^ヲ
部^ベの下^ノめハ天足彦國押人^{アメタリヒコクニシ}命^{ミコト}孫^ニ地古^{チコ}意^イ祁^{ケツ}豆^{マツ}命^{ミコト}見^ミえ
羽東首^{ハネヒト}の下^ノめハ天足彦國押人^{アメタリヒコクニシ}命^{ミコト}男^ヲ彦^{ヒコ}媯^{オケツ}津^ツ命^{ミコト}見^ミえ
^安何^{ナニ}の正^{マサ}しめ^タる^カ
皇^{スメ}ハ同^ナ天皇^{アメノミコ}乃^ニ御曾孫^{ミミマシラノ}坐^カせ^タば
孫^{ミマシラノ}を^シ方^{カタ}を^シ正^{マサ}しめ^タる^カは^シて^タ此^レ命^{ミコト}乃^ニ子孫^{ミマシラノ}を^シ丸^マ
迹^ヰ臣^{ミコト}の^ノみ^ミや^シは^シ甚^シ多^ク有^リ下^ノ掖^ヲ上^ノ宮^ノ段^ノ見^ミえ^タる^カ
一^ニ考^カ多^ク法^ハし^テ意^イ祁^{ケツ}都^ツ比^ヒ賣^メ命^{ミコト}同^ナ母^{ハハ}兄^ケ妹^{イモ}同^ナ名^ナあり^テ比^ヒ吉^キ
比^ヒ賣^メを^シ以^テ分^ケつ^テ例^リ沙^ハ本^ホ毘^ヒ古^コ沙^ハ本^ホ毘^ヒ賣^メあり^テ多^ク下^ノ
依^レて^テ名^ナ義^{ナリ}ハ未^タ思^ハ得^ズ依^テ此^レ次^ニ比^ヒ賣^メ乃^ニ弟^ニ衰^ハ祁^{ケツ}都^ツ比^ヒ賣^メ
云^フ何^{ナニ}の^ノ是^レ意^イ祁^{ケツ}衰^ハを^シ以^テ姉^ニ妹^ノ名^ナを^シ分^ケて^タは^シる^カ

億^イ計^ケ王^ノ弘^フ計^ケ王^ノ乃^ニ例^リの^ノ如^シ大小^{オホコホ}の^ノ意^イあり^テ法^ハし^テ人^ヲ都^ツ
は若^ニハ地名^ナの^ノ考^カ多^ク法^ハし^テ書^キ紀^キハ此^レ意^イ祁^{ケツ}都^ツ比^ヒ賣^メ命^{ミコト}
媯^{オケツ}字^ジを^シ書^キれ^バい^ハう^ノ故^コあり^テ詳^カき^テ上^ノ卷^ノあり^テ此^レ
伊^イ斯^シ許^コ理^リ度^ド賣^メの^ノ度^ド賣^メあり^テ此^レ字^ジを^シ用^ヒひ^テ此^レの^ノ意^イ
ハ姆^ム也^{ナリ}同^ナト^シて老^ヲ女^メの^ノ稱^ナあり^テ若^クハ老^シ女^メを^シ意^イ
祁^{ケツ}少女^{コメ}を^シ表^ス祁^{ケツ}云^フあり^テ此^レの^ノ意^イ祁^{ケツ}都^ツ比^ヒ賣^メ命^{ミコト}兄^ケ妹^{イモ}
命^{ミコト}の^ノ名^ナも^シ意^イ祁^{ケツ}都^ツ比^ヒ賣^メ命^{ミコト}ハ此^レの^ノ名^ナあり^テ媯^{オケツ}ハ亦^モ不^レ借^ズ字^ジナ
あり^テ舒^{シュ}明^{メイ}紀^キハ毛^{モウ}津^ツ云^フ名^ナ見^ミえ^タる^カ○日^ヒ子^コ坐^カ王^ノ諸^{シヨ}本^ホ
子^コ字^ジを^シ脱^スし^テ依^テ延^ニ佳^キ坐^カハ伊^イ麻^マ須^ス訓^{クニ}法^ハし^テ姓氏^シ録^キ
か^カ補^ホす^ルは^シ正^{マサ}しめ^タる^カ坐^カハ伊^イ麻^マ須^ス訓^{クニ}法^ハし^テ姓氏^シ録^キ
小^コ彦^{ヒコ}今^{イマ}簀^ス命^{ミコト}作^カる^カ坐^カハ雄^ヲ累^{レイ}紀^キの^ノ大^{オホ}御^ミ哥^カ居^キ
の^ノ意^イを^シ思^ハひ^テあ^リま^リて^タ御^ミ名^ナ義^{ナリ}ハ未^タ思^ハ得^ズ依^テ書^キ紀^キハ次^ニ
韋^ヱ麻^マ須^ス書^キハ非^レあり^テ御^ミ名^ナ義^{ナリ}ハ未^タ思^ハ得^ズ依^テ書^キ紀^キハ次^ニ
妃^{ヒメ}和^ワ珥^エ臣^シ遠^{エン}祖^ソ媯^{オケツ}津^ツ命^{ミコト}之^ノ妹^{イモ}媯^{オケツ}津^ツ媛^{ヒメ}生^ナ彦^{ヒコ}坐^カ王^ノ何^{ナニ}の^ノ此^レ
王^ノの^ノ事^{コト}水^{ミヅ}垣^{ケン}宮^ノ段^ノ見^ミえ^タる^カ依^レて^テ御^ミ代^{ダイ}々々^ニ乃^ニ皇^{スメ}子^ノ也

ち乃御名此より前ハ此記の書紀あり。子亦某命の
のみあはれを此の始て二記共ニ王字何はハ某王申
次ハ實ニ此王より始まれり。ハ某命申上某王
申次ハ後乃傳説の對子以撰の事あり。此異
あはれは非不。惜ハ定之。但此後此記
書紀の御子ハ彼紀あり。王字何ハ命
上代より乃傳説此ハ見也。彼紀一本ハ命
此ハ正山ハ卷ニ出ル。姓氏録あり。命ハ相
美評登聖美貴ハ相混云。御子の意
御子の意は御子ハ王字を用ふハ上代よ

王乃事見見え。此記ハ書紀あり。雄略卷ハ星川王齊明卷ハ建王天智卷
ハ皇太子書。雄略卷ハ星川王齊明卷ハ建王天智卷
ハ大友王。見見え。倭建命の御事を言せあり。み
ハ王見見え履中卷ハ太子王字書也。又應神卷ハ男女
井二十王也。天武卷ハ長幼并十餘王也。何ハ是古
き書ハまじり。如此天皇の御子ハ王字を用ひ。ハ
ハ總王乃ハ名告け不あり。漢代ハ方より。諸侯ハ云
者ハ子亦王名告け不あり。漢代ハ方より。諸侯ハ云
子等ハ諸侯ハ皇朝ハ御子ハ王字を用ひ。ハ
故ハ此を取。皇朝ハ御子ハ王字を用ひ。ハ
ハ天皇帝乃直御子のみあり。其御子孫ハ姓を
賜けぬ限ハ。子亦御子申せ故ハ。凡て子孫ハ子
乃子云ハ古乃

書紀神功卷小依網吾彦男垂見云名見云云

比賣鷓鴣の和志訓法朝倉宮御宇天皇の御陵乃地

名の高鷓鴣を書紀小の高鷓鴣作是は形なり

見之和名抄小の鷓鴣兼名花云鷓鴣名鷓鴣也野王按鷓鴣

似鷹而小者也漢語抄因波之太賀也有りて鷓鴣別

多加此訓ふりて此鳥を以て名

豆羅和氣王諸本共小王字脱ふを波豆羅の義未思

得次和氣の事八日代宮段よ云法作て書紀小は此

御子魚舊事紀云は武吉中川流るる所也

御子魚齒頰命也

故御真木入日子印惠命者治

天下也其兄比古由牟須美王

之子大筒木垂根王次讚岐垂

根王二王讚岐此二王之女五

柱坐也

林

其兄此兄ハ美古能加美ヲ訓法シ此ハ五柱皇子ト云

乃中の第一ヲ云意アリ云意アリ云意アリ云意アリ云

は子上云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

稱あり又其訓法ハ阿速命ヲ指テ申サリ云云云云云

○大筒木垂根王筒木ハ地名ナリ和名抄ハ山城國

綴喜郡綴喜木郷あり是あり此地名を或ハ下

紀を濁スルハみふろろ三音共ハ清音あり綴字を用

ハ委云云云云云云云云云云云云云云云云云云云云

姑

足ふく多羅志ヲ同意 垂を即多羅志ハ訓法ナリ

例ハ然ハ訓法ナリ垂字ハ一ル書ハ根ハ例乃尊稱ナリ

云云名乃例何也ル上ハ之ハ大倭帶日子息長

故此名好也ル筒木ノ下ハ之ハ讚漆ナリ

垂根云云名ノ例ハ志賀宮段ハ建忍山垂根明宮段

小櫻井田部連之祖嶋垂根あり古書ハ宿禰を足

多ハ此足居云垂根云云云云云云云云云云云云云云

字共ハ音を取ルハ假字ナリ宿禰云云云云云云云云

此ニハ見エ云云然ハ宿禰事紀ハ宿禰云云云云云

居云を別稱ノ如ク云ハハみふろろ云云云云云云云

垂根王讚岐ハ讚岐國小依也云云又神名帳ハ大和

國廣瀨郡讚岐神社和名抄ハ同郡散吉郷ハ郷名佐奴

本の本のサキサキツ訓ふツのゆゆ。三代實録三代實録四十四十。太太和和國國散散吉吉大大建建命命神神散散吉吉伊伊能能城城神神事事所所在在のの式式のの讀讀岐岐神神社社ありあり。此此地地のの依依地地ありあり。○二二玉玉のの三三柱柱之之御御子子也也。訓訓曰曰。上上のの註註乃乃二二玉玉のの布布多多婆婆志志良良也也。訓訓曰曰。前前後後一一柱柱三三柱柱也也。註註曰曰。同同字字也也。訓訓曰曰。其其處處のの所所在在隨隨てて同同字字也也。訓訓曰曰。大大筒筒木木垂垂根根王王也也。讀讀岐岐也也。此此變變易易也也。註註曰曰。類類多多也也。○女女五五柱柱此此のの二二玉玉のの御御女女とと合合せせてて五五人人ありあり。其其中中幾幾柱柱大大筒筒木木垂垂根根王王のの御御女女幾幾柱柱讀讀岐岐垂垂根根王王のの御御女女とと云云。之之をを知知ららぬぬ。又又其其御御名名のの傳傳ははららぬぬ。ししのの所所在在玉玉垣垣宮宮御御段段にに娶娶大大筒筒木木垂垂根根王王之之女女迦迦具具夜夜比比賣賣命命也也。此此五五柱柱のの内内にに在在るる。○坐坐也也。此此のの有有きき云云。之之をを崇崇めめてて坐坐すす。云云ふふ。坐坐すす。

音云例
 次日子坐王娶山代之荏名津

次ツギニ日上子皇坐イマ王スノ娶ミコ山ヤ代マ之ヒ荏ヒ名メ津マ

比ヒ賣メ亦マ名タ苺ノ幡ナ戸ハ辨カリ。此バ一タ字ト生ベ。
 以ニ音ミ。

子ミ大オ侯ホ王マ次タ小ノ侯ナ王ハ次カ志ス夫ガ美ノ

宿ス禰ク王ネ。三ノ又ミ娶コ春ツ日ギ建ニ國マ勝タ戸ノ

賣之メガムスメナハサ女名沙本ホ之大閻見戶賣オホクラミトメニミアヒテ

生子ウミセルミコ沙本サホ毘古王ビコノミコ次袁邪本ツギニラザホノミコ王

次沙本ツギニサホ毘賣命ビメノミコト亦名佐波遲比サハヂヒ

賣メ此沙本コノサホ毘賣命ビメノミコト者為伊ハハイ以米メ

皆以音ツギニムロビコノミコ三王名次室毘古王ツギニムロビコノミコ又娶近マタチカツ

淡海之御上祝以伊都玖アフミノミカミノハフリガモチ此三ツ

音天之御影神之女息長水依アメノミカゲノカミノミムスメオキナガノミツヨリヒメニ

比賣生子丹波比古多多須美ミアヒテウミセルミコタニハノヒコタタススミ

知能宇斯王チノウウシノミコ此王名次水之穗ツギニミヅホ

真若王次神大根王亦名八瓜マワカノミコツギニカムオホネノミコマタノナハヤツリ

入日子王次水穗五百依比賣。

次御井津比賣。又娶其母弟。

袁祁都比賣命生子山代之大。

筒木真若王次比古意須王次。

伊理泥王。三柱此二凡日子坐。

王之并十一王。

次日子坐王。其兄也。其次也。讚岐

謂よ非以。○山代ハ山城國なり。此國の事ハ止傳み出

名、字一、行なはれ。今ハ真福寺本ハ無き。み從ひ初と

地名めり。あゝむ。万葉三ノ墨吉乃得名津尔立而云

○和名抄子荏和名衣。今山城國綴喜郡小江津村あ

戸賣^メ云^ハハ女^ヲの名^ヲも^テ母^乃如^ク南^ノ地^ノ如何^カ水
垣^ノ宮^ノ段^ノ荒^ノ河^ノ乃^ハ辨^ガ之^レ女^云云^ハ此^ノ同^ノ例^{ナリ}
之^レ殊^ニ由^リ何^レ父^をお^キ母^ヲ奉^ル也^{ナリ}
鏡^作連^ノ祖^伊斯^許理^度壇^命猿^女君^女各^ヲ建^テ云^ハ
の^祖天^宇受^賣命^命如^キ例^{ナリ}
例^ハ倭^建命^段大^吉備^建比^賣書^紀景^行卷^四襲^武媛^媛
正^鹿山^津見^花書^紀正^勝山^但姓^氏録^ノ火^明命^五
世^孫建^刀米^命之^後也^云姓^之何^レ見^エ又^同神^三
世^孫天^礪目^命之^後也^云何^レ男^名何^レ戸^賣云^ハ
云^ハあり^ハ若^シ然^ラば^ハ彼^ノ神^武紀^ノ草^戸畔^ノ也^{ナリ}

此^皆男^ノ也^何レ^也國^勝云^ハ例^書紀^神代^卷小^事勝^國
勝^長狹^也云^ハあり[○]沙^本之^大園^見戸^賣諸^本之^字無^ク
今^ハ真^福寺^本及^一本^ノ何^レ依^テ王^沙本^ハ大^和
國^添上^郡之^地名^{あり}此^地之^事玉^垣宮^段傳^九四^ノ
云^ハ園^見心^地名^子何^レ也^神名^帳若^狹國^三
方^郡園^見神^社あり^此地^名あり^此生^子御^子室^毘古^王
乃^若狹^耳別^ノ祖^亦子^由縁^{あり}何^レ神^功紀^ノ倉^見
別^也云^ハ人^ノ見^エあり[○]沙^本毘^古王^此王^ノ御^母之^居
地^沙本^子住^ミ玉^垣宮^段見^ゆ何^レ此^王乃^事
事^彼段^ノ出^{あり}傳^九四^ノ何^レ同^母妹^沙本^毘賣^命之^事

亦御名佐波遲比賣也申次子准了見也。姓氏録豊
 公、小彦坐命男澤道彦命也。所依也。此王あふ佐波。○表
 邪本玉小沙本あて上。又同下地名あり。沙を濁ふり。小
 事乃あふ。故あ
 云後世の哥ふは
 佐保姫也。云々。所依。春考哥ふは佐保姫秋の哥ふは
 立田姫也。よる。奈良京のあふ。云出。よる。佐保
 依。立田は奈良あり。西にあり。立田姫也。申次神
 坐。小對了。佐保の東にあり。以て。春に。佐保
 姫也。云名を設き。所依。西三條。公孫公の高野
 山。參詣記。小奈良の所。佐保姫社にあり。あり
 所。佐波遲比賣御名。義未思得。次是也。
 地名あり。澤道小野。支也。云。此。伊勢國度會郡。あり。
 今佐八。書。地。あり。○註。伊久米。天皇。六王垣宮御宇
 和。唱。ふ。地。あり。

天皇の坐次書紀。繼躰卷。小活目天皇也。○室毘
 古王。和名抄。又。大和國葛上郡牟婁郷あり。此地は依也。
 依名。○近淡海の上卷。見也。○御上祝御生也。
 和名抄。又。近江國野洲郡三上。美加郷是あり。美加無也。
 や。後乃音便の唱也。拾遺集。安和元年。大嘗會。
 古。美加美也。いひ。也。拾遺集。安和元年。大嘗會。
 風俗。み。の。山。大中臣。あは。や。三上。乃。山の。神。葉。
 は。榮。え。そ。益。依。末。乃。世。あ。で。み。清原。萬。代。也。三。上。の。山。乃。
 響。く。み。は。野。洲。の。川。水。清。ぞ。合。も。也。千。載。集。元。曆。元。年。
 大嘗會。悠紀方。風俗。哥。藤原。季。常磐。あ。依。三。神。乃。山。の。杉。
 村。や。八。百。万。世。乃。表。好。も。也。此。餘。も。歌。多。く。祝。ハ。波。布。

理之訓山城國相樂郡の郷名祝園此記小波布理曾能
也書里又和名抄上野國新田郡の郷名小祝人波布利也
布理て多しの正神功紀小竹祝天野祝あ見ゆ
神武紀小居勢祝河依神社の祝部の非ト景欽
行紀依蝦夷名大羽振辺あ名類の名は景欽
明紀又天皇命神祇伯敬受策於神祇祝者迺託神語報
曰云云持統紀又八年三月乙巳奉幣於諸社丙午賜神
祇官頭至祝部等二百六十四人純布各有差也見ゆ職
員令神祇官伯一人掌神祇祭祀祝部の義解又謂為祭
主贊辭者也其祝者國司於神戶中簡定即申太政官若
无戶人者通取庶人也祭主此官職り祭主より非
次祭をば主人を云なり贊辭

祝辭の類あり詞者書經疏又以言告神謂之祝祝祭主贊神祇式凡諸神宮
司及神主等未滿六年遭喪解任不得補替仍令祝部行
事服闋之日復任滿限其祇宜祝部一補之後不須輒替
同式凡祇宜祝又闢打及有他民部式凡諸社神
犯詳其由移送官司勿輒決罰民部式凡諸社神
主祇宜祝者擇八位以上及太上以堪祭事者補之雖
元來定氏之社并神戶百姓而先盡八位及六十以上然
後及壯年白丁即免課役四時祭式祈年祭神祇官祭神
七百三十七座奉班幣帛儀小神祇官人云云大臣以下
云云神部引祝部等入云云中臣進就座宣祝詞每一段
畢祝部稱唯云云忌部二人進來案立史以官次唱御巫

及社祝祝祢唯進忌部頒幣帛畢云云國司祭祈年神三
千三百九十五座祭日并班幣儀並准神祇官等所
業四ノ三輪之祝十小祝部等之齋經社之十二
祝部等之齋三諸乃犬馬鏡十九子住吉尔伊都久祝之神言
等云云此御上祝ハ御上社之祝部也云云
いハクウ異めて上卷子胸形君等之以伊都久三前
大神者也也何子類あ也ハ姓なり姓氏録ハ鴨部祝
絶祝波多祝三歳祝也云姓ハあ依其類あ云玉
垣官殿ハ坐出雲之石垣之曾官葦原色許男大神以伊
都玖祝之云云何依之語ハ此亦異奇也○以伊都

政ハ傳六六十一葉小出○天之御影神天之ハ神名ハ附

依例の天アメ之某國之某也云天是あ御影ハ付ハ依

ハ非後也万葉一藤原宮御井哥小高知也天之御影天知

命能瑞能御舍仕奉豆天能御護日能御登隱坐互あ高

紀哥ヤ云云あ何極万葉集ハ恐之影云云

能椰蘇詞礙云云あ何極万葉集ハ恐之影云云

神名の天アメ之ハ云云何極万葉集ハ恐之影云云

乃由ハハ負賜字依御名ハハ詳あハ依ハ此神ハ姓

氏録ハ頼田部湯坐連天津彦根命子明立天御影命之

後也ま山直天御影命十一世孫山代根子之後也上

天津彦根命天津日子根命山代國造神見え書紀神代卷ハ直

は山代益尊、天代、宇乃、脱、命、子、天、麻、比、止、都、祢、命、之、後、
 録、山、背、忌、寸、天、都、比、古、祢、命、子、天、麻、比、止、都、祢、命、之、後、
 也、神、亦、や、好、む、以、見、也、天、麻、比、止、都、祢、命、子、天、御、影、命、之、
 時、為、防、衛、天、降、仕、奉、三、十、二、人、の、中、小、天、皇、孫、尊、の、天、降、坐、
 御、蔭、命、あり、凡、河、内、直、等、祖、也、天、皇、孫、尊、の、天、降、坐、
 近江國小彦根、云、地、名、あ、は、父、神、乃、御、名、又、由、河、の、
 天、津、月、子、根、命、の、出、於、此、神、乃、社、の、神、名、帳、云、近江國野、
 洲、郡、御、上、神、社、名、神、大、月、三、代、實、録、云、貞、觀、元、年、正、月、奉、
 授、近江國三上神、從、五位、上、同、七、年、八、月、授、近江國從、五、
 位、上、神、正、四、位、下、同、十、七、年、三、月、授、近江國正、四、位、
 下、三、上、神、從、三、位、上、見、多、く、是、あ、り、又、神、名、帳、云、丹、後、
 國、加、佐、郡、弥、加、真、神、社、あり、此、神、社、の、事、次、云、法、中、
 ①

安、乃、右、の、社、乃、神、乃、御、靈、の、現、男、乃、化、女、人、は、娶、て、
 至、賜、身、成、安、子、あり、然、ふ、例、多、く、白、檮、原、宮、段、云、美、和、乃、
 天、物、主、神、の、御、靈、乃、壯、夫、乃、化、勢、夜、陀、多、良、比、賣、小、娶、
 乃、伊、須、彥、余、理、比、賣、命、を、坐、し、あ、り、又、水、垣、宮、段、云、
 意、富、多、々、泥、古、の、事、考、合、せ、知、法、也、
 ① 息、長、水、依、
 比、賣、息、長、の、地、名、小、く、諸、陵、式、云、息、長、墓、在、近江國坂、田、
 郡、見、え、さ、地、あり、万、葉、十、三、
 七、下、小、師、名、立、都、久、麻、
 左、野、方、息、長、之、遠、智、能、小、菅、云、云、
 筑、摩、ル、近江國坂、田、郡、
 あり、仙、覺、が、抄、み、見、
 九、十、小、保、持、里、乃、於、吉、奈、我、河、波、云、云、天、武、紀、云、
 與、近江軍、戰、息、長、横、河、
 續、紀、十、三、坂、田、郡、横、川、頓、宮、更、
 科、日、記、小、不、破、の、園、あ、り、み、の、山、

形を越て、近江國の... 人乃家子... 丹波比古多々須美知能宇斯王丹波... 總朝御世彦坐、五兒彦多都彦命、定賜國造... 王少聞ゆれ、乃美知能宇斯、書紀云、道主... 是あり、奴志ハ能宇斯の切まりなり。 欽明紀云、道君... 云ふ、乃西の天武御世、小色姓を定免り、乃依 第五を道師と云ふ、道主、乃依 字を換て、新に姓乃尺、乃依 又書

紀神代卷小日神所生三女神云云、今在海北道中、號曰道主貴、乃依 水垣宮、段小東方十二道、乃依 兼此王、乃依 年九月、以大彦命遣北陸武渟川、別遣東海吉備津彦、遣西道丹波道主命、遣丹波、因以詔曰、若有不受教者、乃舉兵伐之、既而共授印綬、為將軍、乃依 其道の主、乃依 十、乃依 文、乃依 郡司、乃依 以て書、乃依

又彼三女神の在海北道中... 義の傳七の六十五葉云... 神乃丹波の坐... 世道主云名... 祭多ま... 此王の名... 日本根子太日... 皇皇子孫... 坐王字也... 彦湯隅王

之子也... 小字... 誤也... 能學訓... 江... 水保村... 真若... 富... 宮段... 見ゆ... 八瓜... 入日子王... 八瓜... 夜都理... 訓...

伊理ハ入日子入日女イリビコ入伊イリ同ト上云云云云泥ネ例例の
 尊タフトミナ称シあり。○十一王ハ登表麻理伊都波斯羅ト訓訓法法ト
 一字ハ五を写誤ハを誤ふり。將釋田翁ハタヒエダノヲナガ誦誤ヨミを誤ふり。數違タカ
 男子ヒト王ミコ等ナリハ合マせて十五柱イハ有リふ。二柱イハ女メ
 王ミコ三柱イハあり。
イリビコ入日子入日女イリビコ入伊イリ同ト上云云云云泥ネ例例の

故兄大俣王之子曙立王次菟

上王カミノミコ此曙立王者コノアケタツノミコハ伊勢之品イセノホム
 柱イハ二イハ此曙立王者コノアケタツノミコハ遲部君伊イセノホム

勢セ之ノ佐サ那ナ菟上王者ウナカミノミコハ比賣ヒメ陀ダ次ツギニ
 造ミヤツコ之ノ祖オヤ。菟上王者ウナカミノミコハ比賣ヒメ陀ダ次ツギニ

小俣王者ヲマタノミコハ當麻タギマ勾マカリノ次志夫美宿ツギニシブミスク
 君キミ之ノ祖オヤ。次志夫美宿ツギニシブミスク

禰王者ネノミコハ佐サ佐サ君キミ次沙本毘古王ツギニサホビコノミ
 之ノ祖オヤ也。次沙本毘古王ツギニサホビコノミ

者ハ日ヒ下カ部ベ連ラジ甲カ次袁邪本王者ツギニラザホノミコハ
 斐ヒ國クニ造ミヤツコ之ノ祖オヤ也。次袁邪本王者ツギニラザホノミコハ

葛カ野ノ之ノ別ワケ近チカツ淡アハ海ミ次室毘古王ツギニムロビコノミ
 蚊カ野ノ之ノ別ワケ祖オヤ也。次室毘古王ツギニムロビコノミ

者ハ若ワカ狹サ之ノ耳ミ其ソ美ミ知チ能ノ宇ウ志シ王ミ

娶タ丹ニ波ハ之ノ河カ上ハ之ノ摩マ須ス郎ノ女メ生ニ

子ミ比コ婆ヒ須バ比ス賣ヒ命メ次ミ真コ砥ツ野ギ比ニ

賣メ命ノ次ミ弟コ比ツ賣ギ命ニ次オ朝ト廷ヒ別メ王ノ

柱メ四ノ此ミ朝コ廷ミ別カ王ド者ワ別リ之ノ祖ミ此コ

美ミ知チ能ノ宇ウ斯シ王ノ之ノ弟オ水ト穗ミ真ツ若ホ

王ミ者ハ近チ淡カ海ツ之ノ次ギ神ニ大カ根ム王オ者ホ

三ミ野ヌ國ク之ノ本モ巢ト國ク次ツ山ギ代ニ之ノ大シ

筒ツ木キ真マ若カ王ハ娶マ同ツ母カ弟ノ伊イ理リ泥ネ

王ミ之ノ女メ母ミ泥ム能ネ阿ア治ガ佐サ波ハ毘ビ賣メ

ウミセルミコカニメイカツチノミコ
生子迦邇米雷王。迦邇米三此

ミコタニハノトホツノオミ
王娶丹波之遠津臣之女名高

キヒメニミアヒテウミセルミコオキナガノスクネノミコ
材比賣生子息長宿禰王此王

カヅラキ
娶葛城之高額比賣生子息長

タラシヒメノミコトツギニソ
帶比賣命次虛空津比賣命次

オキナガマヒコシノミコ
息長日子王。三柱此王者吉備

キミノ
君之。又息長宿禰王娶河俣稻

ヨリヒメニミアヒテウミセルミコオホ
依毘賣生子大多牟坂王。多牟

マノクニノミヤツコ
以音此者多遲。摩國造之祖也。

此段ハ日子坐王の御子トシテ乃子孫を奉ル。○兄也
ハ大俣王ハ日子坐王乃第一子あり。云はあり。○曙

立王阿氣多都訓佐。姓氏錄縣犬養宿祢下必阿居太都命。

印本阿を佐小誤出。又大掠置阿居太都命此印本今ハ古本に依り。始連下阿居太都命此印本

を脱せり。今古本に依り。又二共ぬ太を大作。此誤なり。片居字ハ古書にケの假字小用ひ依例

何り。此は依此らハ此王ハ別人フトヒトあり。同名の例

何れハあり。同書小。明立天御影命云名小見え。り。

名義ハ未思得。依て此王乃事玉垣宮段小見え。り。

傳北五のウナカミ○菟上王菟上の事ハ上卷菟上國造の下言傳

十六葉ウナカミの六十九ウナカミ葉七十葉。小云里但此王乃名負依ハ何イカあり。由小

り。詳あり。依神名帳。伊勢國朝明郡菟上神社あり。又

河國宝飲郡。菟足神社あり。社説小。祭神同化天皇孫

大候王第二子菟上王也。依云り。依り。由小

心得ぬ。此王乃事玉垣宮段小出。り。○伊勢之品

遲部君此氏の事考。品遲部乃事玉垣宮段傳北

七葉。小委云。依。○佐那造佐那の事。上卷小出。彼

處傳十五の五十二葉。小云。大神宮儀式帳。佐奈乃縣造御代

宿祢云人あり。其文ハ傳十五小引。此は曙立王の

祢云々。同御世の事あり。此ハ異姓の人。此ハ外此

又曙立王乃子。小云。依り。此ハ異姓の人。此ハ外此

氏の事考。○比賣陀君若櫻宮段。比賣陀君若寺場

姓。謂比賣陀之君。依り。此氏の事考。無。○神名式小

香郡賣比多神社あり。○次小候王。次ハ大候王の次

比賣多の誤。ハ非。○菟上王。次ハ大候王の次

國葛下郡あり。此地の事若櫻宮段傳卅八の云。彼処カシに當岐麻カシあり。如此訓カシ降カシ斗カシ勾カシハ麻賀理カシ也。訓カシ之は書紀崇峻卷小廣瀬カシ勾原カシあり。處カシあり。抄カシ下。和名大和國廣瀬郡。下勾カシあり。抄カシ下。今ハ當麻カシ廣瀬郡。郷名ハ下勾カシ乃字誤カシあり。抄カシ下。此ハ今ハ當麻カシ廣瀬郡。之ハ稍遠カシ也。上代カシハ當麻カシハ廣瀬名カシあり。抄カシ下。ハ當麻カシの勾カシあり。抄カシ下。乃事カシハ下卷。勾カシ之金著宮段カシ云。此カシ氏カシの事カシハ考カシあり。抄カシ下。舊事紀カシ小麻坂上君等。○佐佐君考カシあり。抄カシ下。神名帳カシハ伊賀國阿拜郡。祖カシあり。抄カシ下。○日下部連カシ日下部カシ河内國河内郡カシあり。抄カシ下。地カシ名あり。抄カシ下。此地の事ハ朝倉宮段カシ云。抄カシ下。傳カシ四十一の抄カシ九葉カシあり。抄カシ下。

て沙本カシ昆古カシ王の子孫カシハ河内國カシあり。抄カシ下。書紀カシ雄略卷小狹穗カシ彦カシ玄孫カシ齒田根命カシ云云。使カシ齒田根命カシ資財カシ露カシ置於カシ餌香市カシ辺カシ云云。餌香カシハ河内國カシ古市郡カシあり。抄カシ下。乃事カシハ下卷。子カシ悟田カシ彦カシ孝德紀カシ小章壁連カシ醜カシ經カシあり。見カシゆ。天武紀カシ小十三年カシ十二月カシ草壁連カシ賜姓カシ曰宿祢カシ續紀カシ廿九カシハ河内國河内郡カシ人日下部カシ意卑麻呂カシ賜姓カシ日下部連カシ也。日下部連カシ意卑麻呂カシ賜姓カシ曰宿祢カシ。出カシ自カシ化天皇カシ皇子カシ彦坐命カシ之後也。又カシ撰津國カシ皇別カシ日下部カシ宿祢カシ。化天皇カシ皇子カシ彦坐命カシ也。又カシ河内國カシ皇別カシ日下部連カシ彦坐命カシ子狹

總彥命之後也。日下部。日下部。連同祖。又和泉國。日下部。

首。日下部。宿祢同祖。彥坐命之後也。日下部。日下部。首同

祖。三代實錄九。播磨國。饒磨郡。人。日下部。利貞。日下部。

歲直寺。賜姓。日下部。連。貫。附。撰。津。國。嶋上郡。狹穗彥命之

後也。此。日下部。を。み。お。今。本。小。は。誤。了。早。部。作。玉。然。不

下部。連。利。貞。寺。改。本。居。貫。右。京。二。條。三。坊。少。り。あ。や。見

え。り。神。名。式。小。和。泉。國。大。鳥。郡。日。部。神。社。あ。り。命。を。祭

る。甲。斐。國。造。國。造。本。紀。小。甲。斐。國。造。纏。向。日。代。朝。御

世。狹。穗。彥。王。三。世。孫。臣。知。津。彥。公。此。子。塩。海。足。尾。定。賜。國

造。葛。野。之。別。葛。野。山。城。國。葛。野。郡。少。り。此。地。の

事。上。卷。傳。對。及。册。官。隱。小。云。傳。三。十。二。此。氏。考。あ。り。持

紀。小。葛。野。羽。衝。云。人。見。え。り。此。氏。は。排。家。り。あ。り。統

又。姓。氏。録。小。葛。野。連。葛。野。臣。あ。り。少。り。異。姓。あ。り。

近。淡。海。蚊。野。之。別。和。名。抄。小。近。江。國。愛。智。郡。蚊。野。郷。あ

り。是。あ。り。神。名。帳。小。同。郡。輕。野。神。社。あ。り。此。姓。小。考。あ。り。

若。狹。之。耳。別。和。名。抄。小。若。狹。國。三。方。郡。弥。美。郷。今。本。弥

誤。り。少。り。是。あ。り。神。名。帳。小。同。郡。弥。美。神。社。あ。り。此。氏。考。あ。り。

河。上。之。摩。須。郎。女。河。上。八。和。名。抄。小。丹。後

國。熊。野。郡。川。上。郷。あ。り。是。あ。り。摩。須。の。義。ハ。未。思。得。次。郎

女。ハ。書。紀。景。行。卷。小。即。姬。此。云。異。羅。菟。咩。見。之。天。智。卷

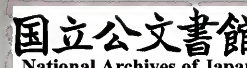
小。伊。羅。都。賣。續。紀。廿。二。小。藤。原。伊。良。豆。賣。少。り。少。り。此

て。猶置あり。むら。思。直。を。誤。り。下
高津宮。段。あり。直。字。故。改。名。安。和。名。抄。近。江。
を。置。ぬ。誤。り。例。あり。國。野。洲。郡。之。れ。あり。此。氏。ハ。考。ふ。倭。建。命。段。近。淡。海。
之。安。國。造。云。何。り。此。ハ。別。名。同。き。う。云。云。此。記
國。造。祖。何。れ。我。書。紀。ハ。紀。直。祖。云。何。れ。例。也。
何。れ。氏。を。時。々。の。加。婆。泥。の。ま。く。直。云。何。れ。國。造。云。
何。れ。語。傳。了。ふ。○三。野。國。之。本。巢。國。造。此。ハ。二。氏。子。上。
は。三。野。國。造。あ。を。造。字。を。之。小。誤。り。云。云。日。代。
宮。段。小。三。野。國。造。之。祖。神。大。根。王。見。之。書。紀。其。卷。何。れ。
美。濃。國。造。名。神。骨。云。何。れ。ハ。あり。若。三。野。の。本。巢。あり。白。檮。原。宮。段。末。小。道。與。
石。城。國。造。常。道。仲。國。造。云。何。れ。ハ。あり。例。を。思。ふ。三。野。國。造。云。
あり。て。國。字。ハ。何。れ。ま。り。た。云。云。小。三。野。國。造。云。

ル。本。巢。云。ハ。別。名。國。造。本。紀。ハ。三。野。前。國。造。春。日。率。川。
朝。皇。子。彦。坐。王。子。八。瓜。命。定。賜。國。造。云。何。り。此。次。ハ。三。野。
ハ。あり。抑。如。此。前。云。後。云。ハ。越。前。越。後。云。何。れ。例。
乃。前。後。ハ。若。然。ら。ハ。美。濃。の。内。に。本。巢。郡。ハ。京。師。乃。
方。小。依。也。ハ。道。口。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
本。巢。郡。乃。何。れ。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
三。野。之。本。巢。國。造。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
美。濃。國。を。前。後。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
巢。を。お。ま。り。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
野。前。國。造。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
ハ。又。妨。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
三。野。國。造。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
ハ。又。本。巢。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
何。事。ハ。何。れ。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
分。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
小。奉。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
上。云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。
云。云。ハ。三。野。前。國。造。云。

國本巢須毛止郡ろのあり此氏考あり。○長幡部連神名
 帳小常陸國久慈郡長幡部神社あり此地あり類聚國
 史五十四子常陸國人長幡部福良女授少初位上云云
 主計式諸國輸調小長幡部絶長六丈廣九寸式武
 美郡ゆる長幡 ○同母弟ハ師の伊呂村訓生終る現
 部神社あり
 用ふ彦一若櫻官段穴穗官段ふ伊呂弟伊呂弟伊呂弟
 同小きれあり女あり伊呂妹書成其ハ伊呂毛
 王考合次彦書紀小母弟同母弟書をハカカテハカ
 モハカテハカテハカテハカテハカテハカテハカテハカ
 ハラノイロトあり訓母能阿治佐波毘賣母泥二
 ふは皆古稱ふ可なり
 字のふら誤あり彦一真福寺本小は此二字を丹波
 作ふなり宜し思はれ心又

一本小母字の傍は名故なり名意思得此阿治の阿達
 ふせり此ハあき考ふなり
 銀高日子根ふ乃阿達同夫依波ハ佐波連地寛の
 佐波同き○迦迹米雷王米符舊御持又一本あり今
 ハ真福寺本延佳本又一本雷ハ加豆智訓
 小依出の注りも同ト推土あり此ハ上御の韻の伊
 豆知書紀ハ非あり記中豆知ハ米字を因ハ例
 あし書紀ハ香米雷山雷書ハ所ハハハハハハハハハハ
 記ハ豆知の借字ハ推土あり此ハ上御の韻の伊
 御雷の雷ハ加豆知ハ借字あり此ハ上御の韻の伊
 より接く故ハ名義ハ蟹目嚴下此云称名ハ然乎ハ此
 伊加豆知あり
 王の目乃嚴ありきる小や蟹ハ目乃殊小嚴持物あり
 ハ譬言はふむ豆知ハ尊称ハ野推神の下傳五の
 兼小云ふが如し好又建御雷神の下傳五の七を考



合せて雷カミナリて多意を知らず中臣氏ナカノミの雷カミナリ大臣命オホノミ云

何ナニり。姓セイ氏シ録ロク三代実録サンダイジツロクあり。見ミえり。此コノ仲哀ナカノアハレ記キ神

功コウ紀キ允イン恭キョウ絶ケツ又マタ中臣ナカノミ鳥賊トウセキ津使ツノシ封フウ也ナリ。何ナニの仲哀ナカノアハレ記キ神

バハ。同名ドウメイあり。其ソノ人ヒトあり。允イン恭キョウ絶ケツの御世ミヨノヨ也ナリ。又マタ中臣ナカノミ系圖ケイトあり。天アメ兒コ屋ヤ根ネ命ノミ

の五イハレ世ヨ孫ムコあり。伊香津イカヅ臣ノミ命ノミあり。是コノ又マタ異イハレなり。其ソノ子コ雷カミナリ大臣オホノミ命ノミ也ナリ。

其ソノ伊香津イカヅ臣ノミ命ノミの五イハレ世ヨ孫ムコ臣ノミ命ノミあり。伊香津イカヅ臣ノミ命ノミの五イハレ世ヨ孫ムコ臣ノミ命ノミあり。伊香津イカヅ臣ノミ命ノミの五イハレ世ヨ孫ムコ臣ノミ命ノミあり。

伊皇イミカド后ノミ御世ミヨノヨ也ナリ。伊香津イカヅ臣ノミ命ノミの五イハレ世ヨ孫ムコ臣ノミ命ノミあり。伊香津イカヅ臣ノミ命ノミの五イハレ世ヨ孫ムコ臣ノミ命ノミあり。

都ミヤコ臣ノミ系圖ケイトあり。雷カミナリ大臣オホノミ命ノミあり。系圖ケイトあり。雷カミナリ大臣オホノミ命ノミあり。系圖ケイトあり。

男オトコ為ナリ稚筒城ワカサキノキノミ王ノミ。稚筒城ワカサキノキノミ王ノミ。稚筒城ワカサキノキノミ王ノミ。稚筒城ワカサキノキノミ王ノミ。稚筒城ワカサキノキノミ王ノミ。

若ワカサキ然シらば此コノ王ノミの亦マタ名ナを若筒木ワカサキノキノミ王ノミ申マカり。若筒木ワカサキノキノミ王ノミ申マカり。若筒木ワカサキノキノミ王ノミ申マカり。

丹波タニハ之ノ遠津トホツ臣ノミ考カウふ。高材タカキ比賣ヒメ材ノミ字ノミ

記キ中ナカ用ヨウひ。例レイ切キレり。此コノ記キハ。大オホ抵タテ用ヨウひ。大オホ抵タテ用ヨウひ。大オホ抵タテ用ヨウひ。

定サダメまり。若ワカサキ紀キ也ナリ。言コトあり。此コノ記キハ。大オホ抵タテ用ヨウひ。大オホ抵タテ用ヨウひ。大オホ抵タテ用ヨウひ。

然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。然シカドモ。

息オキ長ナカ宿スク祿ルキ王ノミ。息オキ長ナカ宿スク祿ルキ王ノミ。息オキ長ナカ宿スク祿ルキ王ノミ。息オキ長ナカ宿スク祿ルキ王ノミ。息オキ長ナカ宿スク祿ルキ王ノミ。

葛城カサキ之ノ高タカ額メカ比賣ヒメ和ニ

名ナ抄サウ子シ。大和タヤカ國クニ葛下カサキノ郡ノミ高タカ額メカ鄉ノミあり。此コノ地チに依ヨりて名ナを

比賣ヒメ乃ノ世ヨ系ケイあり。明宮アカミヤ殿ノミ未マ見ミえ。新羅シンラ國クニよ

多オホ遲トシ摩マ比ヒ多オホ訶カ云イハレ人ヒトの女メ

治造志賀高穴穗朝多遲麻君同祖若角城命三世孫大
 船足尾定賜國造也何り品治造也何り多遲麻君同祖
 國造の下考合多遲麻仁德紀小吉備品建部雄鮒
 云人見えふ何り①針間阿宗君神名帳ニ播磨國揖保郡
 阿宗神社あり此地小依出何り針間の事ハ黒田宮段ニ
 出傳北一何り②河俣稻依昆賣河俣ハ河内國若江郡小
 何り高岡宮段傳北一何り小出何り稻ハ字の意也何り
 依ハ例ハ宜ハ何り③大多牟坂王多牟坂ハ地名也然
 何り廻坂の意也何り詳ハ何り國造本紀小淡海國造志
 賀高穴穗朝御世彦坐王三世孫本隆牟夜別定賜國造

上 道 之 等

此何り此王ハ非何り淡海國造也何り又倭建命
 段ハ意富多牟和氣也云人何り考合次彦ハ傳北一
 註ハ此者何り上ニ云ふ此王者ハ格あり①多遲麻
 國造但馬國あり國造本紀小但遲麻國造志賀高穴穗
 朝御世竹野君同祖彦坐王五世孫船穗尾尾定賜國造
 此ハ人彦坐王五世孫ありハ此大多牟坂王何り丹波之
 竹野別所建豐波豆羅和氣王の子孫也何り御兄弟
 向傳ハ異なり何り又上ニ云ふ高額比賣ハ但馬
 國ハ生思ふ何り此大牟坂王其國造の祖也何り
 合ハ生思ふ何り若くハ息長宿禰王何り馬國ハ下坐
 事ハ何り何り高額比賣ハ娶テ大和ハ率テ遷テ葛城
 小ハ何り何り高額比賣ハ娶テ大和ハ率テ遷テ葛城
 馬國造の祖也何り父の其國ハ下坐何り事ハ由縁也何り
 玉何り何り何り何り何り何り何り何り何り何り何り

名ありし也。○上件ハ皆相子坐王の御子孫
 あり。右の外ハ此の御子孫ハ。姓録ハ。治田
 連。南化天皇皇子彦坐命之後也。云。輕我孫。治田連同
 氏。彦坐命之後云。大私部。南化天皇皇子彦坐命之後
 也。輕我孫。公。治田連同祖。彦。今。簀。命。之後也。堅井公。彦坐
 命。之後也。別。公。同。上。川。侯。公。日。下。部。宿。祿。同。祖。彦。坐。命。之
 後也。川。侯。公。日。下。部。連。同。祖。彦。坐。命。之後也。豐。階。公。川。侯
 公。同。祖。彦。坐。命。男。澤。道。彦。命。之後也。酒。人。造。日。下。部。同。祖
 繼。賜。姓。豐。階。宿。祿。刑。部。首。弟。官。子。賜。豐。階。朝。臣。夏。繼。等。自

上所謂建豐波豆羅和氣王者。

道守臣。忍海部造。御名部造。稻
 羽。忍海部。丹波之竹野。別依網
 之阿毘古。等之祖也。

所謂ハ伊波由流。訓例あり。此ハ倭建命。段小上
 云。若建玉云云。又輕嶋宮。段末。上云。多遲摩比多訶云

云ふ契^{オホニサセ}何^カも必^カ同格^カなり。伊南流^{イナンリウ}等^ト訓^ニ法^ニ。○建豊波

臣羅和氣^{シノカキ}主^ミ諸本^{シヨホ}并^ニ奈羅^{ナラ}字^ジ名^ナ脱^{トク}せ依^ヨ成^ニ。今^{イマ}和泉^{ワヰ}國^{クニ}大鳥^{オホトリ}郡^ノ塚^{ツカ}

子^コ補^ホ子^コ依^ヨ成^ニ。○道守^{チモリノ}臣^ノ道守^{チモリ}由^ヨ何^ニりて此^{コノ}稱^{ナヲ}を

負^{オモ}ふ。臣^{ミコト}の類^ノ又^{マタ}地名^{チナナ}なり。詳^{サカサ}あ^リ次^ノ。今^{イマ}和泉^{ワヰ}國^{クニ}大鳥^{オホトリ}郡^ノ塚^{ツカ}

路^{ミチ}を守^{モリ}は者^{モノ}を云^{イハ}ふ。山^{ヤマ}守^{モリ}野^ノ守^{モリ}の類^ノ也^{ナリ}。道^{ミチ}守^{モリ}の類^ノ也^{ナリ}。

紀^キ神代^{シノヨ}卷^{マキ}必^カ泉^{イハヒ}守^{モリ}道^{ミチ}者^{モノ}あり。和^ワ名^ナ抄^{セウ}道^{ミチ}路^{ミチ}具^ク也^{ナリ}。道^{ミチ}守^{モリ}

漢^{カン}語^ゴ抄^{セウ}云^{イハ}ふ。知^チ毛^{モウ}利^リ也^{ナリ}。道^{ミチ}守^{モリ}の類^ノ也^{ナリ}。道^{ミチ}守^{モリ}の類^ノ也^{ナリ}。

三年^{シユンニシツノ}十一月^{イッゲツ}道守^{チモリ}臣^ノ賜^{タマフ}姓^{セイ}曰^{イハ}朝臣^{チノミ}。姓氏^{セイジ}録^{ロク}云^{イハ}ふ。道^{ミチ}守^{モリ}朝^{チノ}

臣^ノ開化^{カイカ}天皇^{テンノウ}皇子^{ミコ}武豊葉^{ブツヨウエフ}類^ノ別^ノ命^ノ之後^{ノチ}也^{ナリ}。又^{マタ}皇^{ミコト}別^ノ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ

道守^{チモリ}朝臣^{チノミ}同^{トウ}祖^ソ豊葉^{フツヨウエフ}類^ノ別^ノ命^ノ之後^{ノチ}也^{ナリ}。又^{マタ}皇^{ミコト}別^ノ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ

守^{モリ}朝臣^{チノミ}同^{トウ}祖^ソ武波^{フツハ}都^ツ良^ラ和氣^{ワケ}命^ノ之後^{ノチ}也^{ナリ}。又^{マタ}皇^{ミコト}別^ノ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ

祖^ソ建^{ケン}豊^{フツ}羽^フ類^ノ別^ノ命^ノ之後^{ノチ}也^{ナリ}。又^{マタ}皇^{ミコト}別^ノ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ道^{ミチ}守^{モリ}朝臣^{チノミ}同^{トウ}

祖^ソ武^フ葉^{エフ}類^ノ別^ノ命^ノ之後^{ノチ}也^{ナリ}。又^{マタ}皇^{ミコト}別^ノ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ道^{ミチ}守^{モリ}朝臣^{チノミ}同^{トウ}

必^カ道^{ミチ}守^{モリ}朝臣^{チノミ}又^{マタ}道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノありて。姓氏^{セイジ}録^{ロク}云^{イハ}ふ。然^{シカド}也^{ナリ}。

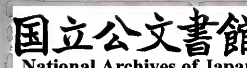
武^フ御^ミ世^セ必^カ朝臣^{チノミ}。姓^{セイ}を賜^{タマフ}ふ。何^{ナニ}方^{カタ}の道^{ミチ}守^{モリ}氏^シあり。若^シハ二^ニ方^{カタ}共^ニ賜^{タマフ}ふ。合^{カフ}せて一^ニを記^キ

す。朝^{チノ}臣^ミあり。姓^{セイ}氏^シ録^{ロク}云^{イハ}ふ。二^ニ方^{カタ}共^ニ。何^{ナニ}方^{カタ}の道^{ミチ}守^{モリ}氏^シあり。天^{テン}智^チ紀^キ必^カ道^{ミチ}

守^{モリ}臣^ノ麻^マ呂^ロ續^{シヨク}紀^キ北^{キタ}五^イ必^カ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ多^タ祁^チ留^{リウ}四^シ必^カ道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ東^{トウ}

人^{ヒト}あり。見^ミゆ。東^{トウ}人^{ヒト}ハ百^{ヒャク}北^{キタ}二^ニ歳^{サイ}あり。其^{ソノ}髮^ヘ尚^{ナカ}多^タ聰^{チウ}如^ニ少^シ。此^{コノ}

寺^{テラ}人^{ヒト}小^コ君^{キミ}等^ト五^イ人^{ヒト}改^{カヘ}賜^{タマフ}道^{ミチ}守^{モリ}臣^ノ姓^{セイ}。○忍^ニ海^{カイ}部^ブ造^{ソウ}忍^ニ海^{カイ}八^{ハチ}頭^{トウ}



宗紀の歌み於尸農游也何り能字切其和名抄ぬ大

和國忍海於美郡乃美郡乃美郡此姓ハ多々此也

由也忍海又忍海郎女の御名代也定免

者忍海即女の御事ハ若櫻宮段櫻栗宮段高津宮段御

氏清寧紀ぬ播磨赤石郡縮見屯倉首忍海部造

細目也云見え又天智紀忍海造大國忍海造能麻呂武紀

年忍海造賜姓曰連荒田能麻呂等賜姓曰連十二

異姓河内國忍海部開化天皇皇子比古由

年須美命之後也御兄弟の間傳乃異多

里此依思波豆羅和氣王御子孫

須美命書紀此王無是若比古由年御名部

造地名万葉九伊國時哥中ぬ三名部乃浦

云々何他ある名あり尋ぬ

造欽明紀佐渡嶋北御名部之碕云此也

ぬ非此氏考稻羽忍海部稻羽ハ因

幡國あり上卷傳出此氏考上忍海部造

より別氏考丹波之竹野別此地上ぬ

出其延云此氏考無上多遲摩國造の下

野君考合其事彼處○依網之阿昆古依網ハ和名抄

小攝津國住吉郡大羅於保郷神名帳同郡大依羅

○古事記傳二十一

○八十

神社四座並名神大月何れ神功紀より即得神教而拜礼イキキ
 之因以依網吾孫男垂見為祭神主也見之今も住吉郡
 何れ又和名抄河内國丹比郡依羅美佐郷美佐郷の水
 垣宮段作依網池其由河内國あり書紀推古卷必河
 内國作依網池今丹比郡池内見ゆ如此河内津國
 之二の依網あはれ丹比郡住吉郡との相接て大
 依羅社も依網池も殊も此二郡界よりて相近き地
 あはれ以見ゆ本の一あり二國分属はれ
 沈なり万葉七青角髪依網原あはは哥の末阿
 毘古の月代宮段も木國酒部阿毘古景行紀も山部阿

弭古あや云姓も見え姓氏録も輕我孫あや何れハ
 我孫公和泉國雜姓あり今和泉國和泉郡も我孫子也
 同姓阿比古道成あや云り何れは尋常の尸あはい
 ちの異あはれ如しはて称意ハ吾孫あや云り何れハ
 らむ吾の親あはれ云り美云り孫書もハ借
 比古あや云り麻基あや云ハ後世の言あり何れハ古書も
 孫あや云ハ今古比古曾孫和名比古あや何れハ孫和
 名無あや云ハ一云比古曾孫和名比古あや何れハ孫和
 今孫を麻基あや云ハ後あや何れハ孫和
 孫を比古あや云ハ比古占の訛ありはて此氏人の書紀
 仁徳卷必四十二年秋九月依網屯倉阿弭古捕異鳥獻

於天皇曰臣每張網捕鳥未曾得是鳥之類故奇而獻之
云々是今時鷹也云々は月浦定鷹其部故時人号其養
鷹之處曰鷹井地也依網云々此人の網を張鷹を捕
子依網屯倉也依網云々此人の網を張鷹を捕
依網屯倉也依網云々此人の網を張鷹を捕
後乃名を前より及ぼして記せしめりあり也
網屯倉ハ皇極紀あり見え河内也あり依網阿
毘古也依網屯倉阿毘古也一あるは日本紀竟
集註云定家卿家集也依網の祠官の求子よりふ
き哥をうふ又よりのよみて記せしめりあり也
よき乃社の名をよみて記せしめりあり也
網池ハ住吉社あり辰巳小ありて十六七町あり
海邊にありて水多き時ハ海
人如く蓮盛時多し社ハ池乃北小庭井也云村乃
南又今ハ小きなり我孫ハ村名なり
其西小あり云々鷹其邑ハ今ハ鷹合也書あり
云村住吉郡也あり是ありを云り庭井村鷹合村今時

七所 續紀十八小攝津國住吉郡人依羅我孫忍麻呂等
五人賜依羅宿祢姓神奴意支奈祝長日等五十三人依
羅物忌姓姓氏錄小攝津國依羅宿祢拍下部宿祢同祖
考坐命之後也依羅御兄弟の間傳乃異なり
何此外幸川又上春日幸川宮崎宇開山天皇
羅連あまの羅連幸春日幸川宮崎宇開山天皇
と異姓あり
コノスメラミコト
カハノサカノヘニアリ
天皇御年陸拾參歲御陵在伊
邪河之坂上也

天

御年六十三歳書紀云ハ六十年夏四月丙辰朔甲子天皇崩一云時年百十五也大御父天皇の二十二年

六十一歳あり或書ハ百十一也此ハ此立太子伊邪河之坂上書紀云六十年云々冬十月

癸丑朔乙卯葬于春日率川坂本陵一云坂上陵也伊邪河之坂上

諸陵式云春日率川坂上陵春日率川宮御宇開化天皇

在大和國漆其郡兆域東西五段南北五段以在京戶十

烟每年差充令守見也坂上云坂本也二の傳ハ

平城京内又兆域の狭きハ前皇朝陵記云或曰今在奈

良林小路韓國社奥念佛寺境内云念佛寺念佛寺

坂ありの坊名又油坂町坂之新屋町西坂あり云あり坂上云小由あり



